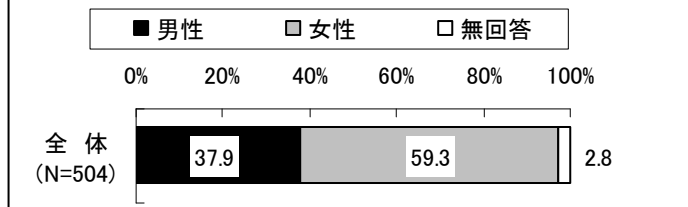

第10章

難病患者調査

第10章 難病患者調査

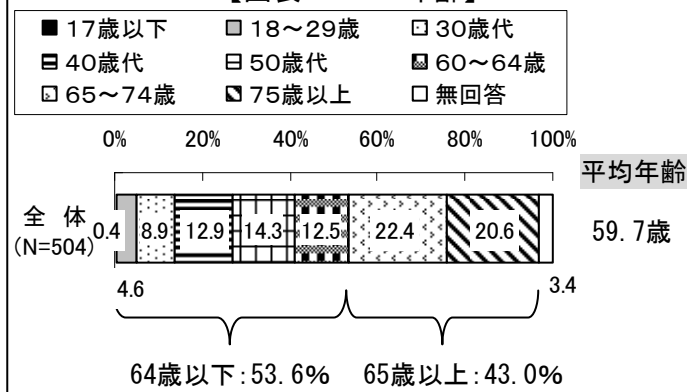
1. 基本属性

【図表10-1 性別】



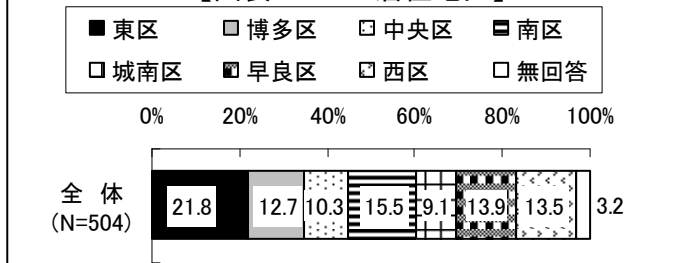
女性（59.3%）が男性（37.9%）より多い。

【図表10-2 年齢】



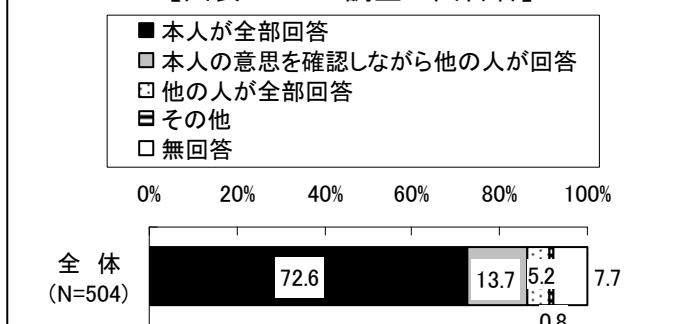
「65～74歳」（22.4%）が最も多く、次いで「75歳以上」（20.6%）となっており、65歳以上の高齢者（43.0%）が4割強、64歳以下（53.6%）が過半数となっている。

【図表10-3 居住地区】



居住地区としては、「東区」（21.8%）が最も多く、次いで「南区」（15.5%）となっている。

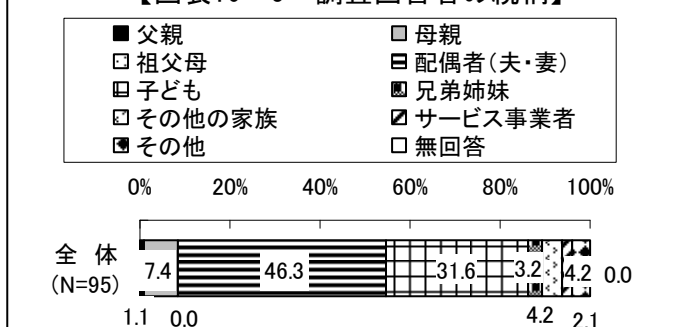
【図表10-4 調査の回答者】



「本人が全部回答」（72.6%）が最も多く、次いで「本人の意思を確認しながら他の人が回答」（13.7%）となっており、本人の意思に基づく回答（86.3%）が8割を超えている。

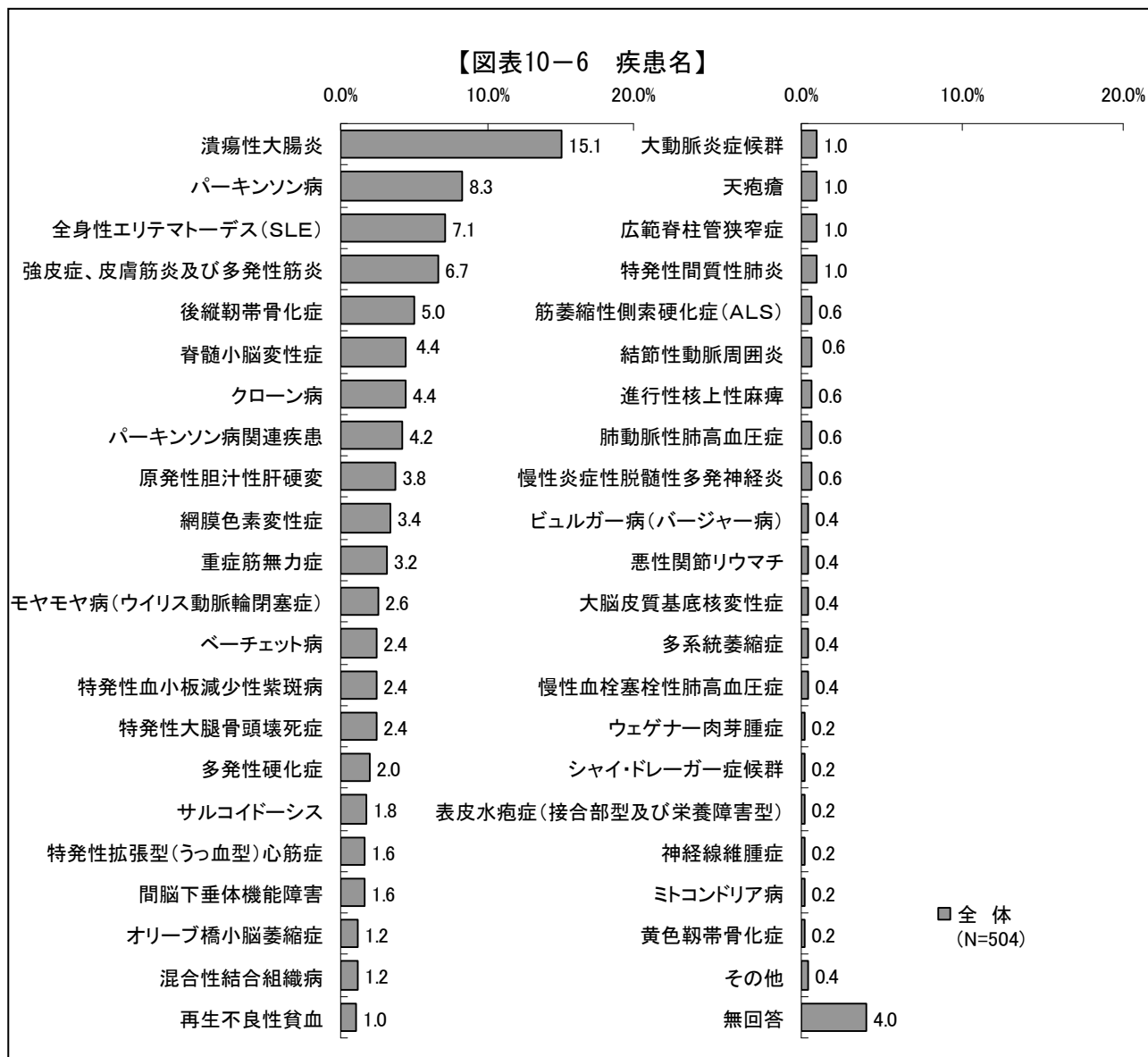
「本人の意思を確認しながら他の人が回答」または「他の人が全部回答」した場合の回答者の続柄は「配偶者」（46.3%）が最も多く、次いで「子ども」（31.6%）となっており、他は1割未満である。

【図表10-5 調査回答者の続柄】



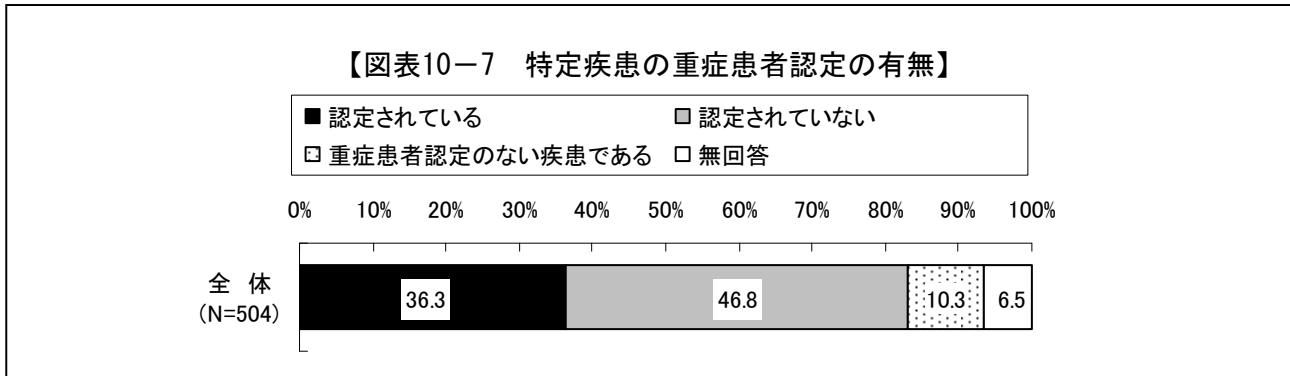
2. 難病の状況について

(1) 疾患名



「潰瘍性大腸炎」(15.1%)が最も多く、次いで「パーキンソン病」(8.3%)、「全身性エリテマトーデス(SLE)」(7.1%)、「強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎」(6.7%)、「後縦靱帯骨化症」(5.0%)となっている。

(2) 特定疾患の重症患者認定の有無



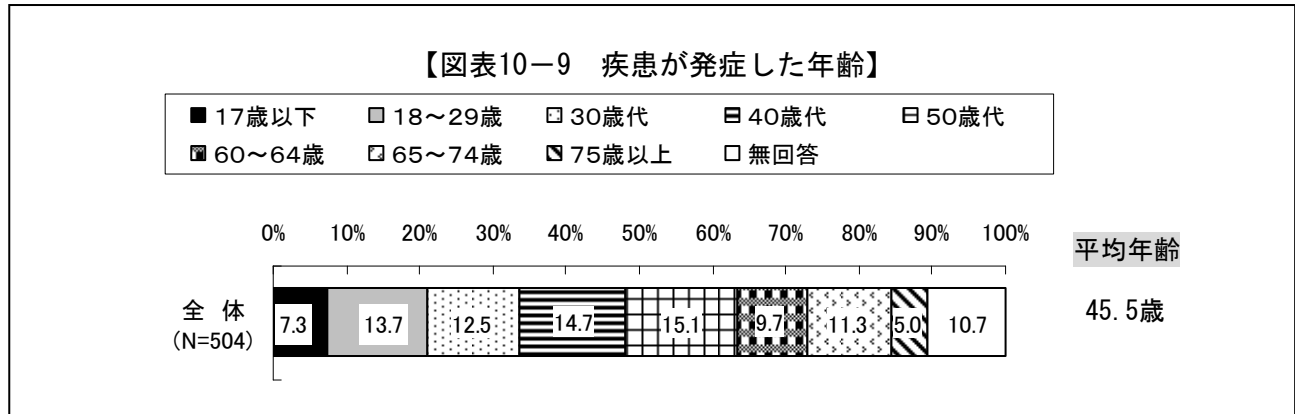
「認定されていない」が46.8%、「認定されている」が36.3%となっている。また、「重症患者認定のない疾患である」(10.3%)は1割である。

年齢別に詳細にみると、60歳以上では「認定されている」の割合が4割を超えて高くなっている。

【図表10-8 年齢詳細別 特定疾患の重症患者認定の有無】(%)

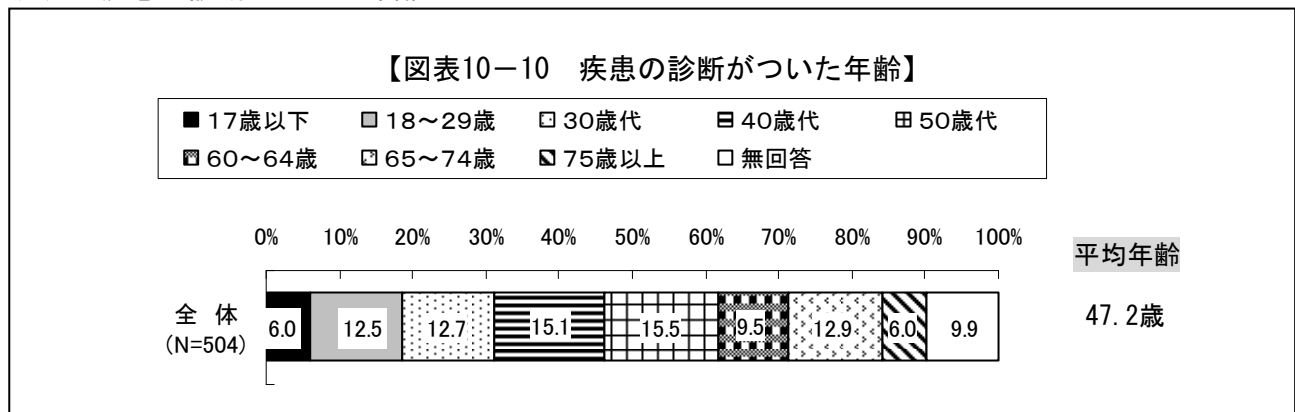
		調査数 (人)	特定疾患の重症患者認定の有無			
			認定 されて い	認定 されて い	その重 ない症 い患者 疾患認 で定	無 回答
全 体		504	36.3	46.8	10.3	6.5
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	-	-	50.0
	18～29歳	23	21.7	65.2	13.0	-
	30歳代	45	22.2	71.1	4.4	2.2
	40歳代	65	24.6	64.6	7.7	3.1
	50歳代	72	23.6	58.3	15.3	2.8
	60～64歳	63	42.9	42.9	7.9	6.3
	65～74歳	113	41.6	37.2	14.2	7.1
	75歳以上	104	57.7	33.7	8.7	-
無回答		17	-	5.9	5.9	88.2

(3) 疾患が発症した年齢



疾患が発症した年齢の平均は、45.5歳であり、「50歳代」(15.1%)、「40歳代」(14.7%)、「18～29歳」(13.7%)、「30歳代」(12.5%)、「65～74歳」(11.3%)の順で多くなっており、それぞれ1割台である。

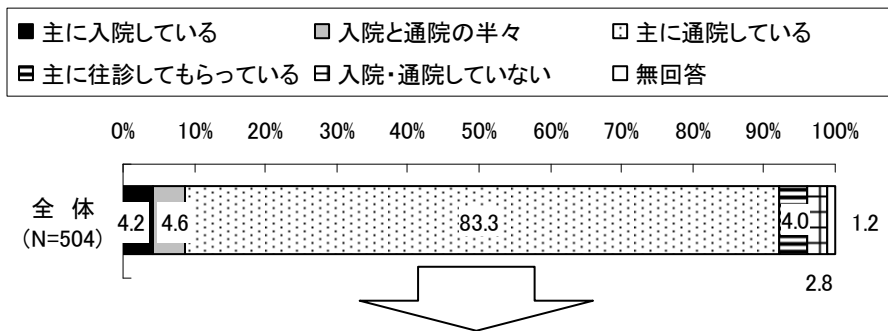
(4) 疾患の診断がついた年齢



疾患の診断がついた年齢の平均は、47.2歳であり、「50歳代」(15.5%)、「40歳代」(15.1%)、「65～74歳」(12.9%)、「30歳代」(12.7%)、「18～29歳」(12.5%)の順で多くなっており、それぞれ1割台である。

(5) 最近6ヶ月の医療機関の受療状況と入院期間

【図表10-11 最近6ヶ月の医療機関の受療状況】



【図表10-12 入院期間】 (単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	未年 満間 1 0 0 日	2年 0間 01 日0 未0 満	3年 0間 02 日0 未0 満	以年 上間 3 0 0 日	無 回 答	平均 (日)
主に入院している人の 入院期間	21 100.0	5 23.8	-	1 4.8	5 23.8	10 47.6	209.8
入院と通院が半々の人 の入院期間	23 100.0	16 69.6	-	-	-	7 30.4	41.2

【図表10-13 通院回数】 (単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	月 1 回	月 2 回	月 3 回	月 4 回 以上	無 回 答	平均 (日)
主に通院している人の 通院回数	420 100.0	305 72.6	30 7.1	9 2.1	22 5.2	54 12.9	1.6
入院と通院が半々の人 の通院回数	23 100.0	13 56.5	5 21.7	-	2 8.7	3 13.0	1.8

【図表10-14 往診回数】 (単位：上段=実数、下段=%)

	調査数	月 1 回	月 2 回	月 3 回	月 4 回 以上	無 回 答	平均 (日)
主に往診してもらって いる人の往診回数	20 100.0	3 15.0	11 55.0	-	6 30.0	-	2.6

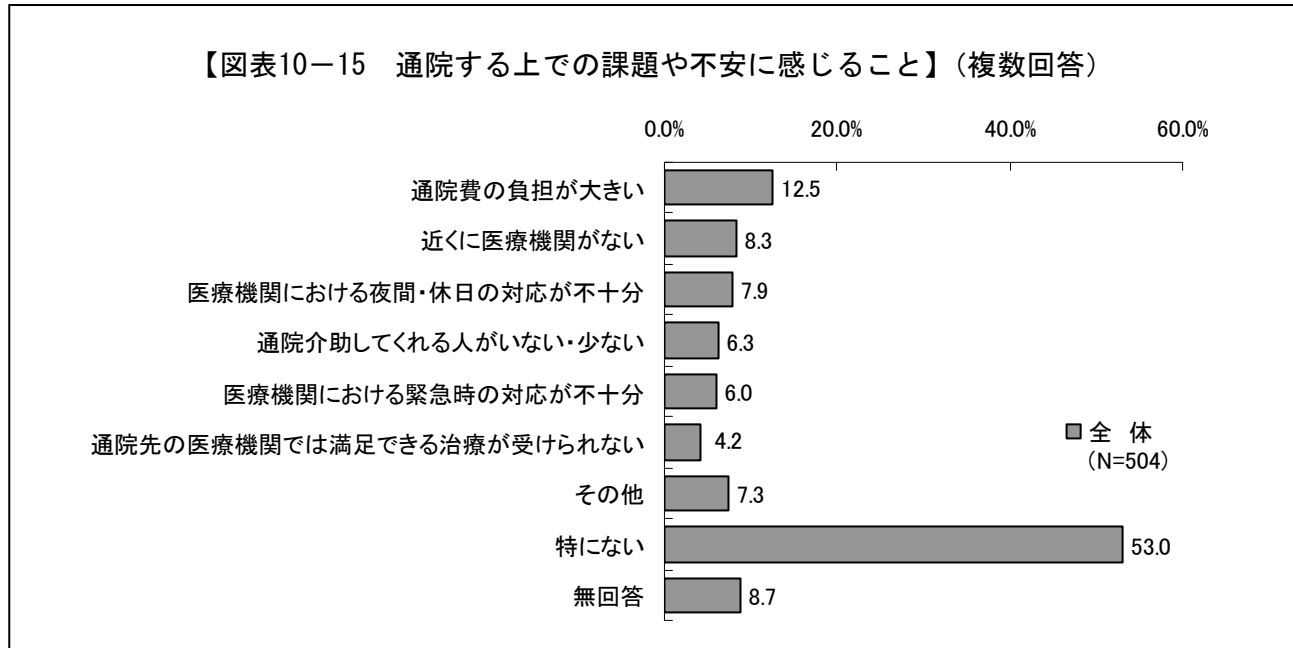
「主に通院している」(83.3%)が8割を超えて大半を占めている。

入院期間としては、主に入院している人(21人)では、平均年間209.8日であり、「年間100日未満」と「年間300日以上」がそれぞれ5人、「年間200～300日未満」が1人となっている。一方、入院と通院が半々の人(23人)では、平均41.2日であり、回答した人全員が「年間100日未満」である。

通院回数としては、主に通院している人(420人)では、平均月1.6回であり、「月1回」(72.6%)が7割強と最も多く、次いで「月2回」(7.1%)、「月4回以上」(5.2%)、「月3回」(2.1%)の順であり、いずれも1割未満となっている。一方、入院と通院が半々の人(23人)では、平均1.8回であり、「月1回」(13人、56.5%)が過半数で最も多く、次いで「月2回」(5人、21.7%)、「月4回以上」(2人、8.7%)となっている。

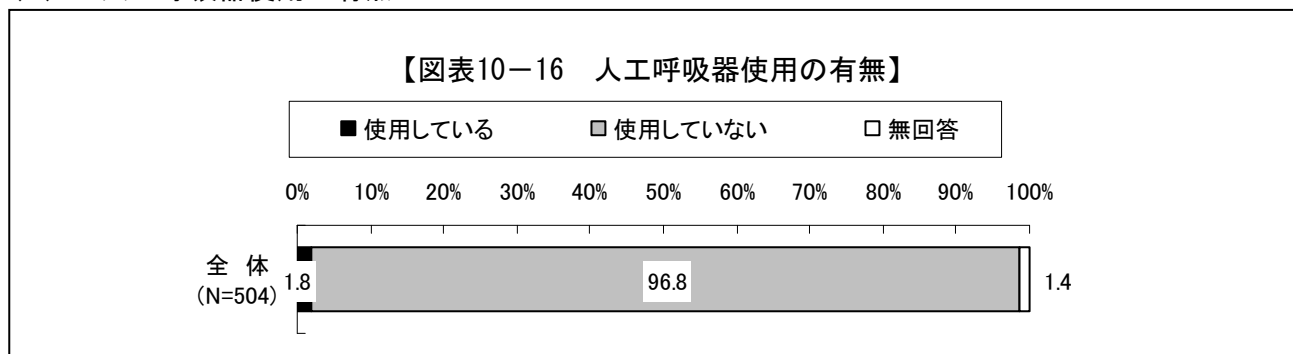
主に往診してもらっている人(20人)の往診回数は、平均月2.6回であり、「月2回」(11人、55.0%)が過半数で最も多く、次いで「月4回以上」(6人、30.0%)、「月1回」(3人、15.0%)となっている。

(6) 通院する上での課題や不安に感じること



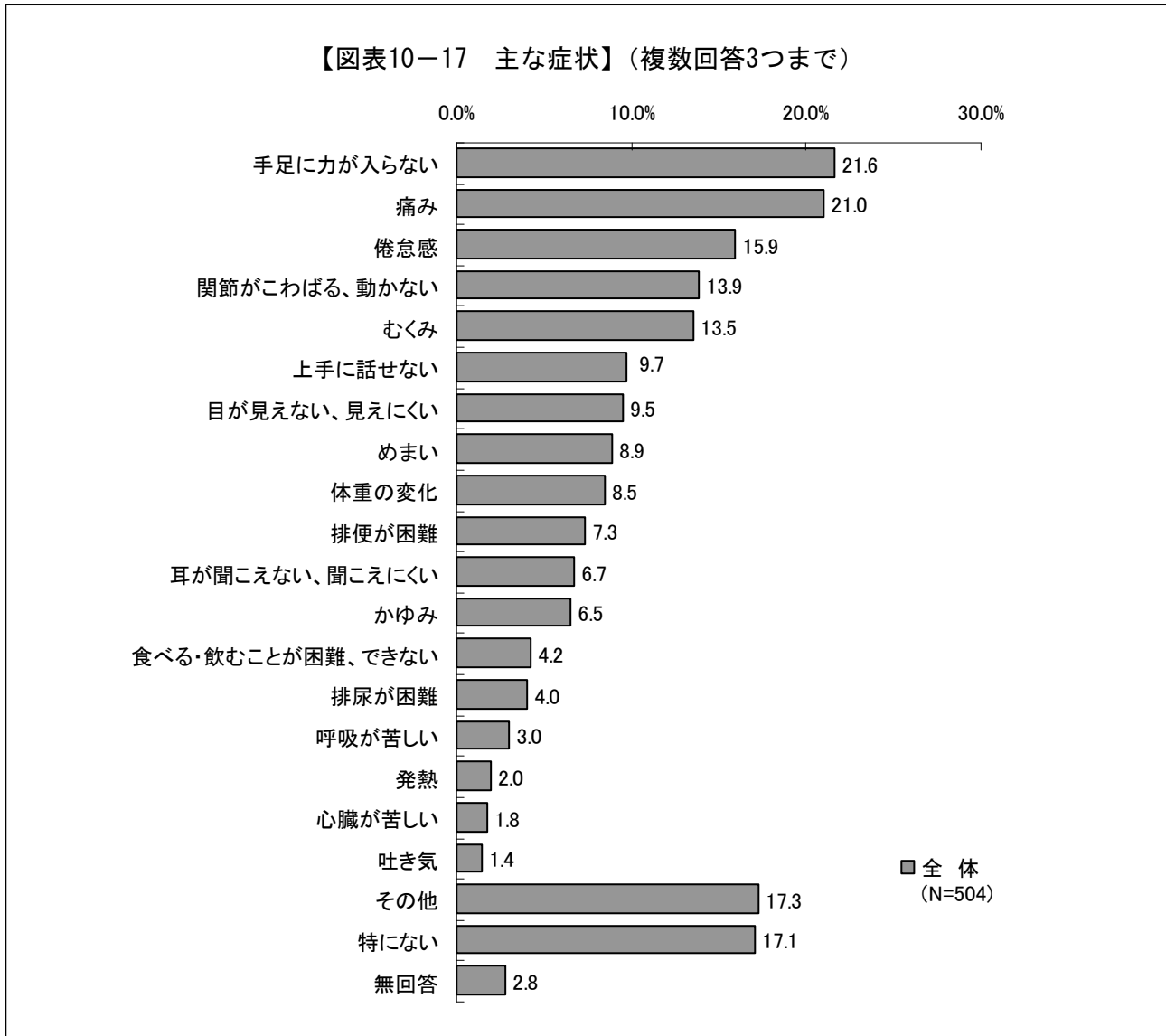
「特にない」(53.0%)が過半数を占めて最も多く、次いで「通院費の負担が大きい」(12.5%)、「近くに医療機関がない」(8.3%)、「医療機関における夜間・休日の対応が不十分」(7.9%)となっている。

(7) 人工呼吸器使用の有無



9割を超える大半(96.8%)の人が人工呼吸器を使用していない。

(8) 主な症状



「手足に力が入らない」(21.6%)と「痛み」(21.0%)が2割台で多く、これに「倦怠感」(15.9%)、「関節がこわばる、動かない」(13.9%)、「むくみ」(13.5%)が1割台が続いている。また、「特にない」(17.1%)は2割弱である。

第10章 難病患者調査

年齢2区分別にみると、65歳以上の高齢者では「手足に力が入らない」(31.8%)や「むくみ」(19.4%)等の割合が高くなっている。

重症患者認定別にみると、重症患者に認定されている人では「手足に力が入らない」(28.4%)や「上手に話せない」(17.5%)、「目が見えない、見えにくい」(14.8%)等の割合が高くなっている。一方、認定されていない人では、「倦怠感」(21.6%)等の割合が高い。

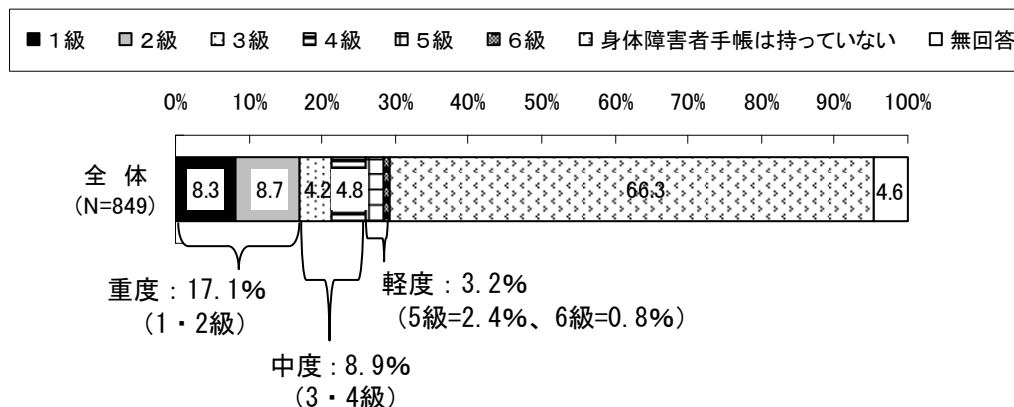
【図表10-18 年齢2区分別、重症患者認定別 主な症状】(%)

	調査数(人)	主な症状										
		手足に力が入らない	痛み	倦怠感	関節がこわばる、動かない	むくみ	上手に話せない	目が見えない、見えにくい	めまい	体重の変化	排便が困難	耳が聞こえない、聞こえにくい
全 体	504	21.6	21.0	15.9	13.9	13.5	9.7	9.5	8.9	8.5	7.3	6.7
年 齢 区 分												
64歳以下	270	12.2	18.1	18.5	11.9	9.3	5.9	7.8	7.4	8.5	7.0	2.2
65歳以上	217	31.8	24.0	11.5	15.2	19.4	14.7	11.5	11.1	7.8	7.8	12.0
無回答	17	41.2	29.4	29.4	29.4	5.9	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9	11.8
全 体	504	21.6	21.0	15.9	13.9	13.5	9.7	9.5	8.9	8.5	7.3	6.7
重 症 認 定 患 者												
認定されている	183	28.4	20.8	9.8	12.6	15.3	17.5	14.8	9.8	7.1	9.8	9.3
認定されていない	236	13.6	17.4	21.6	12.7	11.0	4.7	7.2	8.5	9.3	5.9	5.1
重症患者認定のない疾患である	52	19.2	34.6	11.5	21.2	17.3	5.8	1.9	11.5	3.8	5.8	5.8
無回答	33	45.5	27.3	15.2	18.2	15.2	9.1	9.1	3.0	18.2	6.1	6.1

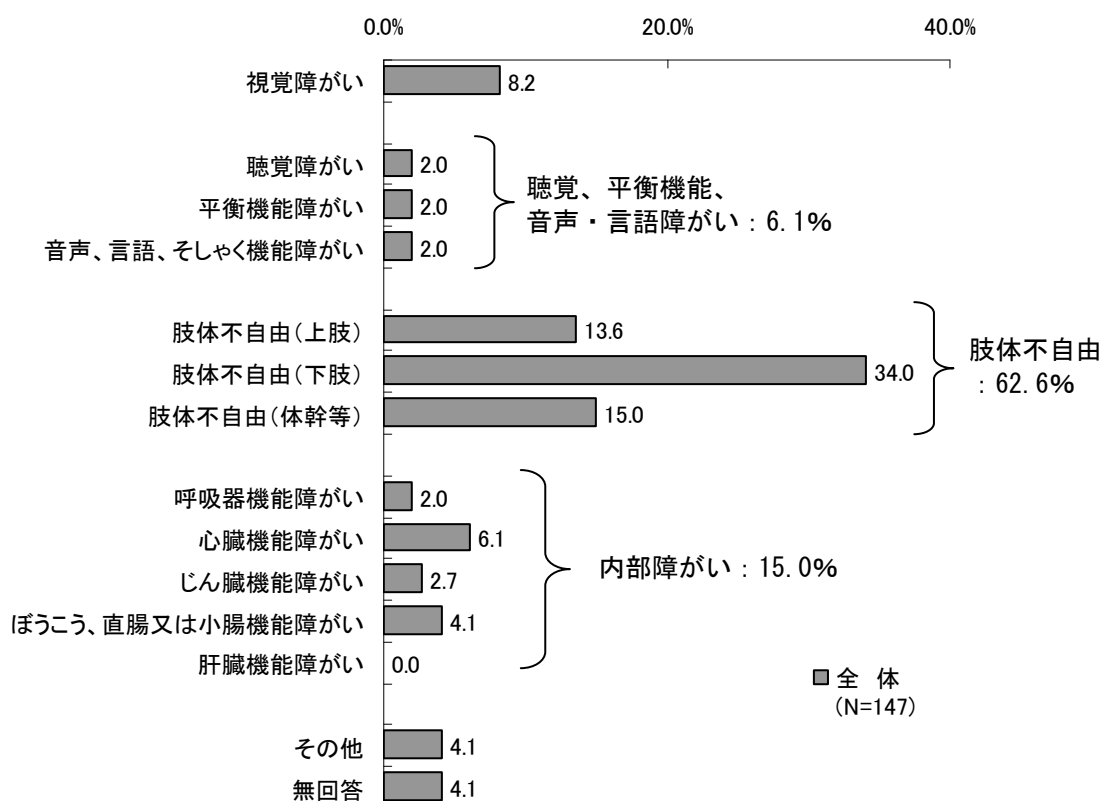
	調査数(人)	主な症状									
		かゆみ	食・飲むことが困難	排尿が困難	呼吸が苦しい	発熱	心臓が苦しい	吐き気	その他	特になし	無回答
全 体	504	6.5	4.2	4.0	3.0	2.0	1.8	1.4	17.3	17.1	2.8
年 齢 区 分											
64歳以下	270	5.2	2.2	1.9	2.2	1.9	3.0	1.5	20.4	24.1	1.9
65歳以上	217	7.8	6.5	6.9	4.1	2.3	0.5	1.4	14.3	8.8	3.7
無回答	17	11.8	5.9	-	-	-	-	-	5.9	11.8	5.9
全 体	504	6.5	4.2	4.0	3.0	2.0	1.8	1.4	17.3	17.1	2.8
重 症 認 定 患 者											
認定されている	183	7.1	7.1	7.7	3.3	2.2	3.8	1.1	12.6	13.1	4.9
認定されていない	236	6.4	3.0	0.8	2.5	2.1	0.8	1.7	22.0	19.9	1.7
重症患者認定のない疾患である	52	3.8	1.9	5.8	3.8	1.9	-	1.9	15.4	17.3	-
無回答	33	9.1	-	3.0	3.0	-	-	-	12.1	18.2	3.0

(9) 身体障がいの状況（身体障害者手帳の等級、身体障がいの部位）

【図表10-19 身体障害者手帳の等級】



【図表10-20 主な身体障がいの部位】



身体障害者手帳については、7割弱 (66.3%) は手帳を持っていないが、1・2級の重度者も2割弱 (17.1%) を占めている。

年齢別に詳細にみると、75歳以上では他に比べて「重度 (1・2級)」(24.0%) の割合が高く、2割を超えている。また、18～29歳・30歳代では「身体障害者手帳は持っていない」の割合が8割を超えて高い。

身体障害者手帳所持者 (147人) の主な身体障がいの部位 (大分類) は、「肢体不自由」(62.6%) が6割強を占めて最も多い。

【図表10-21 年齢詳細別、重症患者認定別 身体障害者手帳の等級】(%)

	調査数(人)	身体障害者手帳の等級								調査数(人)	身体障害者手帳の等級(集約)				
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	帳面保持者でない手	無回答		(1・2級)	(3・4級)	(5・6級)	帳面保持者でない手	無回答
全 体	504	8.3	8.7	4.2	4.8	2.4	0.8	66.3	4.6	504	17.1	8.9	3.2	66.3	4.6
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	2	50.0	-	-	50.0	-
	18～29歳	23	4.3	-	-	4.3	-	87.0	4.3	23	4.3	4.3	-	87.0	4.3
	30歳代	45	8.9	-	2.2	2.2	-	82.2	4.4	45	8.9	4.4	-	82.2	4.4
	40歳代	65	7.7	7.7	1.5	4.6	1.5	75.4	1.5	65	15.4	6.2	1.5	75.4	1.5
	50歳代	72	8.3	11.1	4.2	1.4	4.2	69.4	1.4	72	19.4	5.6	4.2	69.4	1.4
	60～64歳	63	4.8	9.5	6.3	3.2	6.3	61.9	7.9	63	14.3	9.5	6.3	61.9	7.9
	65～74歳	113	9.7	7.1	2.7	9.7	3.5	61.1	4.4	113	16.8	12.4	5.3	61.1	4.4
	75歳以上	104	10.6	13.5	6.7	4.8	-	57.7	5.8	104	24.0	11.5	1.0	57.7	5.8
	無回答	17	5.9	11.8	11.8	-	-	52.9	11.8	17	17.6	11.8	5.9	52.9	11.8
全 体	504	8.3	8.7	4.2	4.8	2.4	0.8	66.3	4.6	504	17.1	8.9	3.2	66.3	4.6
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	20.2	15.3	4.4	2.7	2.7	45.9	7.1	183	35.5	7.1	4.4	45.9	7.1
	認定されていない	236	1.3	3.8	3.4	4.7	1.7	82.2	3.0	236	5.1	8.1	1.7	82.2	3.0
	重症患者認定のない疾患である	52	1.9	3.8	3.8	13.5	1.9	73.1	1.9	52	5.8	17.3	1.9	73.1	1.9
	無回答	33	3.0	15.2	9.1	3.0	6.1	54.5	6.1	33	18.2	12.1	9.1	54.5	6.1

【図表10-22 年齢詳細別、重症患者認定別 主な身体障がいの部位】(%)

	調査数(人)	主な身体障がいの部位													無回答
		視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声・言語機能障がい	上肢・下肢の自由	上肢・下肢の自由	上肢・下肢の自由	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	腸胃・小腸機能障がい	ぼうこう・直腸機能障がい	肝臓機能障がい	その他
全 体	147	8.2	2.0	2.0	2.0	13.6	34.0	15.0	2.0	6.1	2.7	4.1	-	-	4.1
年 齢 詳 細	17歳以下	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	6	-	-	-	-	50.0	-	-	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	40歳代	15	6.7	6.7	-	-	6.7	26.7	-	6.7	6.7	13.3	-	-	-
	50歳代	21	9.5	-	-	-	28.6	28.6	9.5	9.5	4.8	4.8	-	-	4.8
	60～64歳	19	-	-	5.3	-	21.1	26.3	15.8	-	10.5	5.3	5.3	-	10.5
	65～74歳	39	10.3	-	-	2.6	7.7	41.0	20.5	2.6	5.1	-	2.6	-	2.6
	75歳以上	38	10.5	5.3	2.6	2.6	10.5	34.2	13.2	5.3	2.6	-	-	-	7.9
	無回答	6	16.7	-	-	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	16.7
全 体	147	8.2	2.0	2.0	2.0	13.6	34.0	15.0	2.0	6.1	2.7	4.1	-	-	4.1
重 症 患 者 認 定	認定されている	86	9.3	1.2	2.3	12.8	30.2	18.6	2.3	8.1	3.5	-	-	-	3.5
	認定されていない	35	5.7	5.7	2.9	-	14.3	31.4	11.4	5.7	2.9	17.1	-	-	2.9
	重症患者認定のない疾患である	13	7.7	-	-	-	7.7	61.5	7.7	-	-	-	-	-	7.7
	無回答	13	7.7	-	-	7.7	23.1	38.5	7.7	-	-	-	-	-	7.7

		調 査 数 (人)	主な身体障がいの部位(集約)					
			視 覚 障 が い	語 能 聴 、 障 が い 音 声 ・ 言 機	肢 体 不 自 由	内 部 障 が い	そ の 他	無 回 答
全 体		147	8.2	6.1	62.6	15.0	4.1	4.1
年 齢 詳 細	17歳以下	1	-	-	100.0	-	-	-
	18～29歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-
	30歳代	6	-	-	50.0	50.0	-	-
	40歳代	15	6.7	6.7	60.0	26.7	-	-
	50歳代	21	9.5	-	66.7	19.0	4.8	-
	60～64歳	19	-	5.3	63.2	21.1	-	10.5
	65～74歳	39	10.3	2.6	69.2	10.3	2.6	5.1
	75歳以上	38	10.5	10.5	57.9	7.9	7.9	5.3
無回答		6	16.7	16.7	50.0	-	16.7	-
全 体		147	8.2	6.1	62.6	15.0	4.1	4.1
重 症 患 者 認 定	認定されている	86	9.3	5.8	61.6	14.0	3.5	5.8
	認定されていない	35	5.7	8.6	57.1	25.7	2.9	-
	重症患者認定のない 疾患である	13	7.7	-	76.9	-	7.7	7.7
	無回答	13	7.7	7.7	69.2	7.7	7.7	-

身体障害者手帳所持者（147人）について、重複する身体障がいの有無をみると、「主な障がい以外はない」（49.7％）が最も多い。ただし、肢体不自由において「上肢」「下肢」「体幹等」の部位別の肢体不自由を重複している人の割合が高くなっている。

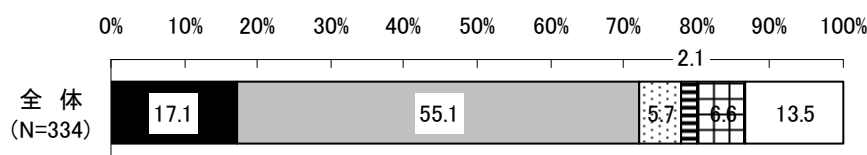
【図表10-23 主な身体障がいと重複する身体障がいの部位】（％）

		調査数（人）	重複する身体障がいの部位														
			視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	音声、言語、そしゃく機能障がい	肢体不自由（上肢）	肢体不自由（下肢）	等（体幹）	呼吸器機能障がい	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	小腸機能障がい、直腸又はぼうこう、	肝臓機能障がい	その他	主な障がい以外はない	無回答
全 体		147	2.7	6.8	14.3	16.3	22.4	22.4	9.5	4.8	2.0	1.4	4.8	0.7	4.8	49.7	-
主な身体障がいの部位	視覚障がい	12	-	8.3	-	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3	-	-	8.3	58.3	-
	聴覚障がい	3	-	-	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	平衡機能障がい	3	-	-	-	66.7	33.3	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-
	音声、言語、そしゃく機能障がい	3	-	-	33.3	-	66.7	66.7	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-
	肢体不自由（上肢）	20	5.0	-	10.0	10.0	-	45.0	-	5.0	-	-	5.0	-	-	50.0	-
	肢体不自由（下肢）	50	2.0	10.0	16.0	16.0	26.0	-	18.0	2.0	2.0	-	4.0	-	2.0	50.0	-
	肢体不自由（体幹等）	22	4.5	13.6	27.3	27.3	50.0	50.0	-	4.5	4.5	-	9.1	-	-	31.8	-
	呼吸器機能障がい	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-
	心臓機能障がい	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	88.9	-
	じん臓機能障がい	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	ぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	肝臓機能障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	-	-	16.7	16.7	50.0	33.3	16.7	-	-	-	-	-	50.0	-
	無回答	6	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	66.7	16.7	16.7	-	-	-	-	50.0	-	-

（10）身体障害者手帳を持っていない理由

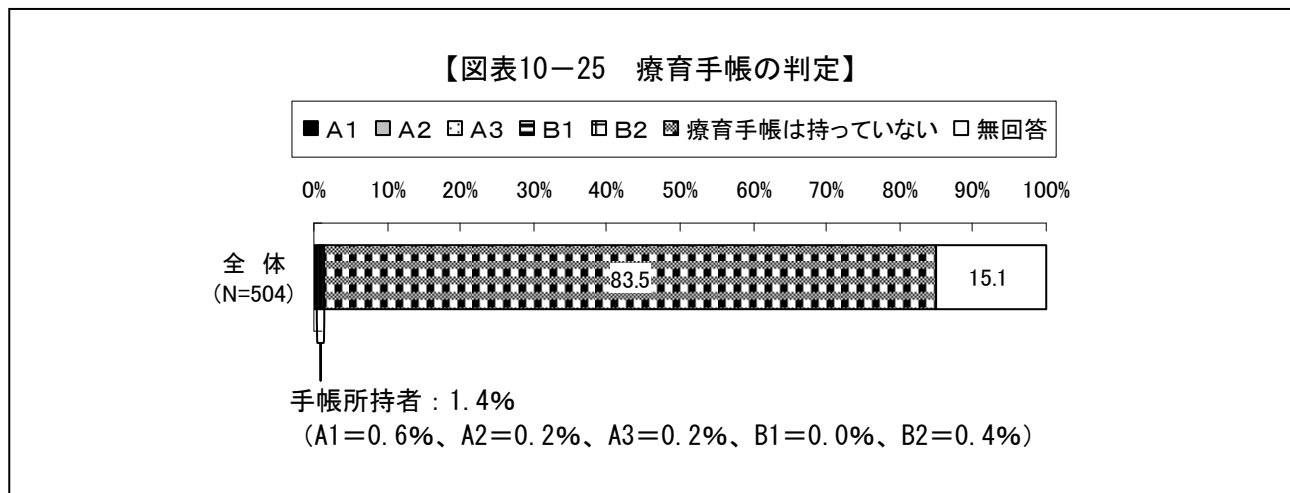
【図表10-24 身体障害者手帳を持っていない理由】

- 身体障害者手帳の制度を知らなかった
- 身体障害者手帳の対象ではなかった
- 身体障害者手帳は必要ないので申請しなかった
- ▣ 身体障害者手帳を取得するのは気が進まないで申請しなかった
- ▨ その他
- 無回答



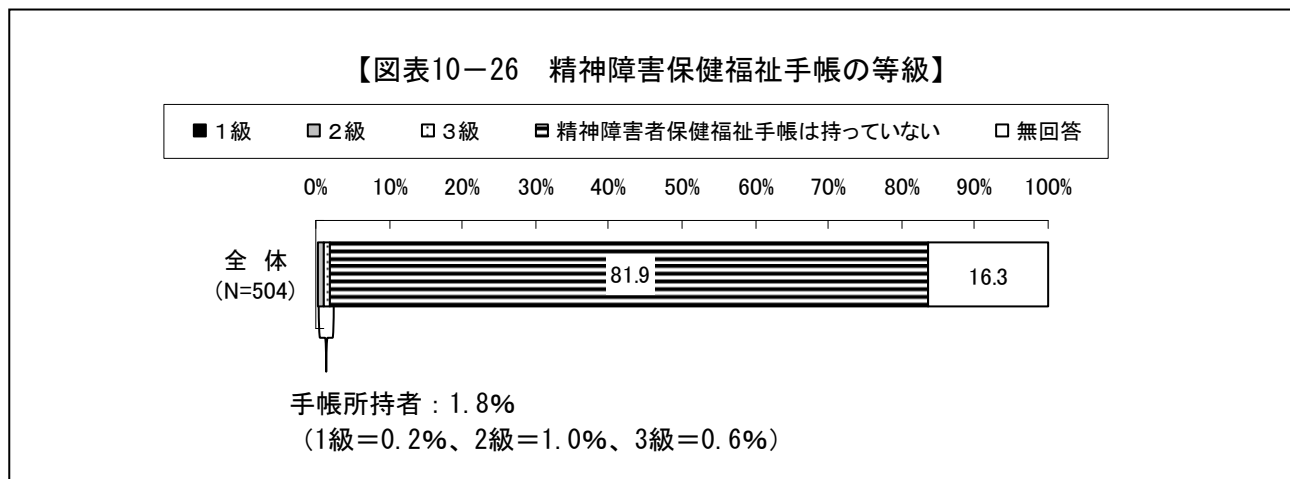
身体障害者手帳を持っていない理由は、「身体障害者手帳の対象ではなかった」（55.1％）が過半数を占めて最も多く、次いで「身体障害者手帳の制度を知らなかった」（17.1％）となっている。

(11) 知的障がいの状況（療育手帳の判定）



療育手帳所持者は1.4%（【重度】A1：0.6%、A2：0.2%、A3：0.2%、【中度】B1：なし、【軽度】B2：0.4%）のみであり、手帳を所持していない人（83.5%）が8割を超えている。

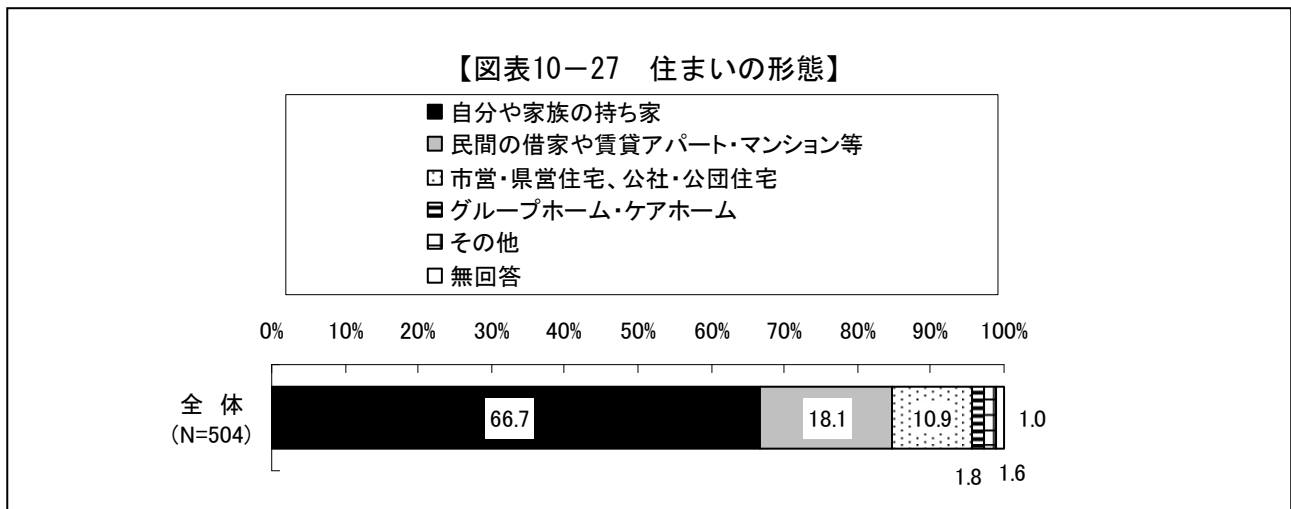
(12) 精神障がいの状況（精神障害保健福祉手帳の等級）



精神障害者保健福祉手帳所持者は1.8%（1級：0.2%、2級：1.0%、3級：0.6%）のみであった。

3. 生活状況について

(1) 住まいの形態



7割弱が「自分や家族の持ち家」(66.7%)に住んでおり、次いで「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」(18.1%)、「市営・県営住宅、公社・公団住宅等」(10.9%)となっている。

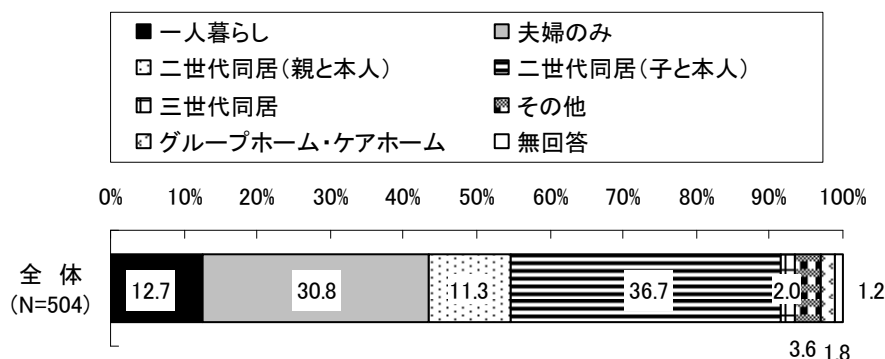
年齢別にみても大きな違いはみられないが、18～29歳では他に比べて「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」(43.5%)の割合が4割を超えて高い。

【図表10-28 年齢詳細別 住まいの形態】(%)

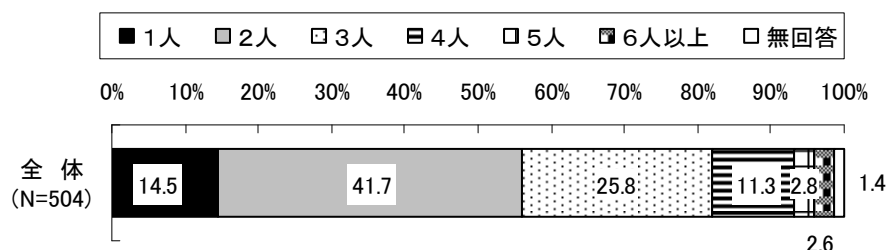
	調査数 (人)	住まいの形態					
		自分や家族の持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンション等	市営・県営住宅、公社・公団住宅	グループホーム・ケアホーム	その他	無回答
全 体	504	66.7	18.1	10.9	1.8	1.6	1.0
年齢詳細	17歳以下	2	100.0	-	-	-	-
	18～29歳	23	52.2	43.5	4.3	-	-
	30歳代	45	55.6	26.7	17.8	-	-
	40歳代	65	60.0	27.7	10.8	1.5	-
	50歳代	72	62.5	22.2	11.1	1.4	2.8
	60～64歳	63	76.2	14.3	9.5	-	-
	65～74歳	113	69.9	13.3	12.4	0.9	1.8
	75歳以上	104	73.1	8.7	7.7	4.8	1.0
	無回答	17	58.8	11.8	17.6	11.8	-

(2) 同居家族の状況

【図表10-29 世帯の状況】



【図表10-30 本人を含む同居家族の人数】



同居家族の続柄から世帯の状況を集約したところ、「二世帯同居（子と本人）」（36.7%）と「夫婦のみ」（30.8%）がそれぞれ3割台で多くなっている。また、家族人数は、「2人」（41.7%）が最も多く、次いで「3人」（25.8%）となっている。

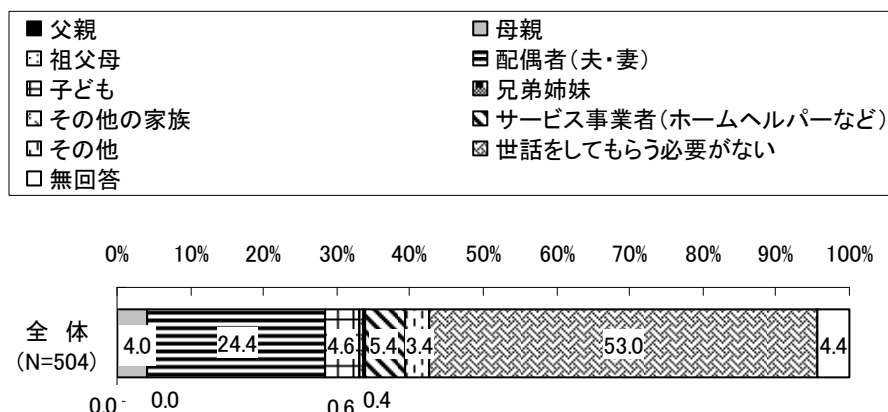
世帯の状況を年齢別にみると、30歳未満までは「二世帯同居（親と本人）」の割合が半数を超えて高いが、30～50歳代では、代って「二世帯同居（子と本人）」が半数前後に増加している。また、60歳代以降は「夫婦のみ」の割合が4割前後と高い。

【図表10-31 年齢詳細別、重症患者認定別 世帯の状況】(%)

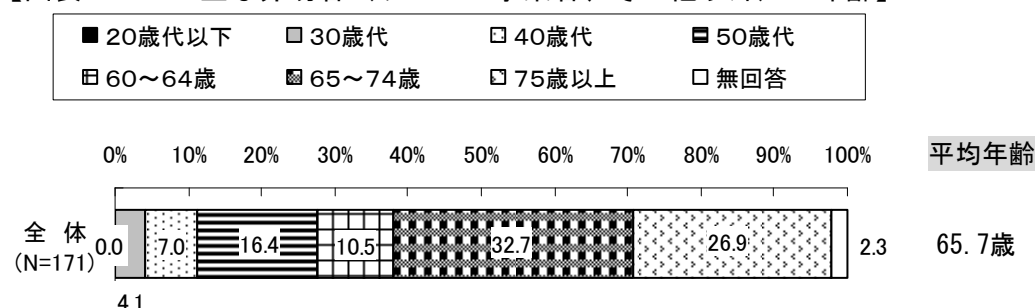
		調査数（人）	世帯の状況							
			一人暮らし	夫婦のみ	（二世帯同居） （親と本人同居）	（二世帯同居） （子と本人同居）	三世帯同居	その他	ムムグループホーム	無回答
全 体		504	12.7	30.8	11.3	36.7	2.0	3.6	1.8	1.2
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	18～29歳	23	17.4	-	73.9	-	-	8.7	-	-
	30歳代	45	17.8	11.1	15.6	51.1	4.4	-	-	-
	40歳代	65	7.7	15.4	24.6	47.7	3.1	1.5	-	-
	50歳代	72	9.7	26.4	9.7	44.4	5.6	2.8	-	1.4
	60～64歳	63	11.1	39.7	3.2	39.7	1.6	4.8	-	-
	65～74歳	113	15.0	44.2	1.8	31.0	-	4.4	1.8	1.8
	75歳以上	104	12.5	40.4	-	34.6	-	4.8	4.8	2.9
無回答		17	17.6	23.5	29.4	17.6	-	-	11.8	-
全 体		504	12.7	30.8	11.3	36.7	2.0	3.6	1.8	1.2
認 定 患 者	重症認定されている	183	14.8	35.0	9.3	31.1	1.6	4.4	2.2	1.6
	重症認定されていない	236	10.6	26.7	14.4	40.7	3.0	2.5	1.3	0.8
	重症患者認定のない疾患である	52	15.4	34.6	1.9	42.3	-	3.8	-	1.9
	無回答	33	12.1	30.3	15.2	30.3	-	6.1	6.1	-

(3) 主な介助者の状況

【図表10-32 主な介助者】



【図表10-33 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】



「世話をしてもらう必要がない」(53.0%)が過半数を占めて最も多く、次いで、「配偶者」(24.4%)となっている。

年齢別にみると、40歳代までは、「世話をしてもらう必要がない」が8割を超えている。また、65歳以上では「配偶者(夫・妻)」の割合が3～4割前後と高い。

また、主な介助者の平均年齢は65.7歳で、「65～74歳」(32.7%)が最も多く、次いで「75歳以上」(26.9%)となっており、これらをあわせた65歳以上の高齢者が6割(59.6%)を占めている。

障がい者本人の年齢別に、主な介助者の年齢をみると、本人の年齢が上がるにつれて介助者の年齢も上がっており、高齢(65歳以上)の障がい者の介助者は、本人と同じく65歳以上である介助者が半数を超えている。

【図表10-34 年齢詳細別 主な介助者】(%)

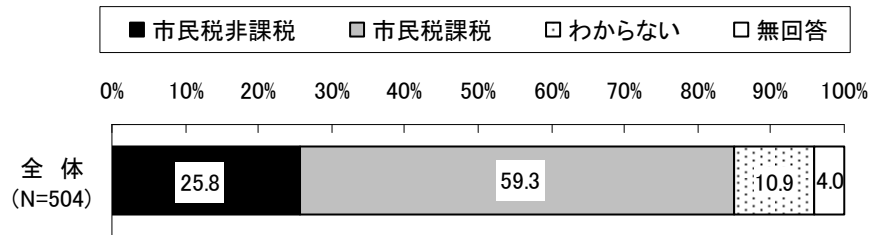
	調査数(人)	主な介助者										
		父親	母親	祖父母	配偶者(夫・妻)	子ども	兄弟姉妹	その他の家族	サービス事業者(ホームヘルパーなど)	その他	世話をしてもらう必要がない	無回答
全 体	504	-	4.0	-	24.4	4.6	0.6	0.4	5.4	3.4	53.0	4.4
年 齢 詳 細	17歳以下	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	23	17.4	-	-	-	-	-	-	-	82.6	-
	30歳代	45	8.9	-	4.4	-	-	-	-	6.7	80.0	-
	40歳代	65	7.7	-	6.2	-	-	-	3.1	1.5	80.0	1.5
	50歳代	72	2.8	-	18.1	1.4	-	1.4	2.8	-	69.4	4.2
	60～64歳	63	1.6	-	22.2	1.6	1.6	-	1.6	1.6	65.1	4.8
	65～74歳	113	-	-	35.4	5.3	0.9	0.9	6.2	2.7	41.6	7.1
	75歳以上	104	-	-	43.3	13.5	1.0	-	12.5	8.7	16.3	4.8
	無回答	17	11.8	-	29.4	5.9	-	-	11.8	-	29.4	11.8

【図表10-35 年齢詳細別 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】（％）

		調査数（人）	主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢								平均年齢（歳）
			20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答	
全 体		171	-	4.1	7.0	16.4	10.5	32.7	26.9	2.3	65.7
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	41.5
	18～29歳	4	-	-	-	100.0	-	-	-	-	55.0
	30歳代	6	-	16.7	16.7	33.3	-	33.3	-	-	53.0
	40歳代	9	-	-	33.3	11.1	-	33.3	22.2	-	61.4
	50歳代	17	-	5.9	11.8	52.9	11.8	5.9	11.8	-	57.2
	60～64歳	17	-	-	5.9	23.5	23.5	41.2	5.9	-	62.1
	65～74歳	48	-	8.3	4.2	2.1	12.5	54.2	12.5	6.3	65.5
	75歳以上	60	-	-	3.3	10.0	8.3	21.7	55.0	1.7	72.4
無回答		8	-	-	-	12.5	12.5	50.0	25.0	-	69.0

(4) 世帯の課税状況

【図表10-36 世帯の課税状況】



「市民税課税」(59.3%)が6割を占めており、「市民税非課税」(25.8%)より多くなっている。
年齢別にみると、65歳以上では「市民税非課税」が3割を超えて高い。

重症患者認定別にみると、認定者では「市民税非課税」(32.8%)の割合が3割を超えて高くなっている。

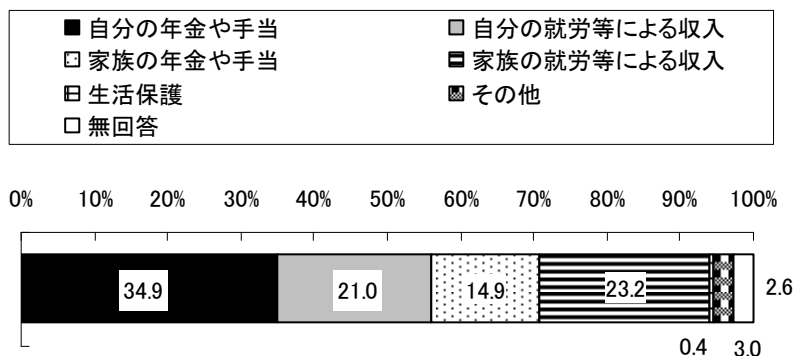
世帯状況別にみると、一人暮らしやグループホーム・ケアホーム利用者等では他に比べて「市民税非課税」の割合が高く、4割を超えている。

【図表10-37 年齢詳細別、重症患者認定別、世帯状況別 世帯の課税状況】(%)

		調査数 (人)	世帯の課税状況			
			市民税 非課税	市民税 課税	わ か ら な い	無 回 答
全 体		504	25.8	59.3	10.9	4.0
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	50.0	-	-
	18～29歳	23	8.7	60.9	30.4	-
	30歳代	45	22.2	66.7	11.1	-
	40歳代	65	20.0	69.2	9.2	1.5
	50歳代	72	15.3	69.4	9.7	5.6
	60～64歳	63	20.6	61.9	12.7	4.8
	65～74歳	113	34.5	51.3	9.7	4.4
	75歳以上	104	34.6	51.0	8.7	5.8
	無回答	17	29.4	52.9	11.8	5.9
全 体		504	25.8	59.3	10.9	4.0
重 症 患 者 認 定 者	認定されている	183	32.8	47.5	14.8	4.9
	認定されていない	236	20.8	68.6	7.6	3.0
	重症患者認定のない疾患である	52	23.1	59.6	13.5	3.8
	無回答	33	27.3	57.6	9.1	6.1
全 体		504	25.8	59.3	10.9	4.0
世 帯 状 況	一人暮らし	64	40.6	42.2	14.1	3.1
	夫婦のみ	155	18.1	67.7	8.4	5.8
	二世帯同居(親と本人)	57	28.1	56.1	15.8	-
	二世帯同居(子と本人)	185	20.0	67.6	9.7	2.7
	三世帯同居	10	30.0	40.0	30.0	-
	その他	18	66.7	22.2	11.1	-
	グループホーム・ケアホーム	9	55.6	22.2	11.1	11.1
	無回答	6	50.0	-	-	50.0

(5) 主な生活費

【図表10-38 主な生活費】



「自分の年金や手当」(34.9%)が最も多く、次いで「家族の就労等による収入」(23.2%)、「自分の就労等による収入」(21.0%)となっている。

年齢別にみると、30歳代までは「家族の就労等による収入」、40～50歳代では「自分の就労等による収入」、60歳以上では「自分の年金や手当」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では「自分の年金や手当」(46.4%)の割合が高く、半数弱を占めている。また、認定されていない人では「自分の就労等による収入」(30.5%)が3割と高い。

【図表10-39 年齢詳細別、重症患者認定別 主な生活費】(%)

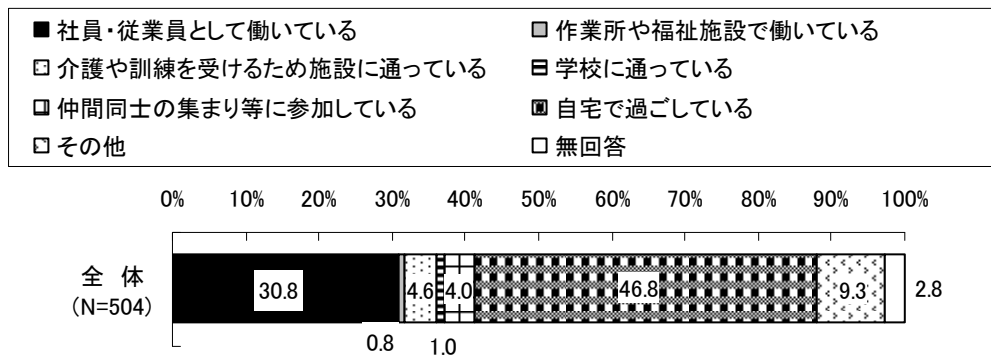
		調 査 数 （ 人 ）	主な生活費						
			自 分 の 年 金 や 手 当	自 分 の 就 労 等 に よ る 収 入	家 族 の 年 金 や 手 当	家 族 の 就 労 等 に よ る 収 入	生 活 保 護	そ の 他	無 回 答
全 体		504	34.9	21.0	14.9	23.2	0.4	3.0	2.6
年 齢 詳 細	17歳以下	2	－	－	－	100.0	－	－	－
	18～29歳	23	－	30.4	4.3	65.2	－	－	－
	30歳代	45	4.4	40.0	2.2	48.9	－	2.2	2.2
	40歳代	65	7.7	55.4	3.1	32.3	－	－	1.5
	50歳代	72	4.2	37.5	13.9	36.1	－	4.2	4.2
	60～64歳	63	39.7	12.7	14.3	28.6	－	4.8	－
	65～74歳	113	58.4	5.3	23.0	4.4	0.9	3.5	4.4
	75歳以上	104	66.3	1.9	20.2	4.8	1.0	2.9	2.9
無回答		17	35.3	11.8	29.4	17.6	－	5.9	－
全 体		504	34.9	21.0	14.9	23.2	0.4	3.0	2.6
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	46.4	10.9	18.0	19.1	0.5	2.7	2.2
	認定されていない	236	25.8	30.5	10.6	27.5	0.4	2.5	2.5
	重症患者認定のない疾患である	52	38.5	19.2	15.4	19.2	－	1.9	5.8
	無回答	33	30.3	12.1	27.3	21.2	－	9.1	－

4. 日中の過ごし方や外出の状況等について

(1) 主な日中の過ごし方

問17 あなたは、日中、主に何をして過ごしていますか。(○は1つだけ)

【図表10-40 主な日中の過ごし方】



「自宅で過ごしている」(46.8%)が最も多く、次いで「社員・従業員として働いている」(30.8%)となっている。

年齢別にみると、50歳代以下では「社員・従業員として働いている」が最も多くなっているが、60歳以降では「自宅で過ごしている」の割合がそれぞれ半数を超えている。また、75歳以上では他に比べて「介護や訓練を受けるため施設に通っている」(13.5%)の割合が1割を超えて高い。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では「社員・従業員として働いている」(44.1%)の割合が4割を超えて高く、一方、認定されている人では「自宅で過ごしている」(54.6%)の割合が半数を超えている。

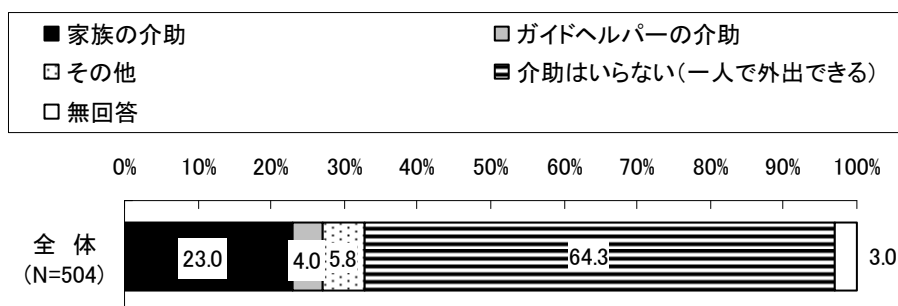
【図表10-41 年齢詳細別、重症患者認定別 主な日中の過ごし方】(%)

		調査数(人)	主な日中の過ごし方							
			社員・従業員として働いている	作業所や福祉施設で働いている	介護や訓練を受けるため施設に通っている	学校に通っている	仲間同士の集まり等に参加している	自宅で過ごしている	その他	無回答
全 体		504	30.8	0.8	4.6	1.0	4.0	46.8	9.3	2.8
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	18～29歳	23	52.2	4.3	-	13.0	-	30.4	-	-
	30歳代	45	57.8	2.2	-	-	-	35.6	2.2	2.2
	40歳代	65	72.3	1.5	-	-	3.1	20.0	1.5	1.5
	50歳代	72	47.2	1.4	-	-	1.4	40.3	6.9	2.8
	60～64歳	63	25.4	-	1.6	-	3.2	61.9	7.9	-
	65～74歳	113	9.7	-	6.2	-	8.0	61.1	10.6	4.4
	75歳以上	104	4.8	-	13.5	-	4.8	54.8	21.2	1.0
無回答		17	23.5	-	5.9	-	5.9	35.3	5.9	23.5
全 体		504	30.8	0.8	4.6	1.0	4.0	46.8	9.3	2.8
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	15.8	1.6	6.6	0.5	6.6	54.6	12.6	1.6
	認定されていない	236	44.1	0.4	3.4	1.3	2.1	39.4	6.8	2.5
	重症患者認定のない疾患である	52	28.8	-	1.9	-	-	51.9	13.5	3.8
	無回答	33	21.2	-	6.1	3.0	9.1	48.5	3.0	9.1

(2) 外出時に必要な介助

問18 あなたが外出するときに必要な介助はどれですか。(○は1つだけ)

【図表10-42 外出時に必要な介助】



「介助はいらない(一人で外出できる)」(64.3%)が6割を超えており、次いで「家族の介助」(23.0%)となっている。

年齢別にみると、74歳以下「介助はいらない(一人で外出できる)」の割合が最も高く、特に50歳代以下では8割を超えている。一方、75歳以上では「家族の介助」(48.1%)の割合が半数弱と高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では「家族の介助」(35.0%)の割合が3割を超えて高くなっている。一方、認定されていない人では「介助はいらない(一人で外出できる)」(81.4%)の割合が8割を超えて高い。

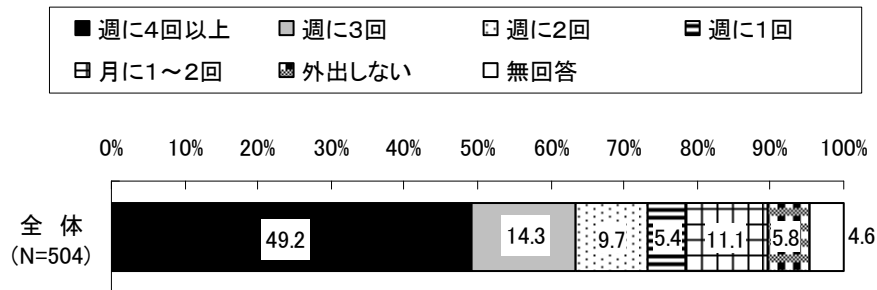
【図表10-43 年齢詳細別、重症患者認定別 外出時に必要な介助】(%)

		調査数(人)	外出時に必要な介助				
			家族の介助	ガイドヘルパーの介助	その他	介助はいらない(一人で外出できる)	無回答
全 体		504	23.0	4.0	5.8	64.3	3.0
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	-	-	50.0	-
	18～29歳	23	4.3	-	4.3	87.0	4.3
	30歳代	45	4.4	2.2	2.2	91.1	-
	40歳代	65	4.6	4.6	3.1	84.6	3.1
	50歳代	72	15.3	4.2	-	80.6	-
	60～64歳	63	19.0	1.6	3.2	74.6	1.6
	65～74歳	113	26.5	4.4	8.0	58.4	2.7
	75歳以上	104	48.1	5.8	12.5	26.9	6.7
無回答		17	35.3	5.9	5.9	47.1	5.9
全 体		504	23.0	4.0	5.8	64.3	3.0
重 症 患 者 認 定 別	認定されている	183	35.0	6.6	10.4	43.2	4.9
	認定されていない	236	12.7	1.3	3.0	81.4	1.7
	重症患者認定のない疾患である	52	23.1	7.7	3.8	63.5	1.9
	無回答	33	30.3	3.0	3.0	60.6	3.0

(3) 外出の頻度

問19 あなたは、通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表10-44 外出の頻度】



「週に4回以上」(49.2%)が半数を占めて最も多く、次いで「週に3回」(14.3%)、「月に1~2回」(11.1%)となっている。その他はいずれも1割未満である。

年齢別にみると、50歳代以下では他に比べて高頻度で外出する人の割合が高く、「月に4回以上」が6割を超えており、外出しない人は0~1.5%に留まっている。また、75歳以上では「月に1~2回」(19.2%)と「外出しない」(15.4%)の割合が高い。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「月に1~2回」(18.0%)や「外出しない」(10.4%)の割合が高くなっている。一方、認定されていない人では「週に4回以上」(63.1%)の割合が6割を超えて高い。

【図表10-45 年齢詳細別、重症患者認定別 外出の頻度】(%)

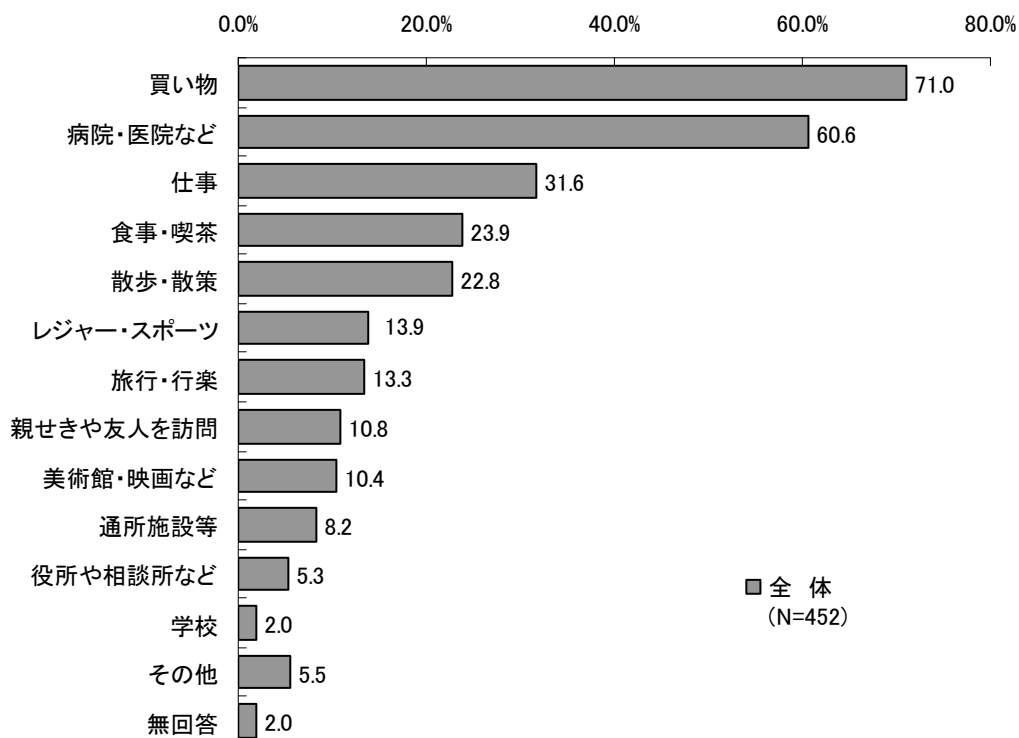
		調査数 (人)	外出の頻度						
			週に 4回 以上	週に 3回	週に 2回	週に 1回	月に 1~ 2回	外出 しない	無回 答
全 体		504	49.2	14.3	9.7	5.4	11.1	5.8	4.6
年 齢 詳 細	17歳以下	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	18~29歳	23	78.3	17.4	4.3	-	-	-	-
	30歳代	45	73.3	6.7	4.4	6.7	4.4	-	4.4
	40歳代	65	73.8	7.7	3.1	-	7.7	1.5	6.2
	50歳代	72	62.5	8.3	11.1	11.1	5.6	-	1.4
	60~64歳	63	49.2	17.5	11.1	1.6	14.3	4.8	1.6
	65~74歳	113	31.9	22.1	16.8	7.1	12.4	7.1	2.7
	75歳以上	104	26.0	15.4	8.7	6.7	19.2	15.4	8.7
無回答		17	47.1	11.8	5.9	-	11.8	5.9	17.6
全 体		504	49.2	14.3	9.7	5.4	11.1	5.8	4.6
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	29.0	21.3	9.3	5.5	18.0	10.4	6.6
	認定されていない	236	63.1	9.7	10.6	4.7	6.8	2.1	3.0
	重症患者認定のない疾患である	52	51.9	11.5	9.6	9.6	7.7	7.7	1.9
	無回答	33	57.6	12.1	6.1	3.0	9.1	3.0	9.1

(4) 主な外出先

[問19で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問19-1 どのようなところに外出することが多いですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-46 主な外出先】



月に1回以上外出する人に主な外出先をたずねたところ、「買い物」(71.0%)が最も多く、次いで「病院・医院など」(60.6%)、「仕事」(31.6%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では64歳以上に比べて「買い物」(77.1%)や「仕事」(50.0%)、「食事・喫茶」(30.2%)等の割合が高い一方、65歳以上では「病院・医院など」(73.5%)、「通所施設等」(16.6%)等の割合が高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「仕事」(43.3%)等の割合が高い。

【図表10-47 年齢2区分別、重症患者認定別 主な外出先】(%)

		調査数（人）	主な外出先													
			買い物	病院・ 医院など	仕事	食事・ 喫茶	散歩・ 散策	ポ レ ジ ャ ー ・ ス	旅行・ 行楽	訪問 親 せ き や 友 人 を	ど 美 術 館 ・ 映 画 な	通 所 施 設 等	ど 役 所 や 相 談 所 な	学 校	そ の 他	無 回 答
全 体		452	71.0	60.6	31.6	23.9	22.8	13.9	13.3	10.8	10.4	8.2	5.3	2.0	5.5	2.0
区 年 分 齢 2	64歳以下	258	77.1	51.6	50.0	30.2	22.9	16.7	17.1	13.2	13.2	1.9	4.7	3.5	4.3	2.3
	65歳以上	181	61.3	73.5	5.5	14.9	23.8	11.0	8.8	8.3	7.2	16.6	6.1	－	6.6	1.7
	無回答	13	84.6	61.5	30.8	23.1	7.7	－	－	－	－	15.4	7.7	－	15.4	－
全 体		452	71.0	60.6	31.6	23.9	22.8	13.9	13.3	10.8	10.4	8.2	5.3	2.0	5.5	2.0
重 症 患 者 認 定	認定されている	152	65.1	65.8	15.8	23.7	22.4	8.6	13.2	11.2	7.2	11.8	5.9	0.7	2.6	1.3
	認定されていない	224	74.1	58.9	43.3	25.4	22.3	17.4	15.6	11.2	12.9	5.4	3.6	3.1	6.3	2.7
	重症患者認定のない疾患である	47	74.5	55.3	31.9	21.3	23.4	17.0	8.5	8.5	12.8	6.4	10.6	－	10.6	2.1
	無回答	29	72.4	55.2	24.1	17.2	27.6	10.3	3.4	10.3	3.4	13.8	6.9	3.4	6.9	－

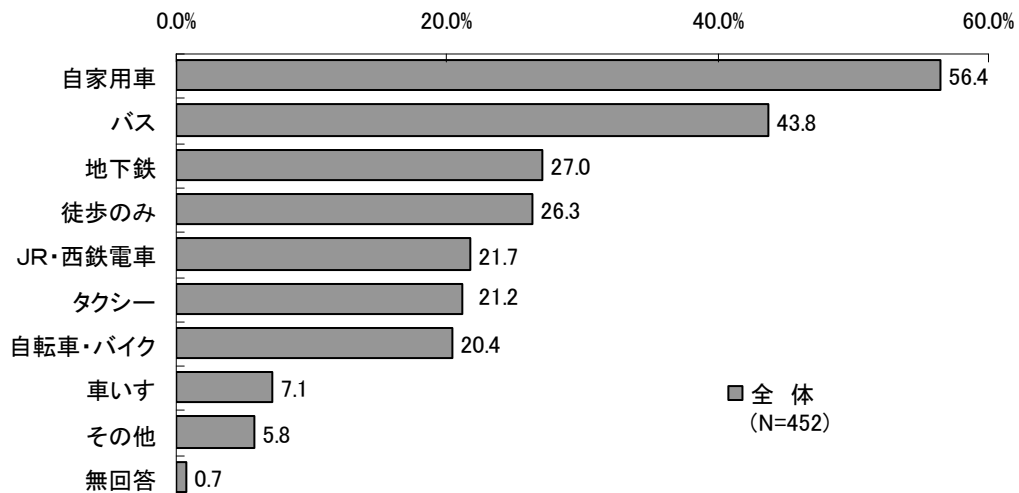
(5) 外出時の移動手段

[問19で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問19-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。

(○はあてはまるものすべて)

【図表10-48 外出時の移動手段】



月に1回以上外出する人に外出時の移動手段をたずねたところ、「自家用車」(56.4%)が最も多く、次いで「バス」(43.8%)となっている。

年齢別にみると、18～29歳では「バス」(78.3%)や「地下鉄」(56.5%)、「自転車・バイク」(52.2%)を利用している人の割合が高い。また、30～50歳代では他に比べて「自家用車」、65歳以上の高齢者では「タクシー」の割合がそれぞれ高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「タクシー」(29.6%)や、「車いす」(14.5%)の割合が高い。一方、認定されていない人では「バス」(48.2%)や「地下鉄」(33.0%)、「JR・西鉄電車」(24.6%)等の公共交通機関を利用している人の割合が高く、さらに「自転車・バイク」(24.6%)の割合も高くなっている。

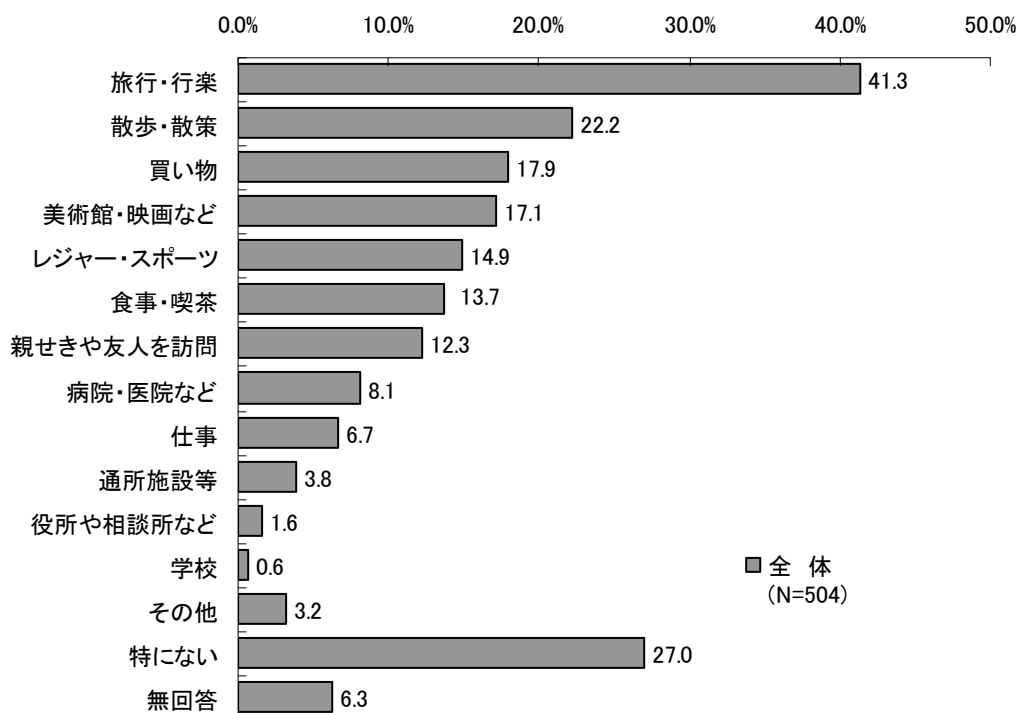
【図表10-49 年齢詳細別、重症患者認定別 外出時の移動手段】(%)

		調査数 (人)	外出時の移動手段									
			自家用車	バス	地下鉄	徒歩のみ	JR・西鉄電車	タクシー	自転車・バイク	車いす	その他	無回答
全 体		452	56.4	43.8	27.0	26.3	21.7	21.2	20.4	7.1	5.8	0.7
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	18～29歳	23	39.1	78.3	56.5	34.8	34.8	13.0	52.2	8.7	4.3	-
	30歳代	43	79.1	41.9	37.2	27.9	39.5	11.6	20.9	-	2.3	2.3
	40歳代	60	70.0	41.7	36.7	21.7	26.7	15.0	23.3	1.7	1.7	-
	50歳代	71	67.6	42.3	29.6	26.8	21.1	14.1	15.5	8.5	-	-
	60～64歳	59	55.9	50.8	20.3	37.3	20.3	16.9	22.0	1.7	1.7	-
	65～74歳	102	49.0	46.1	23.5	29.4	21.6	28.4	25.5	8.8	3.9	1.0
	75歳以上	79	39.2	27.8	12.7	15.2	5.1	32.9	3.8	13.9	20.3	1.3
無回答		13	53.8	61.5	30.8	23.1	23.1	30.8	23.1	15.4	15.4	-
全 体		452	56.4	43.8	27.0	26.3	21.7	21.2	20.4	7.1	5.8	0.7
認 症 定 患 者	重症認定されている	152	50.7	36.8	19.1	25.0	17.8	29.6	13.2	14.5	7.9	1.3
	重症認定されていない	224	59.4	48.2	33.0	24.1	24.6	14.3	24.6	2.7	4.5	0.4
	重症患者認定のない疾患である	47	57.4	42.6	29.8	34.0	19.1	27.7	23.4	2.1	2.1	-
	無回答	29	62.1	48.3	17.2	37.9	24.1	20.7	20.7	10.3	10.3	-

(6) 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ

問20 あなたが、今後、外出の回数を増やしたいところや、新たに外出したいところはどのようなところですか。(〇はあてまるものすべて)

【図表10-50 外出の回数を増やしたいところ・新たに外出したいところ】

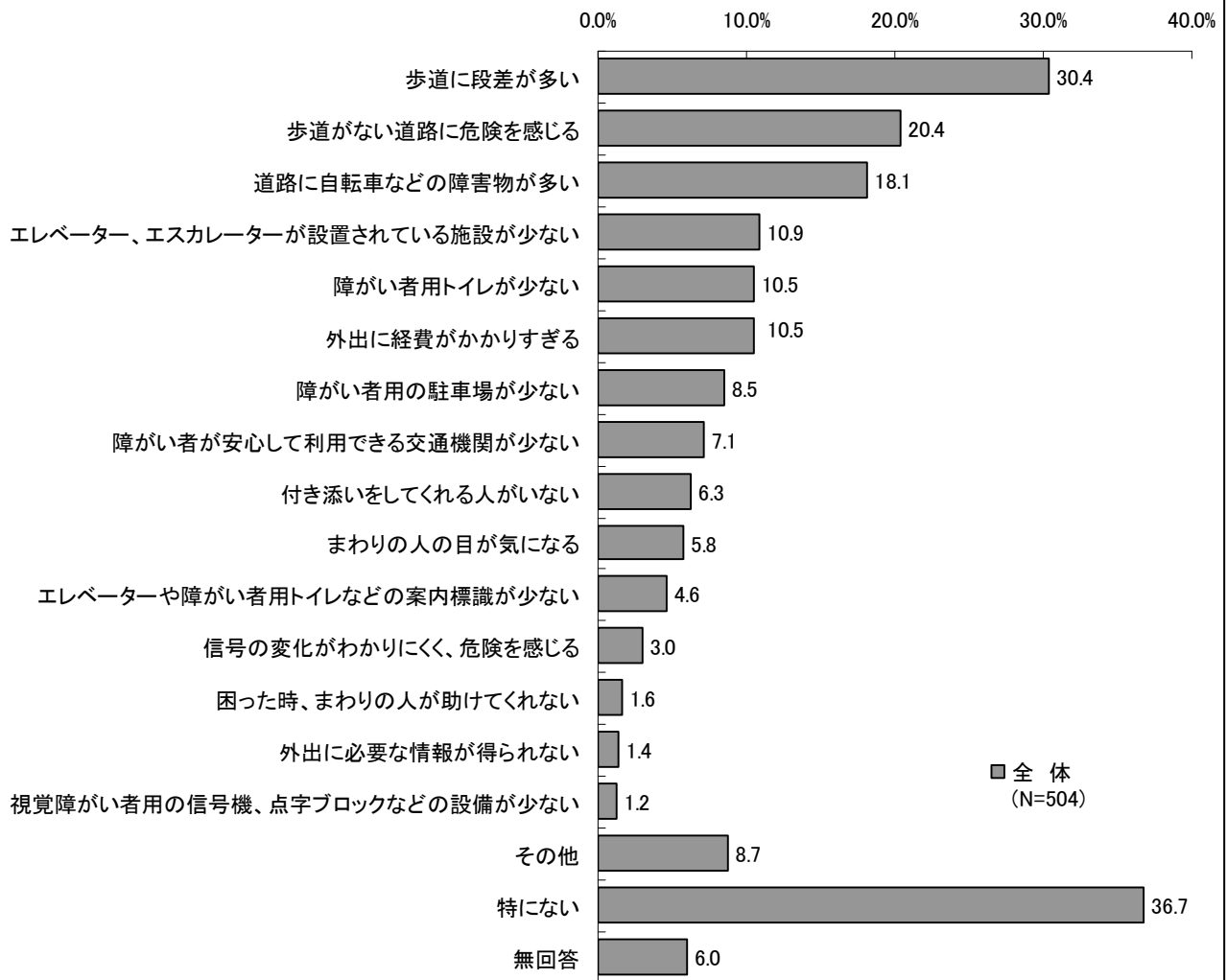


「旅行・行楽」(41.3%)が最も多く、次いで「散歩・散策」(22.2%)、「買い物」(17.9%)、「美術館・映画など」(17.1%)となっている。また、「特にない」(27.0%)も3割弱を占めている。

(7) 外出時に不便や困難を感じること

問21 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表10-51 外出時に不便や困難を感じること】



「歩道に段差が多い」(30.4%)が最も多く、次いで「歩道がない道路に危険を感じる」(20.4%)、「道路に自転車などの障害物が多い」(18.1%)となっている。また、「特にない」(36.7%)も4割弱を占めている。

年齢別にみても大きな違いは見られない。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて、ほとんどの項目で不便や困難を感じている人の割合が高く、特に「歩道に段差が多い」(36.6%)の割合が4割弱と高くなっている。

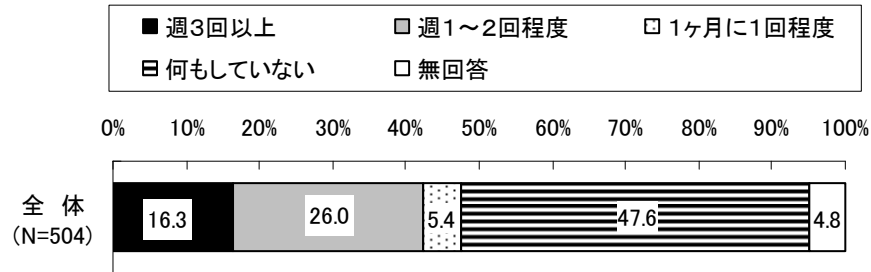
【図表10-52 年齢(2区分、詳細)別、重症患者認定別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

		調査数（人）	外出時に不便や困難を感じること																	
			歩道に段差が多い	歩道がない道路に危険を感じる	道路に自転車などの障害物が多い	エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない	障がい者用トイレが少ない	外出に経費がかかりすぎる	障がい者用の駐車場が少ない	交通機関が少ない	障がい者が安心して利用できる	付き添いをしてくれる人がいない	まわりの人の目が気になる	エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない	信号の変化がわかりにくく、危険を感じる	困った時、まわりの人が助けてくれない	外出に必要な情報が得られない	視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない	その他	特にない
全 体		504	30.4	20.4	18.1	10.9	10.5	10.5	8.5	7.1	6.3	5.8	4.6	3.0	1.6	1.4	1.2	8.7	36.7	6.0
区分	年齢 64歳以下	270	22.6	19.3	18.5	10.7	8.9	8.5	8.1	4.8	1.9	6.3	3.0	3.3	1.9	2.2	0.7	10.7	44.1	2.2
	65歳以上	217	41.0	21.7	17.1	11.1	12.4	11.1	8.3	10.1	11.5	5.5	6.5	2.3	1.4	0.5	1.8	6.0	28.6	9.7
2	無回答	17	17.6	23.5	23.5	11.8	11.8	35.3	17.6	5.9	11.8	—	5.9	5.9	—	—	—	11.8	23.5	17.6
全 体		504	30.4	20.4	18.1	10.9	10.5	10.5	8.5	7.1	6.3	5.8	4.6	3.0	1.6	1.4	1.2	8.7	36.7	6.0
年齢詳細	17歳以下	2	50.0	—	—	50.0	—	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—
	18～29歳	23	13.0	8.7	8.7	8.7	4.3	13.0	8.7	8.7	—	13.0	—	8.7	—	4.3	—	21.7	52.2	—
	30歳代	45	13.3	11.1	13.3	11.1	8.9	2.2	2.2	6.7	2.2	2.2	2.2	—	2.2	2.2	—	17.8	51.1	—
	40歳代	65	15.4	16.9	13.8	12.3	4.6	15.4	4.6	4.6	1.5	3.1	3.1	4.6	—	4.6	1.5	6.2	47.7	3.1
	50歳代	72	30.6	20.8	25.0	4.2	9.7	4.2	13.9	4.2	2.8	8.3	4.2	2.8	1.4	—	—	9.7	41.7	1.4
	60～64歳	63	30.2	30.2	23.8	15.9	14.3	7.9	7.9	3.2	1.6	6.3	3.2	3.2	4.8	1.6	1.6	7.9	34.9	4.8
	65～74歳	113	38.1	21.2	16.8	11.5	15.0	10.6	9.7	9.7	5.3	2.7	7.1	2.7	1.8	0.9	0.9	7.1	35.4	7.1
	75歳以上	104	44.2	22.1	17.3	10.6	9.6	11.5	6.7	10.6	18.3	8.7	5.8	1.9	1.0	—	2.9	4.8	21.2	12.5
	無回答	17	17.6	23.5	23.5	11.8	11.8	35.3	17.6	5.9	11.8	—	5.9	5.9	—	—	—	11.8	23.5	17.6
全 体		504	30.4	20.4	18.1	10.9	10.5	10.5	8.5	7.1	6.3	5.8	4.6	3.0	1.6	1.4	1.2	8.7	36.7	6.0
重症患者認定	認定されている	183	36.6	19.1	19.1	13.7	14.2	10.9	12.0	9.3	9.8	7.1	5.5	3.3	2.7	1.6	2.2	7.1	26.8	10.4
	認定されていない	236	25.4	21.2	16.5	9.3	7.6	9.7	4.2	5.5	3.4	5.5	4.2	3.4	0.8	1.3	0.8	8.9	46.2	1.3
	重症患者認定のない疾患である	52	28.8	21.2	17.3	7.7	7.7	5.8	9.6	5.8	3.8	3.8	3.8	—	1.9	—	—	7.7	36.5	9.6
	無回答	33	33.3	21.2	24.2	12.1	15.2	21.2	18.2	9.1	12.1	3.0	3.0	3.0	—	3.0	—	18.2	24.2	9.1

(8) スポーツの頻度

問22 あなたは、どの程度スポーツ（散歩やランニング程度のものを含む）をしていますか。
（○は1つだけ）

【図表10-53 スポーツの頻度】



「何もしていない」（47.6%）が半数弱を占めて最も多く、次いで「週1～2回程度」（26.0%）となっている。

年齢別にみると、60～74歳では、スポーツを頻繁にしている人の割合が高く、「週に3回以上」と「週に1～2回程度」をあわせると過半数となっている。また、75歳以上では他に比べて「何もしていない」（61.5%）が6割を超えて高い。

重症患者認定別にみると、認定者では「何もしていない」（55.2%）の割合が過半数と高くなっている。

【図表10-54 年齢詳細別、重症患者認定別 スポーツの頻度】 (%)

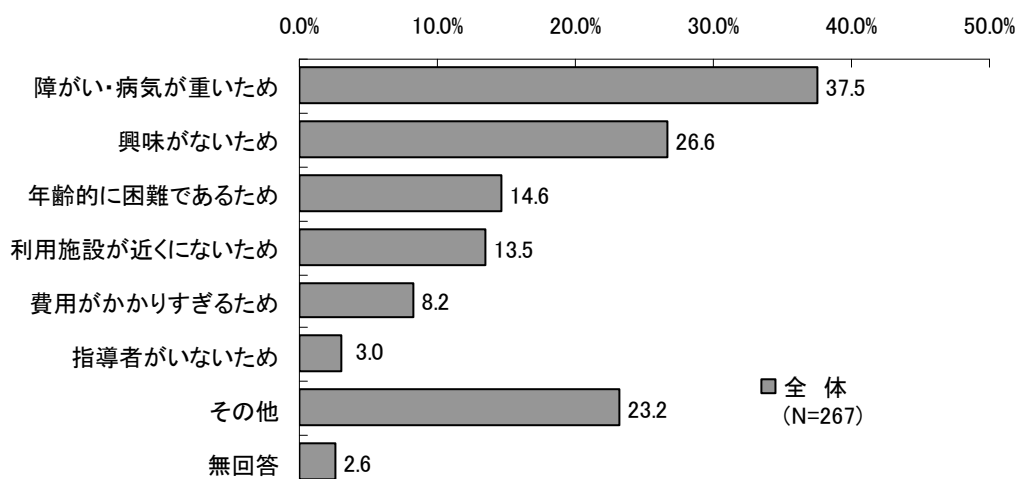
	調査数 (人)	スポーツの頻度				
		週3回以上	週1～2回程度	1ヶ月に1回程度	何もしていない	無回答
全 体	504	16.3	26.0	5.4	47.6	4.8
年 齢 詳 細	17歳以下	2	100.0	-	-	-
	18～29歳	23	13.0	30.4	8.7	47.8
	30歳代	45	13.3	26.7	13.3	44.4
	40歳代	65	10.8	20.0	7.7	56.9
	50歳代	72	9.7	36.1	6.9	44.4
	60～64歳	63	30.2	31.7	1.6	34.9
	65～74歳	113	19.5	31.9	3.5	41.6
	75歳以上	104	13.5	13.5	1.0	61.5
	無回答	17	11.8	17.6	17.6	41.2
全 体	504	16.3	26.0	5.4	47.6	4.8
重 認 定 者	183	12.0	23.0	3.3	55.2	6.6
認 症 認 定 者	236	19.1	26.7	5.9	45.3	3.0
定 患 者	52	13.5	36.5	9.6	36.5	3.8
無 回 答	33	24.2	21.2	6.1	39.4	9.1

(9) スポーツをしていない理由

[問22で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問22-1 それはなぜですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-55 スポーツをしていない理由】



スポーツをしていない人、及び1ヶ月に1回程度しかしない人に、その理由をたずねたところ、「障がい・病気が重いため」(37.5%)が最も多く、次いで「興味がないため」(26.6%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下では65歳以上に比べて「興味がないため」(36.2%)の割合が高く、3割を超えている。一方、65歳以上では「障がい・病気が重いため」(52.6%)の割合が過半数と高い。

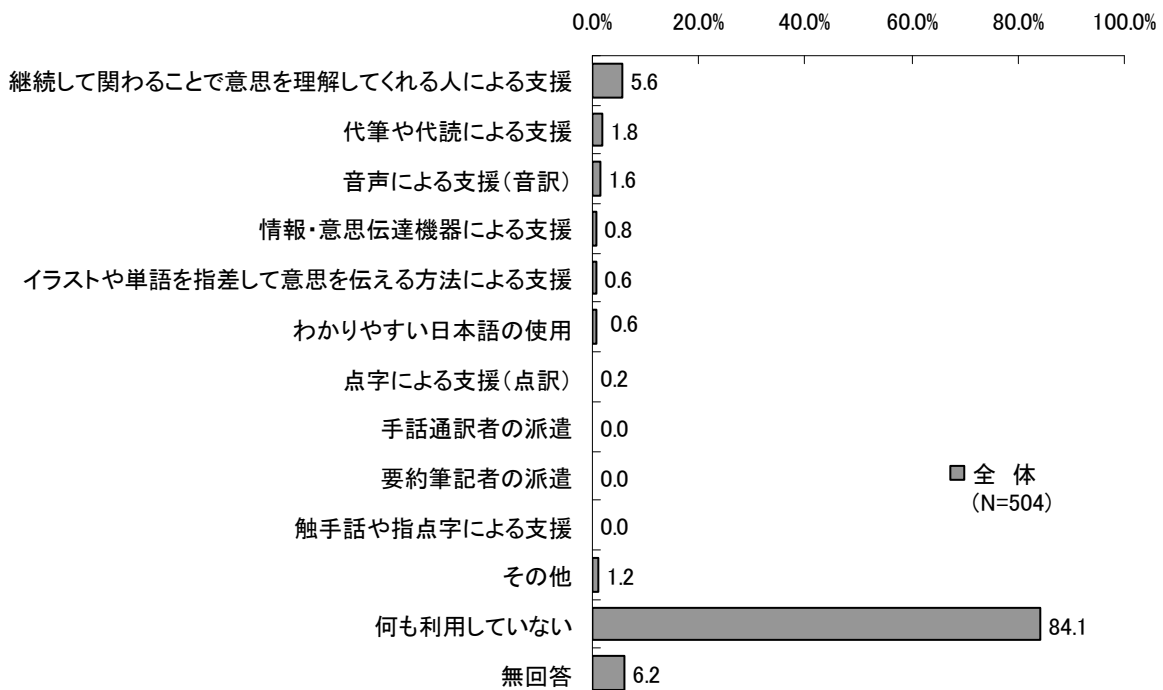
【図表10-56 年齢2区分別 スポーツをしていない理由】(%)

	調査数(人)	スポーツをしていない理由							
		障がい・病気が重いため	興味がないため	年齢的に困難であるため	利用施設が近くにないため	費用がかかりすぎるため	指導者がいないため	その他	無回答
全体	267	37.5	26.6	14.6	13.5	8.2	3.0	23.2	2.6
年齢2区分									
64歳以下	141	25.5	36.2	3.5	14.2	10.6	3.5	29.1	-
65歳以上	116	52.6	15.5	29.3	12.1	4.3	0.9	16.4	4.3
無回答	10	30.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

(10) 利用しているコミュニケーション支援

問23 あなたは、普段、どのようなコミュニケーション（意思疎通）の支援を利用していますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表10-57 利用しているコミュニケーション支援】

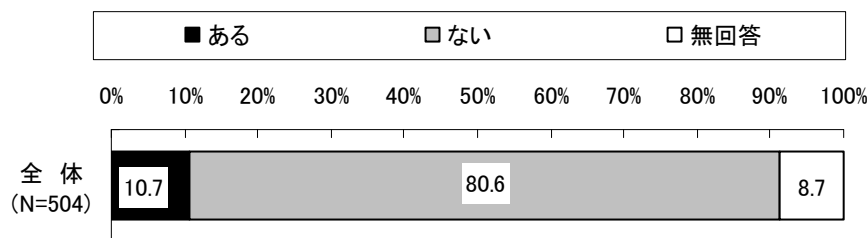


回答者全体では「何も利用していない」(84.1%)が8割を超えている。利用しているものとしては、「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(5.6%)が比較的多くなっている。

(11) コミュニケーションで困っていることの有無

問24 あなたは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。
（○は1つだけ）

【図表10-58 コミュニケーションで困っていることの有無】



回答者全体では「ない」（80.6%）が8割を占めており、「ある」は10.7%となっている。

年齢別にみても、大きな違いは見られない。

重症患者認定別にみると、認定者ではコミュニケーションで困っている人の割合が2割弱（18.6%）と高くなっている。

【図表10-59 年齢（2区分、詳細）別、重症患者認定別

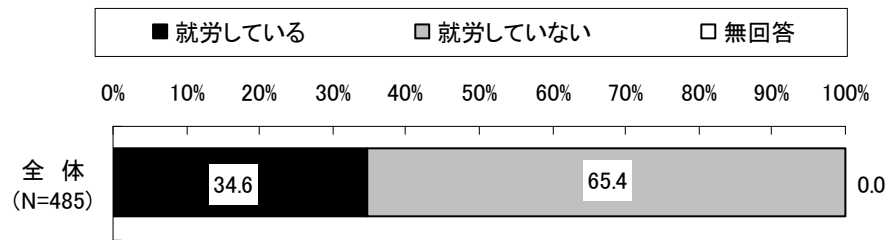
コミュニケーションで困っていることの有無】（%）

	調査数（人）	コミュニケーションで困っていることの有無		
		ある	ない	無回答
全体	504	10.7	80.6	8.7
年齢区分2				
64歳以下	270	7.8	89.3	3.0
65歳以上	217	13.4	72.4	14.3
無回答	17	23.5	47.1	29.4
全体	504	10.7	80.6	8.7
年齢詳細				
17歳以下	2	-	100.0	-
18～29歳	23	13.0	87.0	-
30歳代	45	4.4	95.6	-
40歳代	65	12.3	86.2	1.5
50歳代	72	5.6	91.7	2.8
60～64歳	63	6.3	85.7	7.9
65～74歳	113	13.3	77.0	9.7
75歳以上	104	13.5	67.3	19.2
無回答	17	23.5	47.1	29.4
全体	504	10.7	80.6	8.7
重症患者認定				
認定されている	183	18.6	69.9	11.5
認定されていない	236	5.5	89.0	5.5
重症患者認定のない疾患である	52	3.8	84.6	11.5
無回答	33	15.2	72.7	12.1

5. 就労の状況について

(1) 就労の有無、就労形態

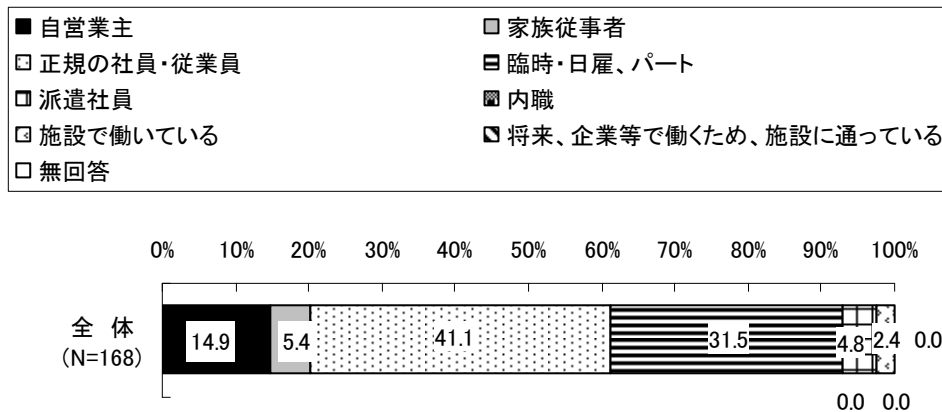
【図表10-60 就労の有無】



[現在就労している方のみお答えください]

問25 あなたの就労形態は何ですか。(○は1つだけ)

【図表10-61 就労形態】



回答者485人の3割強（34.6%）は就労している。就労している人の就労形態では「正規の社員・従業員」（41.1%）が4割強と最も多く、次いで「臨時・日雇、パート」（31.5%）となっている。

就労の有無について、年齢別にみると、50歳代までは過半数が就労しているが、60歳代以上では3割未満に低下している。

重症患者認定別にみると、認定者では就労していない人が8割（79.7%）と大半を占めている。

【図表10-62 年齢詳細別、重症患者認定別 就労の有無、就労形態】(%)

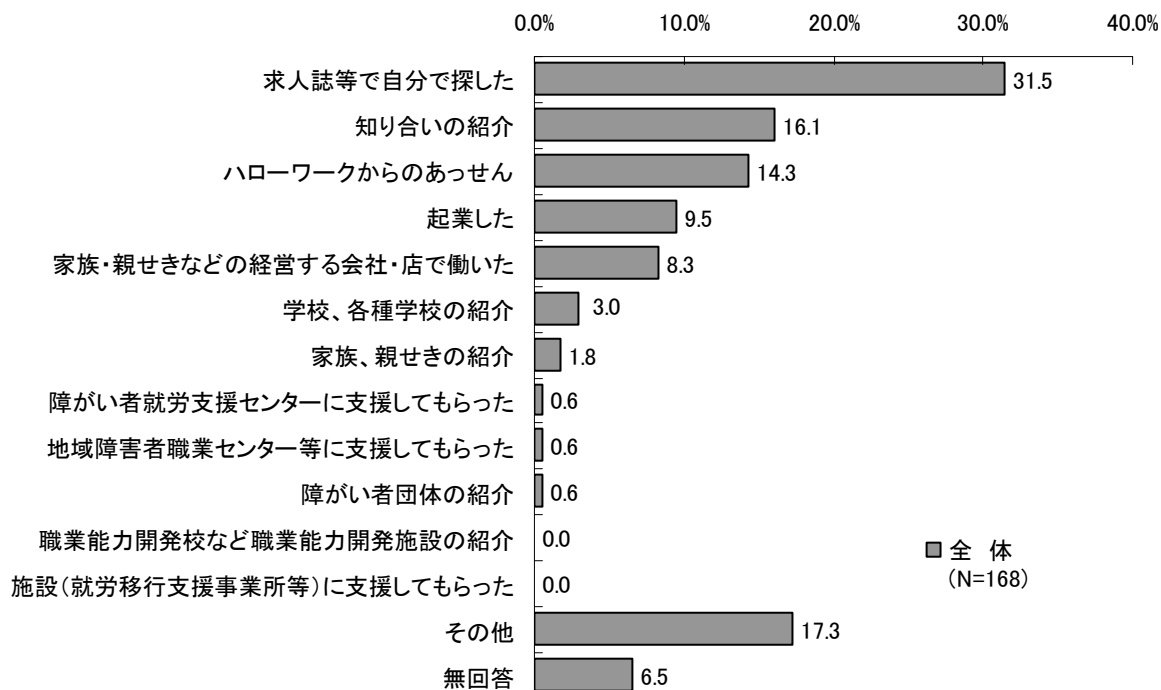
		調査数（人）	就労の有無			調査数（人）	就労形態									
			就労している	就労していない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	パート・臨時・日雇、派遣社員	内職	施設で働いている	働くため、施設に通っている	将来、企業等で働くため、施設で	無回答	
全 体		485	34.6	65.4	－	168	14.9	5.4	41.1	31.5	4.8	－	2.4	－	－	
年齢詳細	17歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	18～29歳	23	60.9	39.1	－	14	7.1	－	50.0	35.7	－	－	7.1	－	－	
	30歳代	45	62.2	37.8	－	28	7.1	－	50.0	28.6	10.7	－	3.6	－	－	
	40歳代	65	76.9	23.1	－	50	6.0	6.0	44.0	36.0	6.0	－	2.0	－	－	
	50歳代	72	54.2	45.8	－	39	10.3	2.6	43.6	38.5	2.6	－	2.6	－	－	
	60～64歳	63	27.0	73.0	－	17	17.6	11.8	41.2	23.5	5.9	－	－	－	－	
	65～74歳	113	11.5	88.5	－	13	53.8	15.4	15.4	15.4	－	－	－	－	－	
	75歳以上	104	6.7	93.3	－	7	71.4	14.3	－	14.3	－	－	－	－	－	
無回答		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
全 体		485	34.6	65.4	－	168	14.9	5.4	41.1	31.5	4.8	－	2.4	－	－	
重症患者認定者	認定されている	182	20.3	79.7	－	37	29.7	5.4	32.4	24.3	－	－	8.1	－	－	
	認定されていない	235	47.2	52.8	－	111	9.9	6.3	45.0	31.5	6.3	－	0.9	－	－	
	重症患者認定のない疾患である	51	31.4	68.6	－	16	18.8	－	43.8	37.5	－	－	－	－	－	
	無回答	17	23.5	76.5	－	4	－	－	－	75.0	25.0	－	－	－	－	

(2) 仕事を探した方法

[現在就労している方のみお答えください]

問26 どのような方法で仕事を探しましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-63 仕事を探した方法】



就労している人に仕事を探した方法をたずねたところ、「求人誌等で自分で探した」(31.5%)が最も多く、次いで「知り合いの紹介」(16.1%)、「ハローワークからのあっせん」(14.3%)となっている。

年齢別にみると、「ハローワークからのあっせん」や「求人誌等で自分で探した」の割合は概ね若い年代ほど高い一方、「家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた」の割合は年齢が上がるほど高くなっている。また、60歳代前半と75歳以上では他に比べて「起業した」の割合が3割弱と高い。

【図表10-64 年齢詳細別 仕事を探した方法】(%)

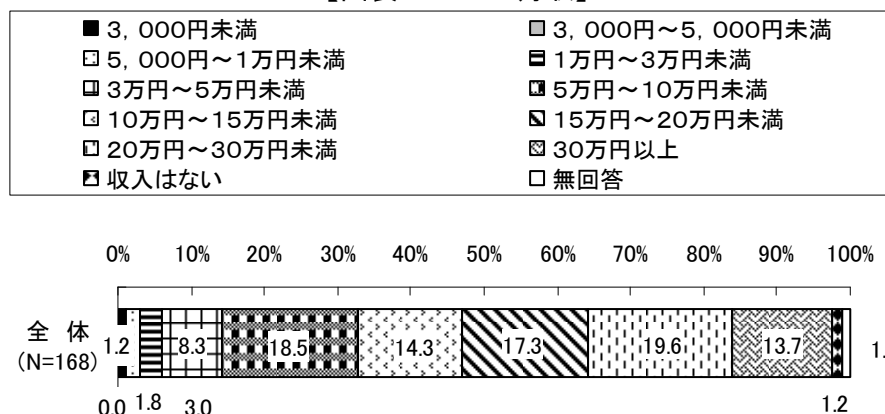
	調査数(人)	仕事を探した方法													
		求人誌等で自分で探した	知り合いの紹介	ハローワークからのあっせん	起業した	家族・親せきなどの経営する会社・店で働いた	学校、各種学校の紹介	家族、親せきの紹介	障がい者就労支援センターに支援してもらった	地域障害者職業センター等に支援してもらった	障がい者団体の紹介	職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介	施設(就労移行支援事業所等)に支援してもらった	その他	無回答
全体	168	31.5	16.1	14.3	9.5	8.3	3.0	1.8	0.6	0.6	0.6	-	-	17.3	6.5
年齢詳細	17歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	14	57.1	14.3	35.7	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	14.3
	30歳代	28	39.3	17.9	21.4	10.7	3.6	3.6	-	-	3.6	-	-	10.7	3.6
	40歳代	50	38.0	18.0	12.0	6.0	8.0	4.0	2.0	2.0	-	-	-	20.0	-
	50歳代	39	23.1	23.1	12.8	2.6	7.7	2.6	-	-	-	-	-	15.4	12.8
	60～64歳	17	23.5	5.9	5.9	29.4	11.8	5.9	-	-	-	-	-	29.4	-
	65～74歳	13	7.7	7.7	-	15.4	15.4	-	-	-	-	-	-	38.5	15.4
	75歳以上	7	14.3	-	14.3	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	-	14.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 月収

[現在就労している方のみお答えください]

問27 あなたの、ふだんの月収（手取り額）はどのくらいですか。賞与などの臨時的に支給されるものは除きます。（○は1つだけ）

【図表10-65 月収】



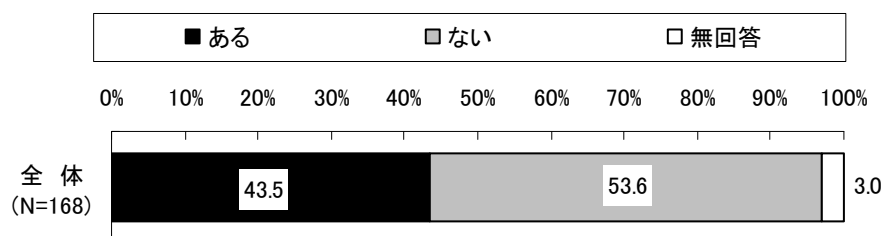
就労による月収は、「20万円～30万円未満」（19.6%）が最も多く、次いで「5万円～10万円未満」（18.5%）、「15万円～20万円未満」（17.3%）、「10万円～15万円未満」（14.3%）、「30万円以上」（13.7%）となっている。

(4) 仕事上の困りごとや心配なことの有無

[現在就労している方のみお答えください]

問28 あなたは、仕事を続けていく上で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。（○は1つだけ）

【図表10-66 仕事上の困りごとや心配なことの有無】



仕事上の困りごとや心配なことについて、「ない」（53.6%）が過半数、「ある」（43.5%）が4割強となっている。

年齢別にみると、40歳代以下では「ある」の割合が過半数と高く、特に30歳代では6割を超えている（64.3%）。

【図表10-67 年齢詳細別 仕事上の困りごとや心配なことの有無】（%）

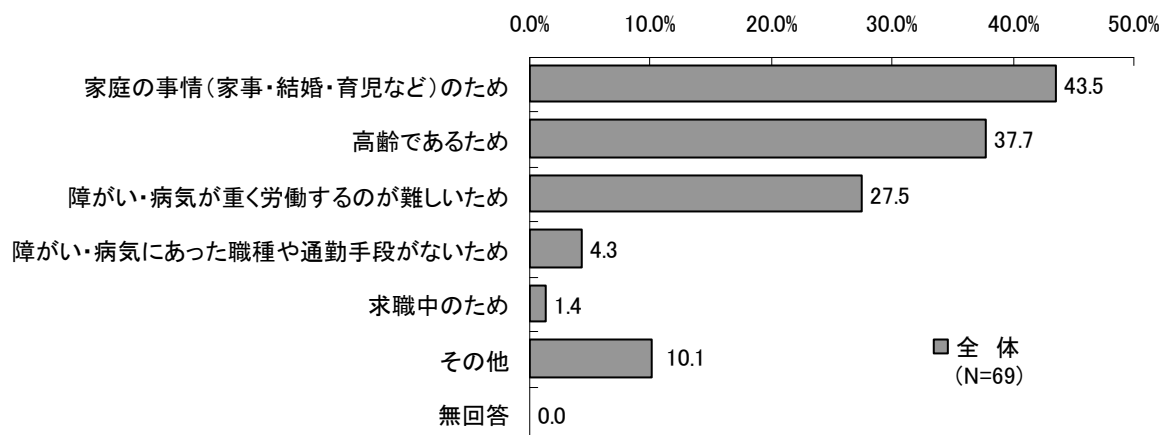
	(人調査数)	仕事上の困りごとや心配なことの有無		
		ある	ない	無回答
全 体	168	43.5	53.6	3.0
年 齢 詳 細	17歳以下	-	-	-
	18～29歳	14	57.1	42.9
	30歳代	28	64.3	32.1
	40歳代	50	50.0	48.0
	50歳代	39	41.0	56.4
	60～64歳	17	17.6	76.5
	65～74歳	13	7.7	84.6
	75歳以上	7	28.6	71.4
	無回答	-	-	-

(5) 働いたことがない理由

[就労経験がない方のみお答えください]

問29 働いたことがない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-68 働いたことがない理由】



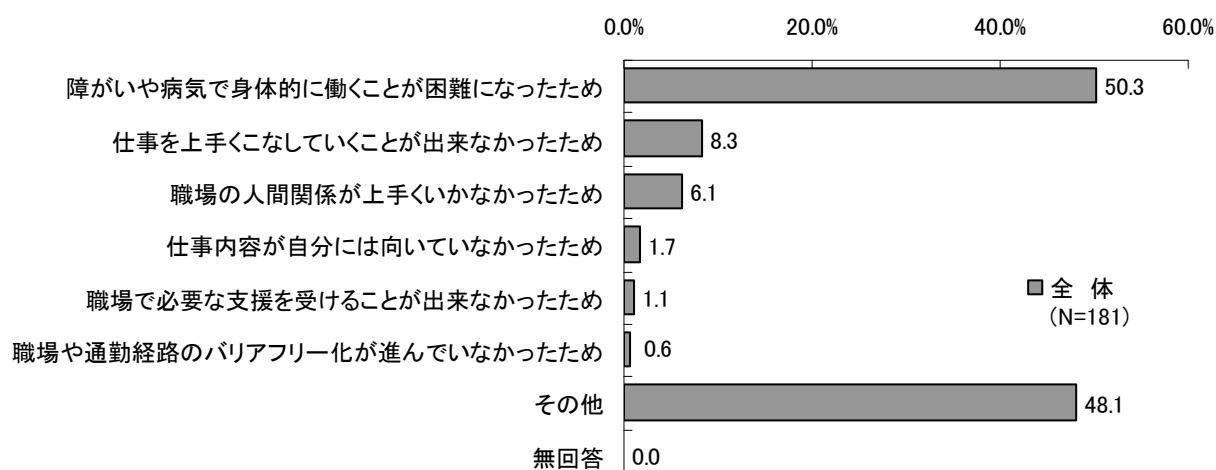
就労経験がない人にその理由をたずねたところ、「家庭の事情(家事・結婚・育児など)のため」(43.5%)が4割を超えて最も多く、次いで「高齢であるため」(37.7%)、「障がい・病気が重く労働するのが難しいため」(27.5%)となっている。

(6) 仕事をやめた原因

[以前働いていたが仕事をやめた方のみお答えください]

問30 仕事をやめた原因は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-69 仕事をやめた原因】

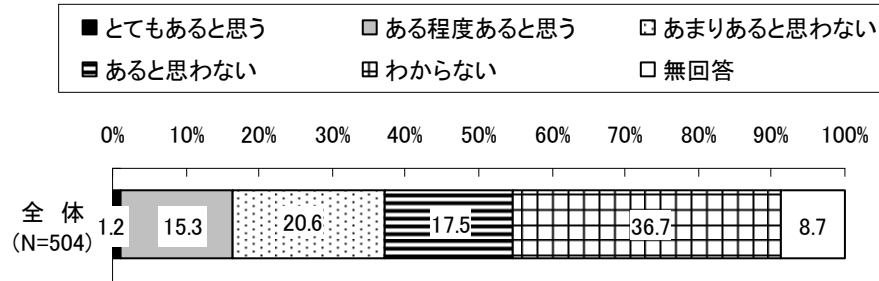


以前働いていたが仕事をやめた人にその原因をたずねたところ、「障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため」(50.3%)が半数を占めて最も多くなっている。

(7) 難病患者の就労に対する社会の理解度

問3 1 難病患者が働くことについて社会の理解があると思いますか。(○は1つだけ)

【図表10-70 難病患者の就労に対する社会の理解度】



「あまりあると思わない」(20.6%)・「あると思わない」(17.5%)をあわせた『理解があると思わない』人(38.1%)が4割弱を占めている。一方、「とてもあると思う」(1.2%)・「ある程度あると思う」(15.3%)をあわせた『理解があると思う』人(16.5%)は2割弱に留まっている。

年齢別にみると、40歳代以下では50歳代以上に比べて『理解があると思わない』人の割合が高く、過半数を占めている。

【図表10-71 年齢詳細別 難病患者の就労に対する社会の理解度】(%)

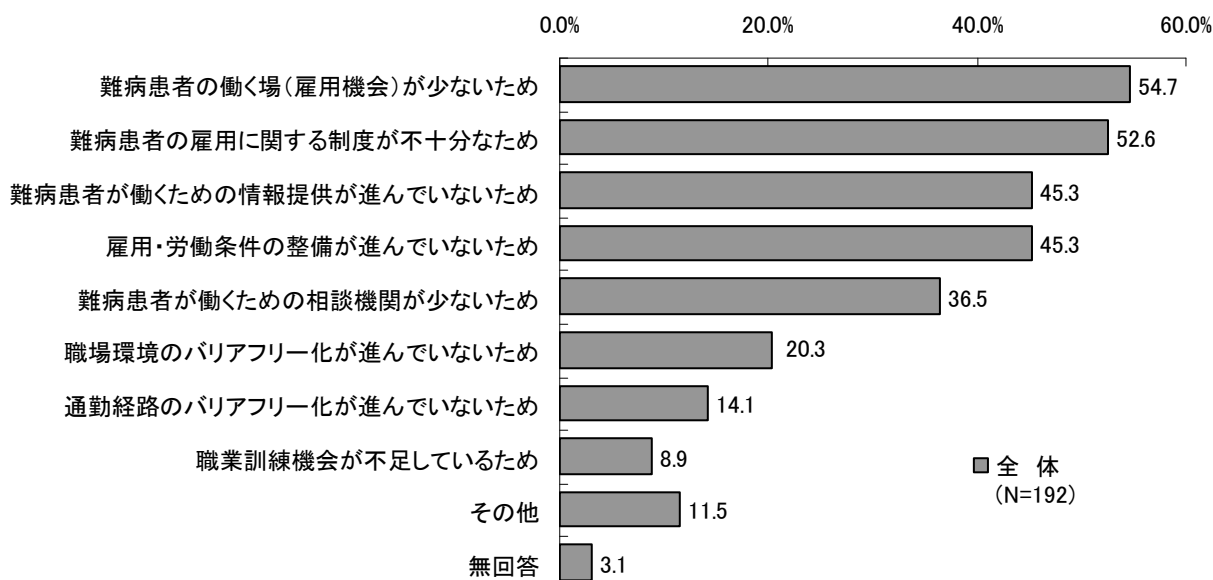
		調査数(人)	難病患者の就労に対する社会の理解度					無回答
			うと ても ある と思	思 あ る 程 度 あ る と	わあ な い り あ る と 思	あ る と 思 わ ない	わ か ら ない	
全 体		504	1.2	15.3	20.6	17.5	36.7	8.7
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	50.0	50.0	-	-	-
	18～29歳	23	-	4.3	30.4	43.5	21.7	-
	30歳代	45	-	22.2	44.4	13.3	15.6	4.4
	40歳代	65	3.1	15.4	27.7	23.1	27.7	3.1
	50歳代	72	1.4	20.8	15.3	19.4	38.9	4.2
	60～64歳	63	-	17.5	15.9	22.2	38.1	6.3
	65～74歳	113	1.8	15.9	16.8	13.3	42.5	9.7
	75歳以上	104	1.0	7.7	10.6	10.6	50.0	20.2
無回答		17	-	17.6	41.2	17.6	17.6	5.9

(8) 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由

[問31で「3」「4」を選ばれた方におたずねします]

問31-1 難病患者が働くことについて社会の理解があると思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-72 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】



難病患者が働くことに対する社会の理解が「あまりあると思わない」「あると思わない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「難病患者の働く場(雇用機会)が少ないため」(54.7%)が半数を超えている。

年齢別にみると、18～29歳では「難病患者が働くための情報提供が進んでいないため」(88.2%)や「難病患者が働くための相談機関が少ないため」(64.7%)等の割合が高い。また、40～50歳代では「難病患者の雇用に関する制度が不十分なため」の割合が高く、過半数を占めている。

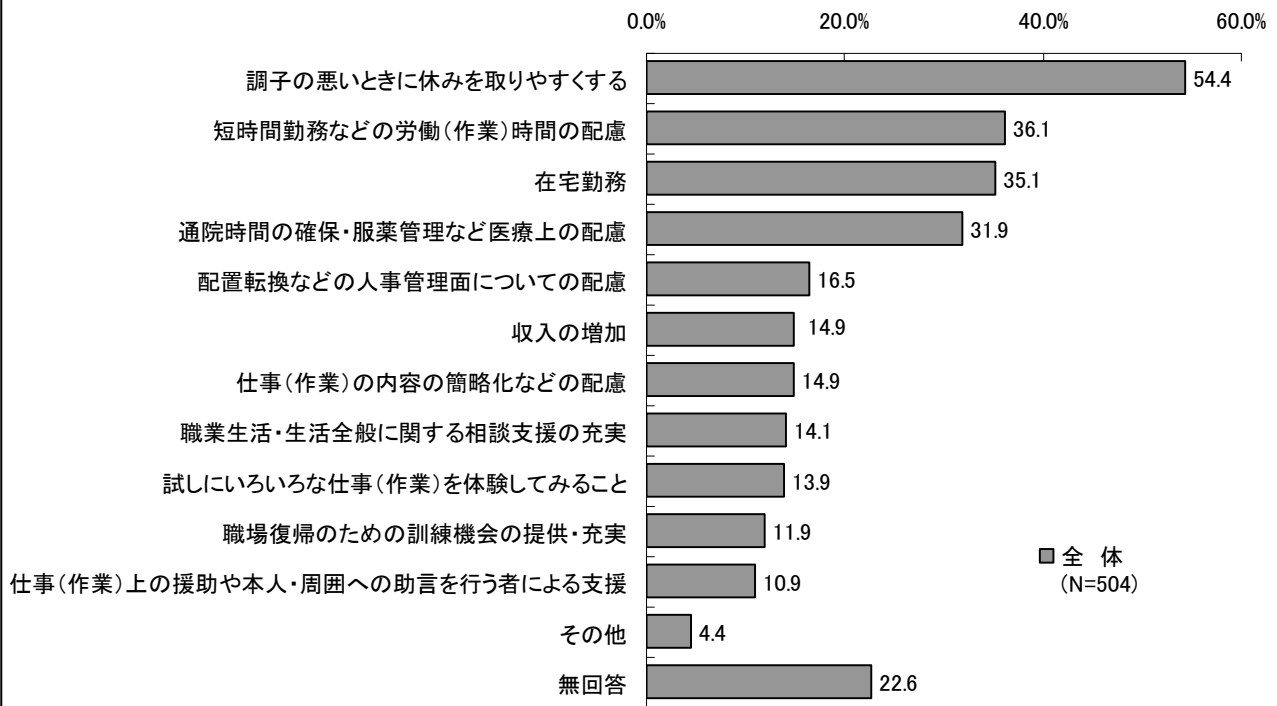
【図表10-73 年齢詳細別 難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由】(%)

	調査数(人)	難病患者の就労に対して社会の理解があると思わない理由									
		用難 機病 会患 者の 少働 なく い場 たへ め雇	る難 制病 度患 者が 不の 十雇 分用 なに た関 めす	情報 提供 が 進働 んく でた いめ なの	が雇 進用 ん・ で労 い働 ない 件た のめ 整備	相難 談病 機患 関者 が 少働 なく いた ため のめ	たり職 め場 化環 境が 進の んバ でリ いア なフ い	たり職 め場 化環 境が 進の んバ でリ いア なフ い	て職 業訓 練機 会が 不足 し	そ の 他	無 回 答
全 体	192	54.7	52.6	45.3	45.3	36.5	20.3	14.1	8.9	11.5	3.1
年齢詳細											
17歳以下	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
18～29歳	17	58.8	52.9	88.2	41.2	64.7	11.8	11.8	5.9	17.6	-
30歳代	26	46.2	50.0	42.3	34.6	34.6	15.4	3.8	7.7	26.9	-
40歳代	33	48.5	51.5	45.5	57.6	24.2	12.1	6.1	6.1	12.1	6.1
50歳代	25	56.0	68.0	32.0	60.0	40.0	36.0	28.0	16.0	12.0	-
60～64歳	24	62.5	62.5	50.0	45.8	41.7	20.8	8.3	8.3	4.2	4.2
65～74歳	34	52.9	44.1	32.4	35.3	23.5	17.6	11.8	5.9	5.9	8.8
75歳以上	22	63.6	27.3	50.0	45.5	40.9	27.3	27.3	9.1	9.1	-
無回答	10	60.0	80.0	40.0	40.0	50.0	20.0	20.0	20.0	-	-

(9) 難病患者の就労支援として必要なこと

問32 どのような働き方や制度があれば難病患者が働きやすいと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-74 難病患者の就労支援として必要なこと】



「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(54.4%)が半数を超えて最も多く、次いで「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」(36.1%)、「在宅勤務」(35.1%)、「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」(31.9%)等が3割台で続いている。

年齢別にみると、30～50歳代では他に比べて「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」や「調子の悪いときに休みを取りやすくする」、「配置転換などの人事管理面についての配慮」等の項目の割合が高くなっている。また、「収入の増加」の割合は概ね若い年代ほど高い。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では「調子の悪いときに休みを取りやすくする」(62.3%)や「通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮」(41.1%)等の割合が高くなっている。

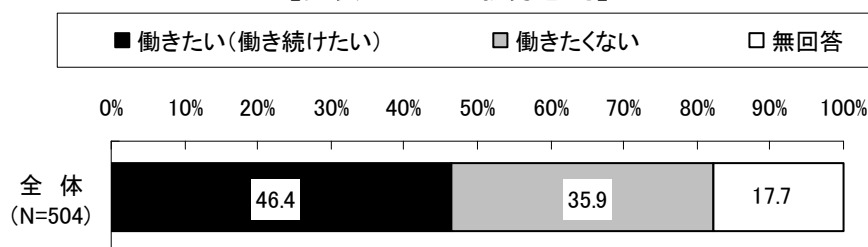
【図表10-75 年齢詳細別、重症患者認定別 難病患者の就労支援として必要なこと】(%)

		調査数（人）	難病患者の就労支援として必要なこと													
			調子の悪いときに休みを取りやす	間の配慮	短時間勤務などの労働（作業）時	在宅勤務	療上の配慮	通院時間の確保・服薬管理など医	配置転換などの人事管理面について	収入の増加	仕事（作業）の内容の簡略化などの配慮	職業生活・生活全般に関する相談	体験しているいろいろな仕事（作業）を	職場復帰のための訓練機会の提供・充実	仕事（作業）上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援	その他
全 体		504	54.4	36.1	35.1	31.9	16.5	14.9	14.9	14.1	13.9	11.9	10.9	4.4	22.6	
年齢詳細	17歳以下	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	
	18～29歳	23	69.6	34.8	39.1	43.5	17.4	30.4	13.0	13.0	30.4	21.7	17.4	13.0	4.3	
	30歳代	45	75.6	44.4	44.4	35.6	26.7	24.4	13.3	17.8	13.3	8.9	8.9	4.4	4.4	
	40歳代	65	63.1	49.2	44.6	46.2	26.2	20.0	18.5	15.4	12.3	18.5	10.8	10.8	4.6	
	50歳代	72	63.9	51.4	45.8	33.3	22.2	20.8	20.8	19.4	18.1	18.1	13.9	1.4	9.7	
	60～64歳	63	55.6	34.9	39.7	31.7	15.9	14.3	15.9	6.3	12.7	12.7	6.3	1.6	19.0	
	65～74歳	113	46.0	31.0	28.3	24.8	8.0	7.1	10.6	16.8	11.5	8.0	12.4	3.5	28.3	
	75歳以上	104	37.5	19.2	20.2	26.0	8.7	7.7	12.5	8.7	10.6	5.8	8.7	3.8	50.0	
無回答		17	58.8	41.2	41.2	29.4	29.4	23.5	23.5	17.6	23.5	17.6	17.6	—	29.4	
全 体		504	54.4	36.1	35.1	31.9	16.5	14.9	14.9	14.1	13.9	11.9	10.9	4.4	22.6	
重症患者認定	認定されている	183	48.1	32.8	30.1	26.2	10.4	10.4	14.8	16.9	13.1	10.4	11.5	4.4	31.7	
	認定されていない	236	62.3	39.8	40.3	41.1	21.2	19.1	14.8	12.7	15.3	15.3	9.7	4.7	13.6	
	重症患者認定のない疾患である	52	46.2	28.8	32.7	17.3	13.5	11.5	9.6	9.6	9.6	5.8	11.5	3.8	25.0	
	無回答	33	45.5	39.4	30.3	21.2	21.2	15.2	24.2	15.2	15.2	6.1	15.2	3.0	33.3	

(10) 就労意向、希望する就労形態

問33 あなたは、今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）

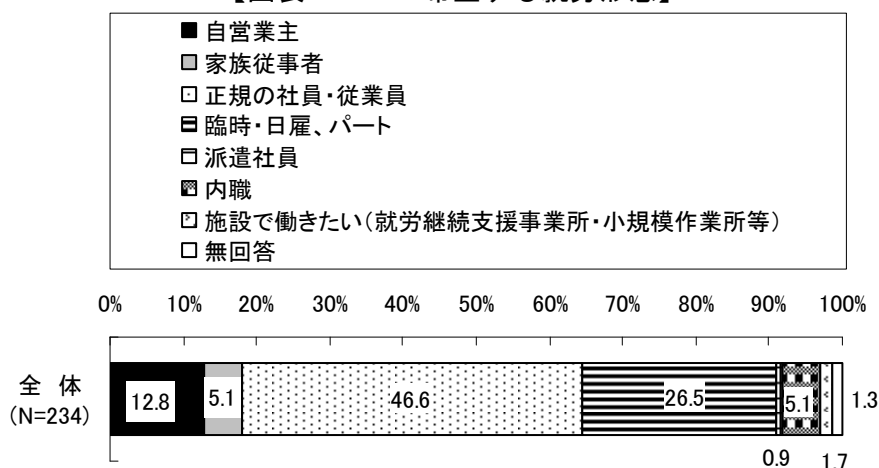
【図表10-76 就労意向】



[問33で「1」を選ばれた方におたずねします]

問33-1 どのような就労形態で働きたいですか。（○は1つだけ）

【図表10-77 希望する就労形態】



今後、働きたい(働き続けたい)と考えている人が半数弱(46.4%)を占めており、うち半数弱(46.6%)は正規の社員・従業員としての就労を希望している。このほか、就労希望者の3割弱(26.5%)は「臨時・日雇、パート」での就労を希望している。

年齢別にみると、50歳代以下では就労意向が特に高く、今後働きたい(働き続けたい)と考えている人が過半数を占めており、特に18～29歳ではその割合が9割強(91.3%)と高い。また、40歳代までの就労希望者のうちの過半数が「正規の社員・従業員」を希望している。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では「働きたい(働き続けたい)」(61.9%)の割合が6割強と高くなっている。

【図表10-78 年齢詳細別、重症患者認定別 就労意向、希望する就労形態】(%)

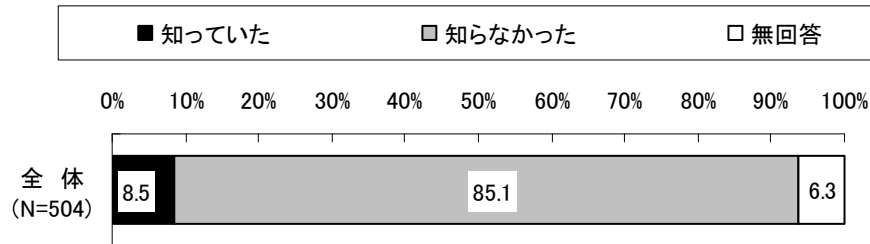
		調査数（人）	就労意向			調査数（人）	希望する就労形態							
			働きたい（働き続けたい）	働きたくない	無回答		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	施設で働きたい（就労継続支援事業所・小規模作業所等）	無回答
全 体		504	46.4	35.9	17.7	234	12.8	5.1	46.6	26.5	0.9	5.1	1.7	1.3
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	－	50.0	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	18～29歳	23	91.3	4.3	4.3	21	14.3	－	81.0	4.8	－	－	－	－
	30歳代	45	86.7	6.7	6.7	39	5.1	－	56.4	33.3	－	2.6	－	2.6
	40歳代	65	84.6	10.8	4.6	55	9.1	5.5	58.2	23.6	1.8	1.8	－	－
	50歳代	72	73.6	18.1	8.3	53	7.5	5.7	47.2	34.0	－	3.8	1.9	－
	60～64歳	63	42.9	36.5	20.6	27	14.8	7.4	25.9	33.3	3.7	11.1	3.7	－
	65～74歳	113	21.2	61.1	17.7	24	29.2	12.5	8.3	25.0	－	12.5	4.2	8.3
	75歳以上	104	6.7	54.8	38.5	7	71.4	14.3	－	14.3	－	－	－	－
無回答		17	41.2	47.1	11.8	7	－	－	42.9	14.3	－	28.6	14.3	－
全 体		504	46.4	35.9	17.7	234	12.8	5.1	46.6	26.5	0.9	5.1	1.7	1.3
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	29.0	43.7	27.3	53	22.6	3.8	35.8	24.5	1.9	5.7	3.8	1.9
	認定されていない	236	61.9	28.4	9.7	146	10.3	5.5	52.7	26.0	0.7	3.4	－	1.4
	重症患者認定のない疾患である	52	42.3	40.4	17.3	22	13.6	9.1	36.4	31.8	－	9.1	－	－
	無回答	33	39.4	39.4	21.2	13	－	－	38.5	30.8	－	15.4	15.4	－

6. 福祉サービスの利用について

(1) 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度

問34 平成25年4月1日に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行されました。これにより、障がい者の範囲に難病患者等が追加され、障がい福祉サービスの対象となりましたが、このことを知っていましたか。

【図表10-79 難病患者が障がい福祉サービスの対象者となったことの認知度】

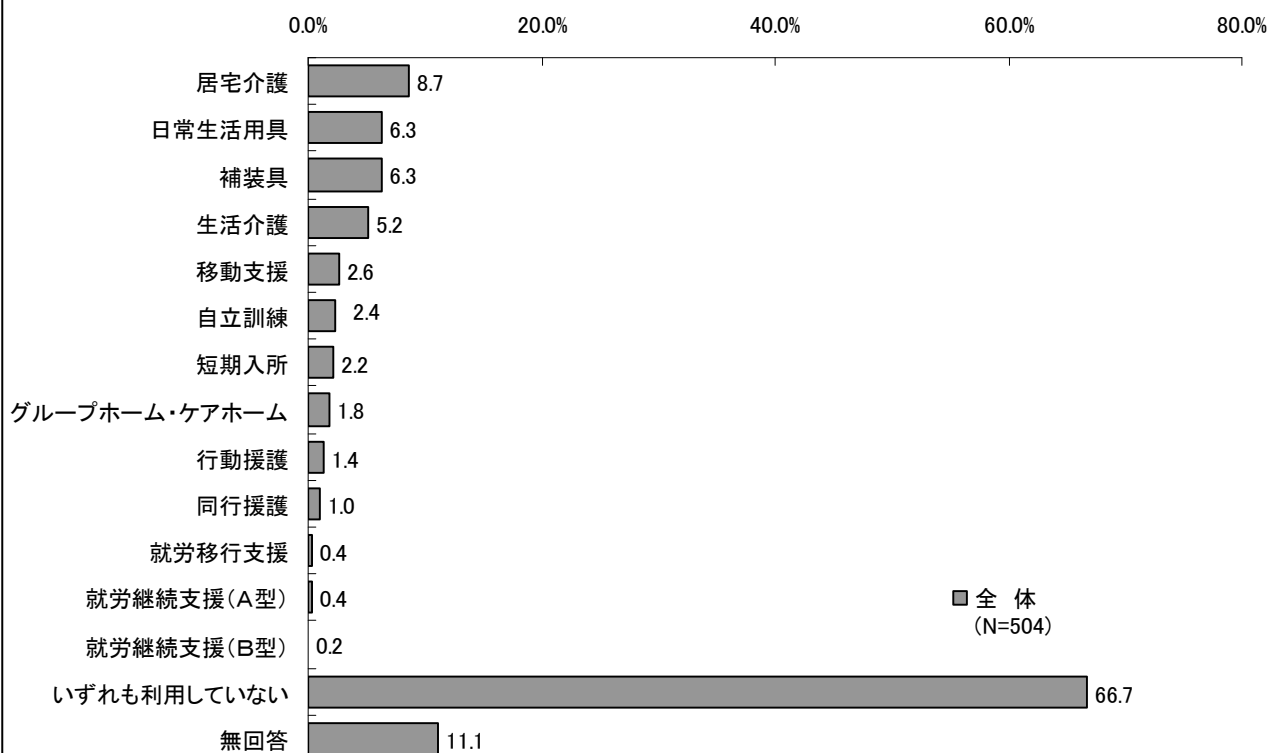


知らなかった人（85.1%）が8割を超えている。

(2) 現在利用している福祉サービス

問35-1 ①～⑬の福祉サービス・事業の中で、現在、利用しているものを選んでください。（○はあてはまるものすべて）

【図表10-80 現在利用している福祉サービス】



「いずれも利用していない」（66.7%）が6割を超えている。利用しているものとしては「居宅介護」（8.7%）、「日常生活用具」と「補装具」（それぞれ6.3%）、「生活介護」（5.2%）が比較的多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では「居宅介護」(20.2%)や「生活介護」(12.5%)等の割合が高い。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「居宅介護」(17.5%)や「生活介護」(10.4%)等の割合が高い。

【図表10-81 年齢(2区分、詳細)別、重症患者認定別 現在利用している福祉サービス】(%)

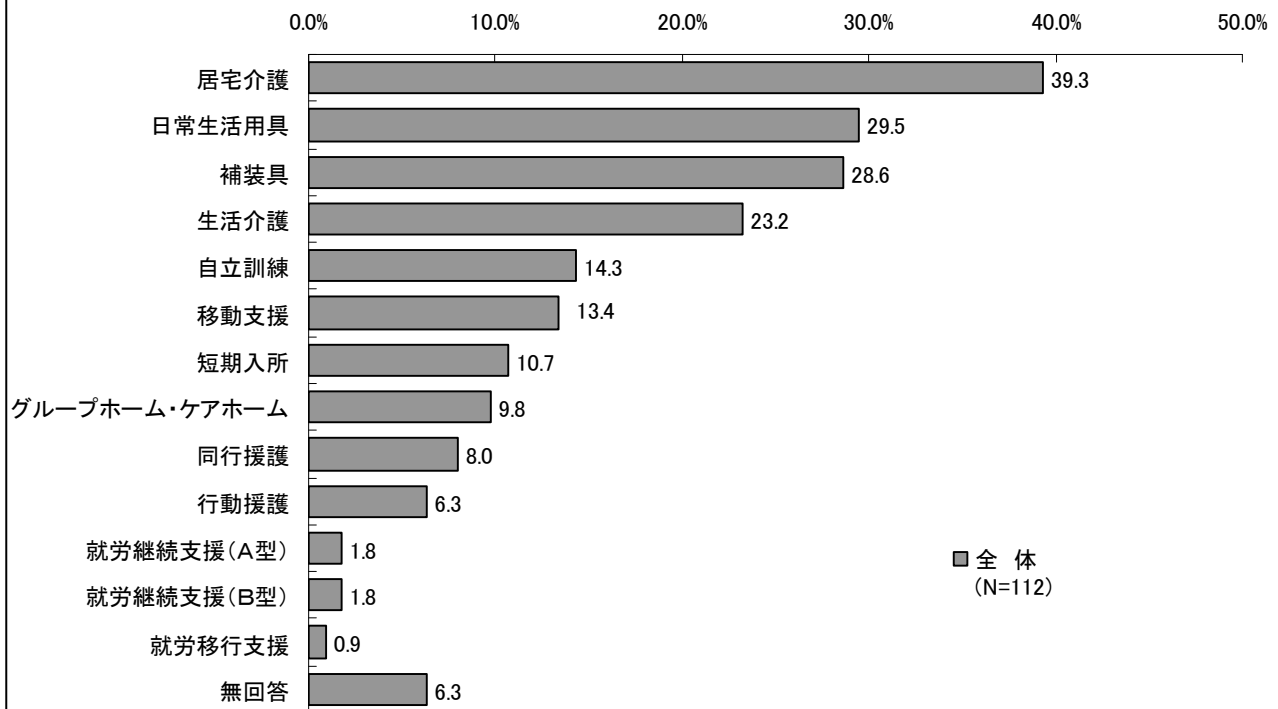
		調査数（人）	現在利用している福祉サービス															無回答
			居宅介護	日常生活用具	補装具	生活介護	移動支援	自立訓練	短期入所	グループホーム・ホーム・	行動援護	同行援護	就労移行支援	就労継続支援（Ａ型）	就労継続支援（Ｂ型）	いずれも利用していない		
全体		504	8.7	6.3	6.3	5.2	2.6	2.4	2.2	1.8	1.4	1.0	0.4	0.4	0.2	66.7	11.1	
区分	年齢	64歳以下	270	3.7	4.4	5.6	1.1	1.9	1.1	0.7	－	0.4	0.7	－	0.7	0.4	83.3	3.0
	2	65歳以上	217	14.3	8.8	7.4	10.6	3.2	4.1	3.7	3.2	2.8	1.4	0.5	－	－	47.0	21.2
		無回答	17	17.6	5.9	5.9	－	5.9	－	5.9	11.8	－	－	5.9	－	－	52.9	11.8
全体		504	8.7	6.3	6.3	5.2	2.6	2.4	2.2	1.8	1.4	1.0	0.4	0.4	0.2	66.7	11.1	
年齢詳細	17歳以下	2	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	50.0	－	
	18～29歳	23	4.3	－	－	－	4.3	4.3	－	－	－	－	－	－	4.3	－	87.0	4.3
	30歳代	45	2.2	4.4	2.2	2.2	4.4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	88.9	2.2
	40歳代	65	1.5	4.6	6.2	1.5	1.5	－	1.5	－	1.5	1.5	－	－	1.5	－	86.2	3.1
	50歳代	72	6.9	6.9	5.6	1.4	1.4	1.4	－	－	－	1.4	－	1.4	－	－	77.8	4.2
	60～64歳	63	3.2	3.2	7.9	－	－	1.6	1.6	－	－	－	－	－	－	－	82.5	1.6
	65～74歳	113	8.8	8.0	7.1	8.8	2.7	3.5	1.8	1.8	0.9	1.8	－	－	－	－	60.2	16.8
	75歳以上	104	20.2	9.6	7.7	12.5	3.8	4.8	5.8	4.8	4.8	1.0	1.0	－	－	－	32.7	26.0
		無回答	17	17.6	5.9	5.9	－	5.9	－	5.9	11.8	－	－	5.9	－	－	52.9	11.8
全体		504	8.7	6.3	6.3	5.2	2.6	2.4	2.2	1.8	1.4	1.0	0.4	0.4	0.2	66.7	11.1	
重症患者認定	認定されている	183	17.5	10.9	9.3	10.4	4.9	2.2	3.8	2.2	2.7	2.2	－	－	0.5	47.0	17.5	
	認定されていない	236	1.7	4.2	5.5	2.1	0.8	3.0	0.4	1.3	0.8	－	0.4	0.4	－	81.4	5.1	
	重症患者認定のない疾患である	52	7.7	1.9	－	3.8	1.9	－	3.8	－	－	1.9	－	1.9	－	73.1	15.4	
	無回答	33	12.1	3.0	6.1	－	3.0	3.0	3.0	6.1	－	－	3.0	－	－	60.6	12.1	

(3) 役に立ったと思う福祉サービス

[問35-1で「1」～「13」を選ばれた方におたずねします]

問35-2 ①～⑬の福祉サービス・事業の中で、役に立ったと思うものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-82 役に立ったと思う福祉サービス】

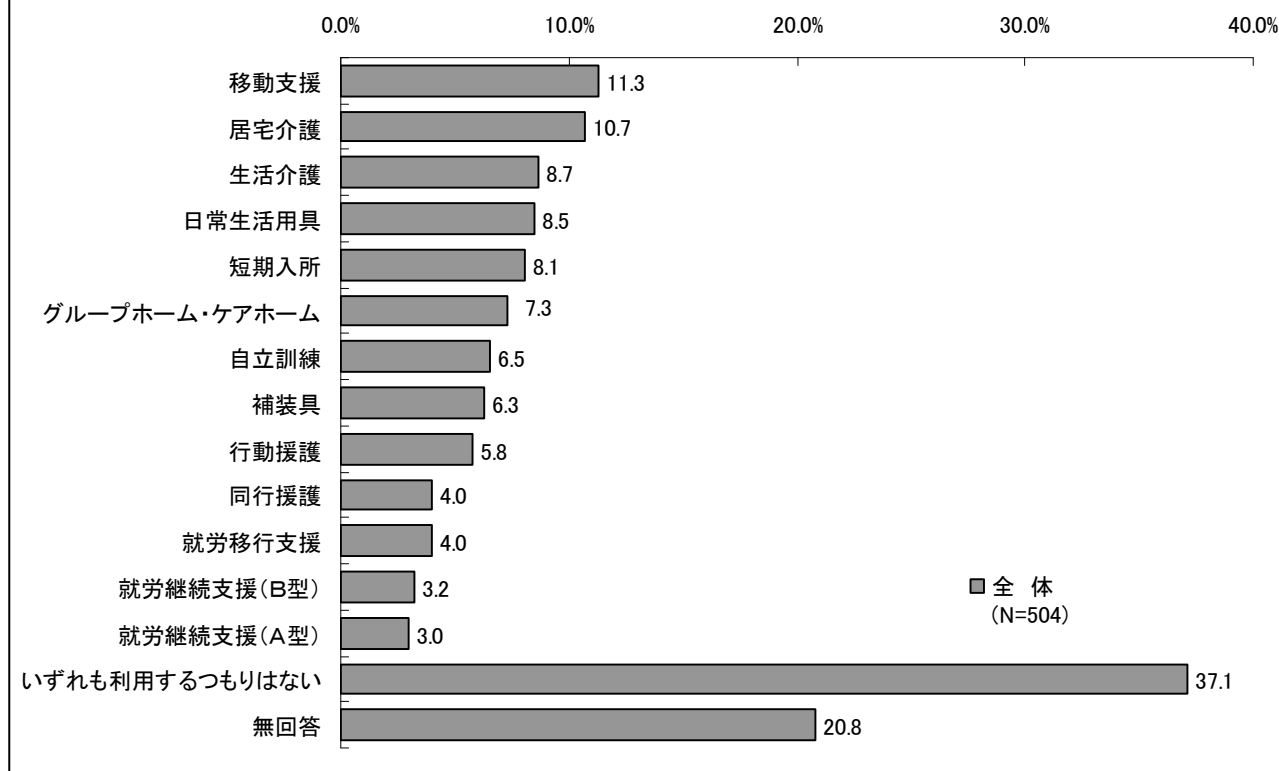


「居宅介護」(39.3%) が4割を占めて最も多く、次いで「日常生活用具」(29.5%)、「補装具」(28.6%)、「生活介護」(23.2%) となっている。

(4) 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス

問35-3 ①～⑬の福祉サービス・事業の中で、今は利用していないが今後利用したいと思うものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-83 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス】



「いずれも利用するつもりはない」(37.1%)が4割弱となっている。利用したいものとしては、「移動支援」(11.3%)、「居宅介護」(10.7%)がそれぞれ1割台である。

年齢別にみると、18～29歳と30歳代では他に比べて「就労移行支援」等の割合が高く、65～74歳では「居宅介護」(18.6%)や「生活介護」(14.2%)、「自立訓練」(12.4%)等の割合が高い。また、50歳代以下では「いずれも利用するつもりはない」人が過半数となっている。

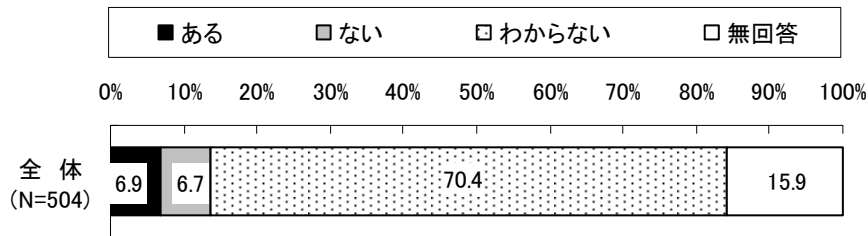
【図表10-84 年齢詳細別 今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス】(%)

		調査数（人）	今は利用していないが、今後利用したい福祉サービス														
			移動支援	居宅介護	生活介護	日常生活用具	短期入所	グループ・ケアホーム	自立訓練	補装具	行動援護	同行援護	就労移行支援	就労継続支援（B型）	就労継続支援（A型）	いずれも利用しない	無回答
全 体		504	11.3	10.7	8.7	8.5	8.1	7.3	6.5	6.3	5.8	4.0	4.0	3.2	3.0	37.1	20.8
年齢詳細	17歳以下	2	－	－	50.0	50.0	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	50.0	－
	18～29歳	23	4.3	－	－	－	－	－	4.3	4.3	－	－	17.4	13.0	8.7	65.2	8.7
	30歳代	45	－	4.4	4.4	－	2.2	－	2.2	－	2.2	－	13.3	6.7	6.7	60.0	13.3
	40歳代	65	10.8	4.6	4.6	9.2	3.1	4.6	6.2	10.8	1.5	3.1	7.7	3.1	4.6	56.9	12.3
	50歳代	72	8.3	6.9	4.2	6.9	－	2.8	2.8	4.2	－	－	2.8	6.9	5.6	51.4	12.5
	60～64歳	63	9.5	14.3	12.7	15.9	12.7	7.9	3.2	6.3	7.9	6.3	3.2	1.6	－	34.9	20.6
	65～74歳	113	15.9	18.6	14.2	8.8	11.5	9.7	12.4	8.0	11.5	6.2	－	－	0.9	27.4	22.1
	75歳以上	104	15.4	13.5	8.7	8.7	13.5	12.5	6.7	5.8	6.7	4.8	－	－	－	12.5	37.5
	無回答	17	17.6	－	11.8	11.8	17.6	17.6	5.9	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8	23.5	17.6

(5) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問36 ①～⑬の福祉サービス・事業の中で、利用対象・範囲の拡大等を図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表10-85 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



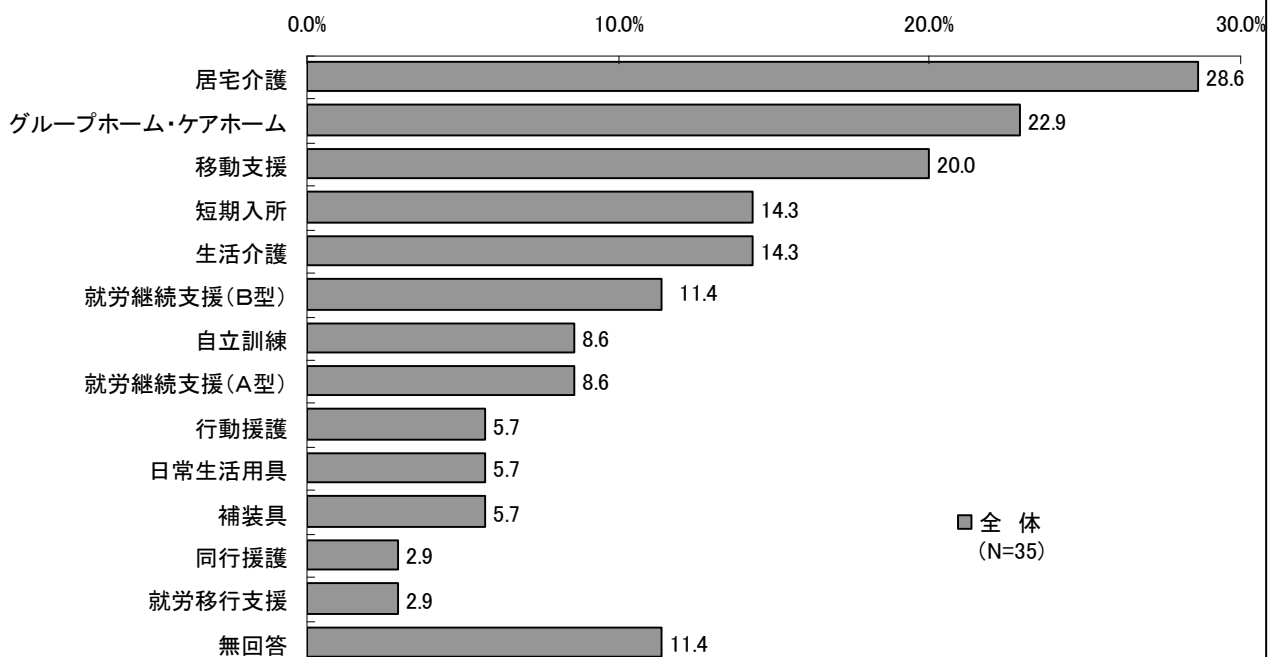
回答者全体では「ある」が6.9%、「ない」が6.7%となっている。また「わからない」(70.4%)が約7割と大半を占めている。

(6) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問36で「1」を選ばれた方におたずねします]

問36-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は①～⑬の数字を記入してください)

【図表10-86 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



「居宅介護」(28.6%)、「グループホーム・ケアホーム」(22.9%)、「移動支援」(20.0%)が比較的多い。

【図表10-86 年齢詳細別、重症患者認定別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】(%)

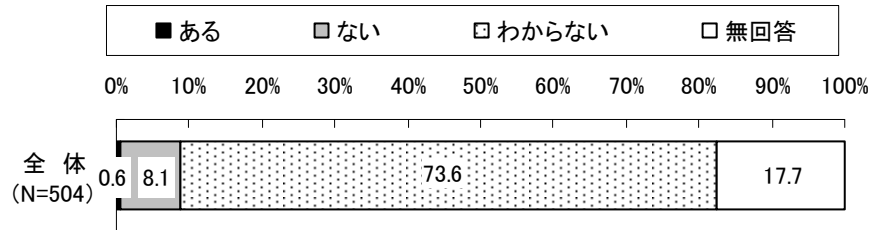
	(人調査数)	対象・範囲の拡大をしてほしいサービス						
		居宅介護	ムケホグ アホーム ホー・ブ	移動 支援	短期 入所	生活 介護	型支就 援労 (B続)	自立 訓練
全 体	35	28.6	22.9	20.0	14.3	14.3	11.4	8.6
20歳代以下	1	100.0	-	-	-	-	-	-
30歳代	5	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-
40歳代	4	25.0	-	75.0	25.0	-	-	25.0
50歳代	4	25.0	-	25.0	-	-	50.0	-
60～64歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-
65～74歳	8	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
75歳以上	8	12.5	50.0	12.5	12.5	37.5	-	-
無回答	3	-	33.3	-	66.7	33.3	-	33.3
全 体	35	28.6	22.9	20.0	14.3	14.3	11.4	8.6
重 認定されている	16	37.5	12.5	25.0	6.3	6.3	12.5	6.3
認 認定されていない	9	22.2	22.2	22.2	-	22.2	11.1	-
定 重症患者認定のない疾患である	6	33.3	50.0	-	33.3	16.7	16.7	16.7
患 者 無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	25.0	-	25.0

	(人調査数)	対象・範囲の拡大をしてほしいサービス						
		型支就 援労 (A続)	行 動 援 護	用日 具常 生 活	補 装 具	同 行 援 護	支就 援労 移行	無 回 答
全 体	35	8.6	5.7	5.7	5.7	2.9	2.9	11.4
20歳代以下	1	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	5	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-
40歳代	4	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	4	25.0	-	-	-	-	-	-
60～64歳	2	-	-	-	-	-	-	50.0
65～74歳	8	-	25.0	12.5	12.5	-	-	25.0
75歳以上	8	-	-	12.5	-	-	-	12.5
無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-
全 体	35	8.6	5.7	5.7	5.7	2.9	2.9	11.4
重 認定されている	16	6.3	6.3	6.3	-	-	-	18.8
認 認定されていない	9	11.1	-	-	11.1	-	11.1	-
定 重症患者認定のない疾患である	6	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7
患 者 無回答	4	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-

(7) 優先度が低い福祉サービスの有無

問37 ①～⑬の福祉サービス・事業の中で、他の福祉サービス・事業よりも、それを実施する優先度が低いと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表10-87 優先度が低い福祉サービスの有無】



「ない」が8.1%、「ある」が0.6%となっている。また「わからない」(73.6%)が7割強となっている。

(8) 優先度が低い福祉サービス

[問37で「1」を選ばれた方におたずねします]

問37-1 それはどの福祉サービス・事業ですか。3つまで選んでください。(事業番号は①～⑬の数字を記入してください)

【図表10-88 優先度が低い福祉サービス】(上段=人、下段=%)

調査数	優先度が低い福祉サービス													無回答
	同行援護	生活介護	自立訓練	グループホーム	居宅介護	短期入所	行動援護	就労移行支援	(就労継続支援A型)	(就労継続支援B型)	移動支援	日常生活用具	補装具	
3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

「同行援護」、「生活介護」、「自立訓練」、「グループホーム・ケアホーム」がそれぞれ1人ずつとなっている。

【参考 各サービスの利用状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】

(上段＝人、下段＝%)

		問36-1 対象・範囲の拡大をしてほしいサービス												
		居宅介護	グループホーム・ケア	移動支援	短期入所	生活介護	就労継続支援（B型）	自立訓練	就労継続支援（A型）	行動援護	日常生活用具	補装具	同行援護	就労移行支援
全 体		10 100.0	8 100.0	7 100.0	5 100.0	5 100.0	4 100.0	3 100.0	3 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 100.0	1 100.0
現在の利用状況	利用している	2 20.0	-	1 14.3	2 40.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-
	利用していない	8 80.0	7 87.5	6 85.7	3 60.0	4 80.0	4 100.0	3 100.0	3 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 100.0	1 100.0
	無回答	-	1 12.5	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考 各サービスの利用状況別 優先度が低い福祉サービス】

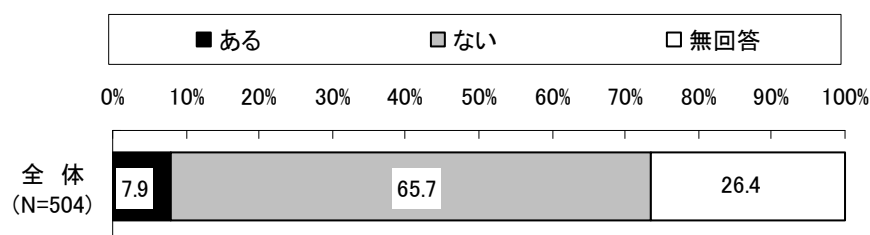
(上段＝人、下段＝%)

		問37-1 優先度が低いサービス												
		同行援護	生活介護	自立訓練	グループホーム・ケア	居宅介護	短期入所	行動援護	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	移動支援	日常生活用具	補装具
全 体		1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現在の利用状況	利用している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用していない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(9) 新たに実施してほしい福祉サービスの有無

問38 現在行われていない福祉サービス・事業で、新たに実施してほしいと思うものがありますか。（○は1つだけ）

【図表10-89 新たに実施してほしい福祉サービスの有無】

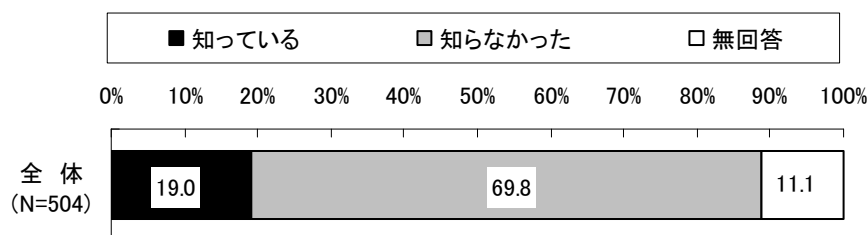


回答者全体では「ある」が7.9%、「ない」が65.7%となっている。

(10) 医療型短期入所の認知度

問39(1) あなたは、「医療型短期入所」のことを知っていますか。(○は1つだけ)

【図表10-90 医療型短期入所の認知度】



「知らなかった」(69.8%)が7割、「知っている」(19.0%)が2割となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「知らなかった」人が過半数であり、30～40歳代ではその割合が8割を超えて特に高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では「知らなかった」(77.1%)の割合が8割弱と高い。

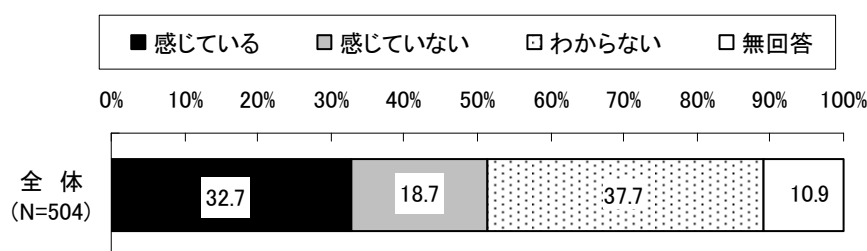
【図表10-91 年齢詳細別、重症患者認定別 医療型短期入所の認知度】(%)

		(人調査数)	医療型短期入所の認知度		
			知っている	知らなかった	無回答
全 体		504	19.0	69.8	11.1
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	50.0	-
	18～29歳	23	26.1	73.9	-
	30歳代	45	15.6	84.4	-
	40歳代	65	12.3	83.1	4.6
	50歳代	72	20.8	73.6	5.6
	60～64歳	63	20.6	65.1	14.3
	65～74歳	113	16.8	69.9	13.3
	75歳以上	104	22.1	55.8	22.1
	無回答	17	23.5	64.7	11.8
全 体		504	19.0	69.8	11.1
重 症 患 者 認 定 別	認定されている	183	19.1	61.2	19.7
	認定されていない	236	17.4	77.1	5.5
	重症患者認定のない疾患である	52	26.9	65.4	7.7
	無回答	33	18.2	72.7	9.1

(11) 医療型短期入所の必要性

問39(2) あなたは、「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。(○は1つだけ)

【図表10-92 医療型短期入所の必要性】



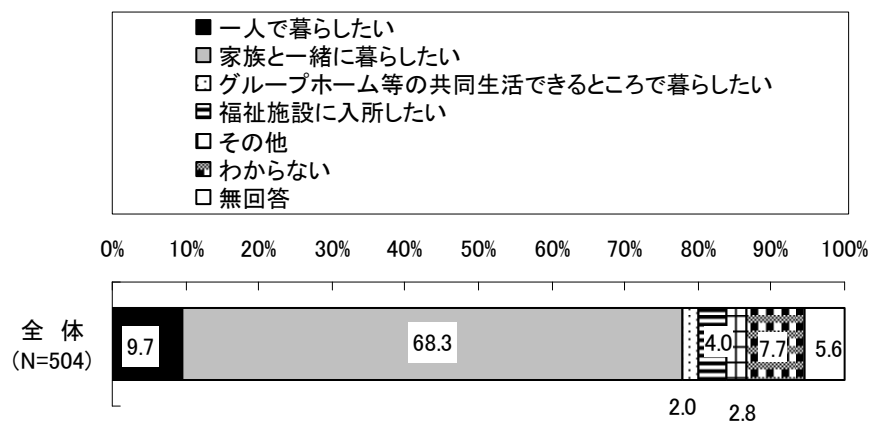
必要性を感じている人が3割強(32.7%)、感じていない人が2割弱(18.7%)となっている。また、「わからない」(37.7%)は4割弱である。

7. 今後の暮らし方について

(1) 希望する今後の暮らし方

問40 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表10-93 希望する今後の暮らし方】



回答者全体では「家族と一緒に暮らしたい」(68.3%)が7割弱を占めて最も多く、このほか「一人暮らし」(9.7%)、「わからない」(7.7%)、「福祉施設に入所したい」(4.0%)の順となっているが、いずれも1割未満となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「家族と一緒に暮らしたい」の割合が最も高く、40～50歳代では8割を超えて特に高くなっている。また、18～29歳では「一人暮らし」(34.8%)の割合も高い。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では認定者に比べて「家族と一緒に暮らしたい」(75.0%)の割合が高い。

世帯状況別にみると、一人暮らしの人では今後も「一人暮らし」人(48.4%)が半数弱となっている。また、夫婦のみや二世帯・三世帯同居の人では「家族と一緒に暮らしたい」の割合が7割を超えて高くなっている。

【図表10-94 年齢詳細別、重症患者認定別、世帯状況別 今後の暮らし方】(%)

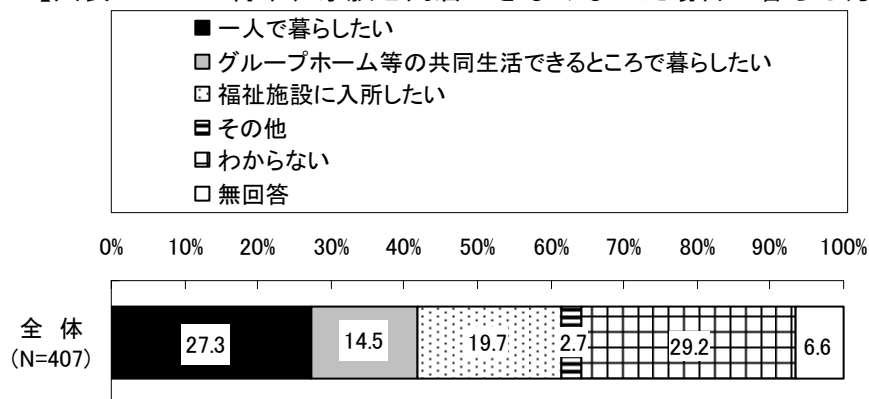
		調査数(人)	今後の暮らし方						
			一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホーム等で暮らしたい	福祉施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全 体		504	9.7	68.3	2.0	4.0	2.8	7.7	5.6
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	100.0	-	-	-	-	-
	18～29歳	23	34.8	56.5	-	-	-	4.3	4.3
	30歳代	45	15.6	77.8	-	-	2.2	4.4	-
	40歳代	65	7.7	83.1	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5
	50歳代	72	11.1	80.6	-	1.4	1.4	5.6	-
	60～64歳	63	11.1	66.7	-	3.2	-	12.7	6.3
	65～74歳	113	6.2	61.1	5.3	5.3	4.4	9.7	8.0
	75歳以上	104	4.8	58.7	1.9	8.7	5.8	9.6	10.6
無回答		17	11.8	58.8	5.9	5.9	-	5.9	11.8
全 体		504	9.7	68.3	2.0	4.0	2.8	7.7	5.6
重 症 認 定 患 者	認定されている	183	11.5	59.0	1.6	5.5	3.8	9.3	9.3
	認定されていない	236	9.3	75.0	2.1	3.0	1.7	6.4	2.5
	重症患者認定のない疾患である	52	9.6	67.3	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8
	無回答	33	3.0	72.7	-	3.0	3.0	9.1	9.1
全 体		504	9.7	68.3	2.0	4.0	2.8	7.7	5.6
世 帯 状 況	一人暮らし	64	48.4	10.9	1.6	9.4	7.8	17.2	4.7
	夫婦のみ	155	1.3	76.8	3.2	2.6	1.9	5.8	8.4
	二世帯同居(親と本人)	57	17.5	73.7	-	-	-	5.3	3.5
	二世帯同居(子と本人)	185	1.6	86.5	0.5	2.7	1.1	4.9	2.7
	三世帯同居	10	-	90.0	-	-	-	10.0	-
	その他	18	11.1	38.9	-	11.1	11.1	22.2	5.6
	グループホーム・ケアホーム	9	-	-	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1
	無回答	6	16.7	-	-	16.7	-	16.7	50.0

(2) 将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方

[現在、ご家族と同居されている方におたずねします]

問40-1 将来、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表10-95 将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方】



「わからない」(29.2%)が3割を占めて最も多く、このほか「一人で暮らしたい」(27.3%)、「福祉施設に入所したい」(19.7%)、「グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい」(14.5%)の順となっている。

年齢別にみると、30歳未満では「一人で暮らしたい」の割合が7割を超えて高くなっている。また、64歳以上の高齢者では「福祉施設に入所したい」の割合がやや高い。

重症患者認定別にみると、認定者では「福祉施設に入所したい」(24.1%)、認定されていない人では「一人で暮らしたい」(32.0%)の割合がそれぞれやや高くなっている。

【図表10-96 年齢詳細別、重症患者認定別

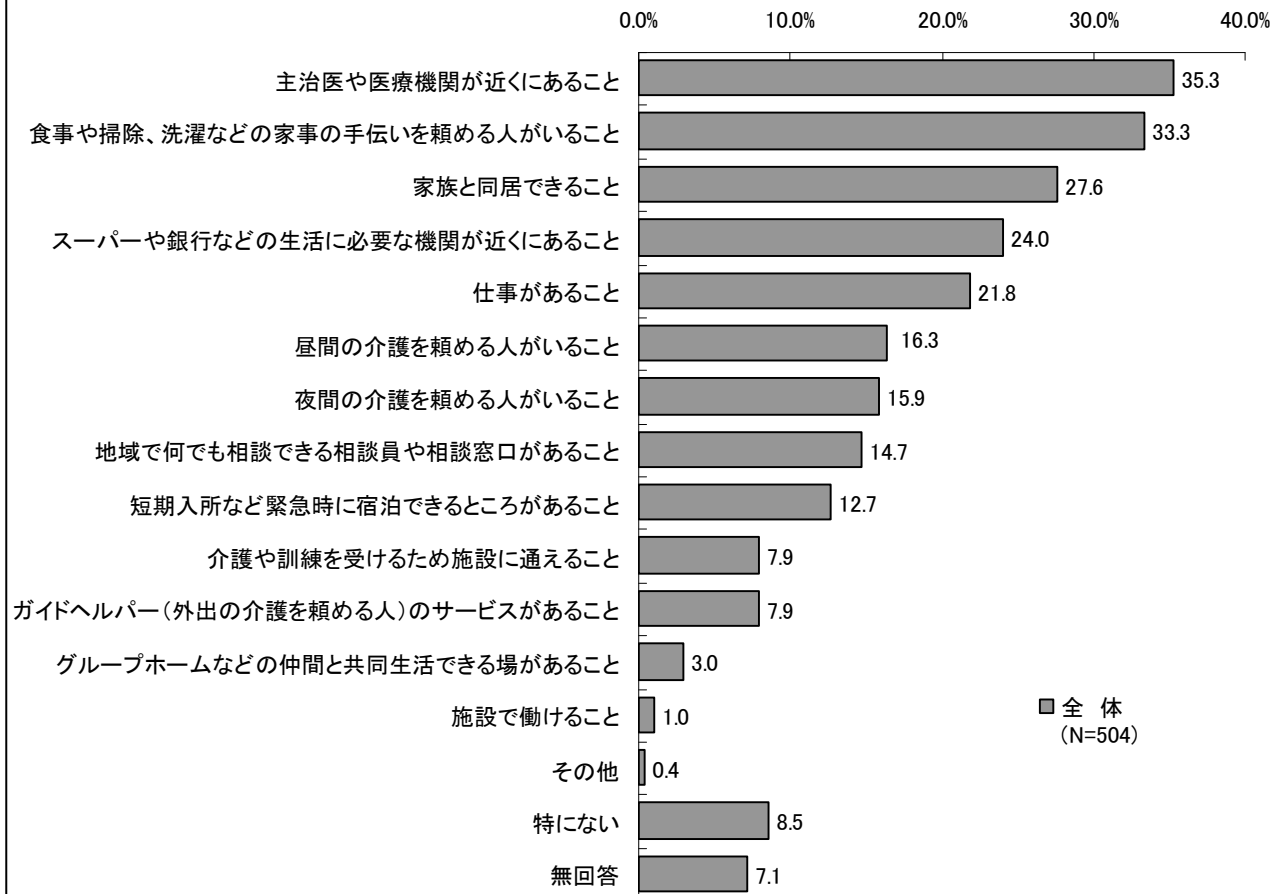
将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方】(%)

		調査数 (人)	将来、家族と同居できなくなった場合の暮らし方					
			一人で暮らしたい	グループホーム等の共同生活できるところで暮らしたい	福祉施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全 体		407	27.3	14.5	19.7	2.7	29.2	6.6
年 齢 詳 細	17歳以下	2	100.0	-	-	-	-	-
	18～29歳	17	70.6	5.9	-	11.8	11.8	-
	30歳代	37	45.9	16.2	5.4	-	32.4	-
	40歳代	59	22.0	18.6	8.5	6.8	40.7	3.4
	50歳代	62	40.3	9.7	21.0	1.6	27.4	-
	60～64歳	53	26.4	18.9	18.9	1.9	24.5	9.4
	65～74歳	87	17.2	14.9	31.0	2.3	26.4	8.0
	75歳以上	78	11.5	12.8	26.9	1.3	32.1	15.4
無回答		12	33.3	16.7	16.7	-	25.0	8.3
全 体		407	27.3	14.5	19.7	2.7	29.2	6.6
重 症 患 者 認 定	認定されている	141	18.4	11.3	24.1	2.8	31.9	11.3
	認定されていない	200	32.0	17.0	17.5	2.5	28.0	3.0
	重症患者認定のない疾患である	41	26.8	14.6	22.0	2.4	26.8	7.3
	無回答	25	40.0	12.0	8.0	4.0	28.0	8.0

(3) 自宅や地域で生活するために必要なこと

問4-1 自宅や地域で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(○は3つまで)

【図表10-97 自宅や地域で生活するために必要なこと】



回答者全体では「主治医や医療機関が近くにあること」(35.3%)が最も多く、次いで「食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(33.3%)、「家族と同居できること」(27.6%)、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」(24.0%)となっている。

年齢別にみると、50歳代以下では他に比べて「仕事があること」の割合が高く、4割を超えている。また、75歳以上では「食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること」(41.3%)や「昼間の介護を頼める人がいること」(30.8%)、「夜間の介護を頼める人がいること」(27.9%)の割合が高い。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「昼間の介護を頼める人がいること」や「夜間の介護を頼める人がいること」(それぞれ23.0%)の割合が高くなっている。一方、認定されていない人では「主治医や医療機関が近くにあること」(42.4%)や「仕事があること」(34.3%)、「スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること」(29.7%)等の割合が高い。

【図表10-98 年齢詳細別、重症患者認定別 自宅や地域で生活するために必要なこと】(%)

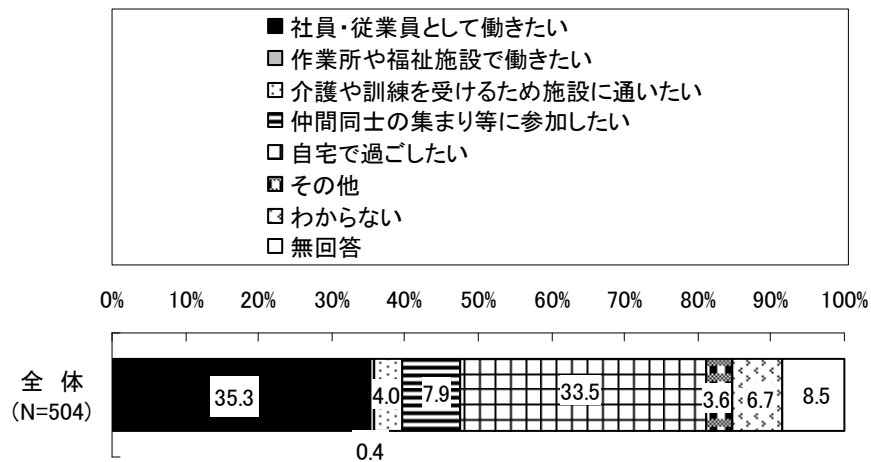
	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要なこと							
		主治医や医療機関が近くにあること	食事や掃除、洗濯などの家事が伝い、頼めること	家族と同居できること	生活に必要ない銀行などの生活に必要ない機関が近くにあること	仕事があること	昼間の介護を頼める人がいること	夜間の介護を頼める人がいること	地域で何でも相談できること
全 体	504	35.3	33.3	27.6	24.0	21.8	16.3	15.9	14.7
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	18～29歳	23	47.8	8.7	17.4	65.2	-	-	13.0
	30歳代	45	37.8	26.7	28.9	51.1	13.3	17.8	13.3
	40歳代	65	36.9	21.5	32.3	44.6	7.7	6.2	16.9
	50歳代	72	45.8	34.7	26.4	29.2	40.3	8.3	20.8
	60～64歳	63	36.5	36.5	36.5	31.7	4.8	14.3	15.9
	65～74歳	113	34.5	36.3	21.2	19.5	5.3	17.7	20.4
	75歳以上	104	23.1	41.3	27.9	10.6	2.9	30.8	27.9
	無回答	17	41.2	41.2	35.3	29.4	5.9	23.5	5.9
全 体	504	35.3	33.3	27.6	24.0	21.8	16.3	15.9	14.7
重 症 患 者 認 定 患 者	認定されている	183	28.4	37.2	26.2	15.8	8.2	23.0	13.7
	認定されていない	236	42.4	30.1	29.2	29.7	34.3	12.3	12.7
	重症患者認定のない疾患である	52	25.0	28.8	26.9	25.0	19.2	9.6	7.7
	無回答	33	39.4	42.4	24.2	27.3	12.1	18.2	12.1

	調査数(人)	自宅や地域で生活するために必要なこと							
		宿泊施設など緊急時に利用できること	介護施設や訓練を受けること	サービスのヘルパー(外出)が利用できること	ガイドヘルパー(外出)があること	仲間と共同生活できること	グループホームなどの施設で働けること	その他	特にない
全 体	504	12.7	7.9	7.9	3.0	1.0	0.4	8.5	7.1
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	18～29歳	23	-	4.3	4.3	-	4.3	-	13.0
	30歳代	45	4.4	4.4	2.2	4.4	2.2	-	8.9
	40歳代	65	6.2	3.1	6.2	1.5	1.5	-	9.2
	50歳代	72	5.6	6.9	11.1	2.8	-	-	8.3
	60～64歳	63	14.3	3.2	1.6	1.6	1.6	1.6	9.5
	65～74歳	113	22.1	9.7	9.7	4.4	-	-	11.5
	75歳以上	104	16.3	14.4	9.6	3.8	-	-	3.8
	無回答	17	17.6	11.8	17.6	-	5.9	5.9	-
全 体	504	12.7	7.9	7.9	3.0	1.0	0.4	8.5	7.1
重 症 患 者 認 定 患 者	認定されている	183	12.0	6.6	9.3	2.2	-	0.5	9.8
	認定されていない	236	11.0	8.9	4.7	3.4	1.7	-	7.2
	重症患者認定のない疾患である	52	21.2	7.7	13.5	3.8	-	-	11.5
	無回答	33	15.2	9.1	15.2	3.0	3.0	3.0	6.1

(4) 希望する日中の過ごし方

問42 あなたは、今後、日中、主に何をして過ごしたいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表10-99 希望する日中の過ごし方】



回答者全体では「社員・従業員として働きたい」(35.3%)と「自宅で過ごしたい」(33.5%)がそれぞれ3割を超えて多くなっている。

年齢別にみると、50歳代以下では「社員・従業員として働きたい」が過半数を占めている。また、60～74歳では「仲間同士の集まり等に参加したい」の割合が高く、1割を超えている。さらに65歳以上の高齢者では「自宅で過ごしたい」の割合が4割を超えて高い。

重症患者認定別にみると、認定されていない人では認定者に比べて「社員・従業員として働きたい」(49.6%)が半数を占めて高くなっている。

【図表10-100 年齢詳細別、重症患者認定別 希望する日中の過ごし方】(%)

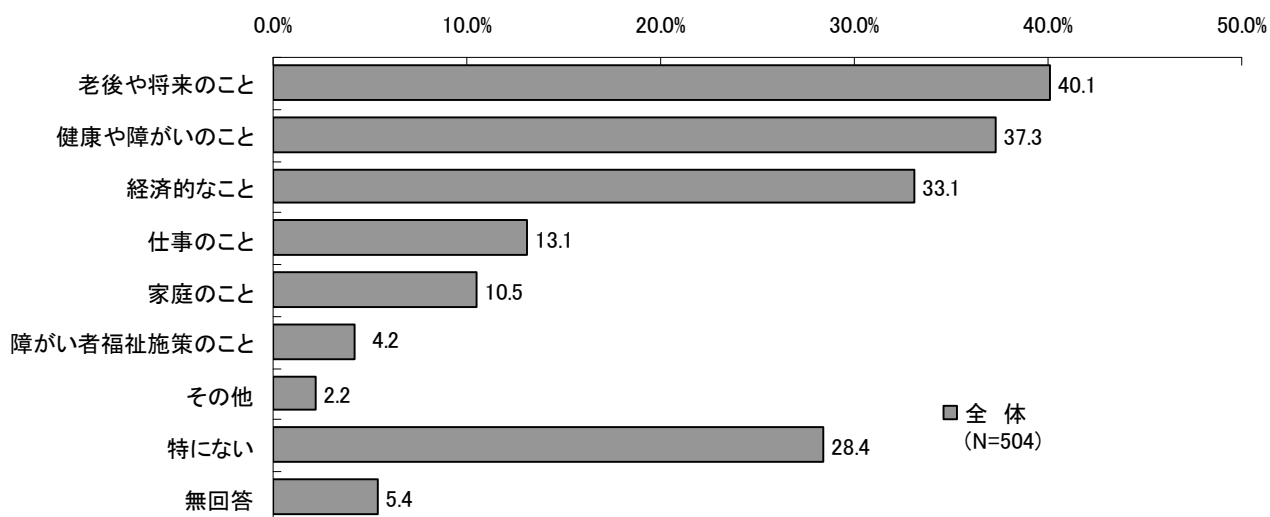
		調査数（人）	希望する日中の過ごし方							
			て社員・従業員として働きたい	で作業所や福祉施設で働きたい	たため施設に通いたい	介護や訓練を受けたい	等仲間同士の集まりに参加したい	自宅で過ごしたい	その他	わからない
全 体		504	35.3	0.4	4.0	7.9	33.5	3.6	6.7	8.5
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	－	－	50.0	－	－	－	－
	18～29歳	23	73.9	－	－	－	13.0	4.3	8.7	－
	30歳代	45	75.6	－	－	2.2	20.0	－	2.2	－
	40歳代	65	80.0	－	－	1.5	10.8	3.1	1.5	3.1
	50歳代	72	59.7	－	1.4	2.8	30.6	－	1.4	4.2
	60～64歳	63	23.8	1.6	－	15.9	38.1	3.2	3.2	14.3
	65～74歳	113	8.0	0.9	6.2	15.0	44.2	6.2	8.8	10.6
	75歳以上	104	2.9	－	9.6	5.8	47.1	4.8	15.4	14.4
無回答		17	23.5	－	11.8	11.8	29.4	5.9	5.9	11.8
全 体		504	35.3	0.4	4.0	7.9	33.5	3.6	6.7	8.5
重 症 患 者 認 定	認定されている	183	18.0	－	4.9	10.9	37.7	5.5	7.7	15.3
	認定されていない	236	49.6	－	3.4	5.5	29.7	2.5	5.5	3.8
	重症患者認定のない疾患である	52	34.6	3.8	1.9	5.8	38.5	1.9	7.7	5.8
	無回答	33	30.3	－	6.1	12.1	30.3	3.0	9.1	9.1

8. 情報収集や相談について

(1) 困っていることや心配なこと

問43 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。
(○は3つまで)

【図表10-101 困っていることや心配なこと】



「老後や将来のこと」(40.1%)が最も多く、次いで「健康や障がいのこと」(37.3%)、「経済的なこと」(33.1%)となっている。

年齢別にみると、18～29歳と30～40歳代では「仕事のこと」の割合が2割を超えて高くなっている。

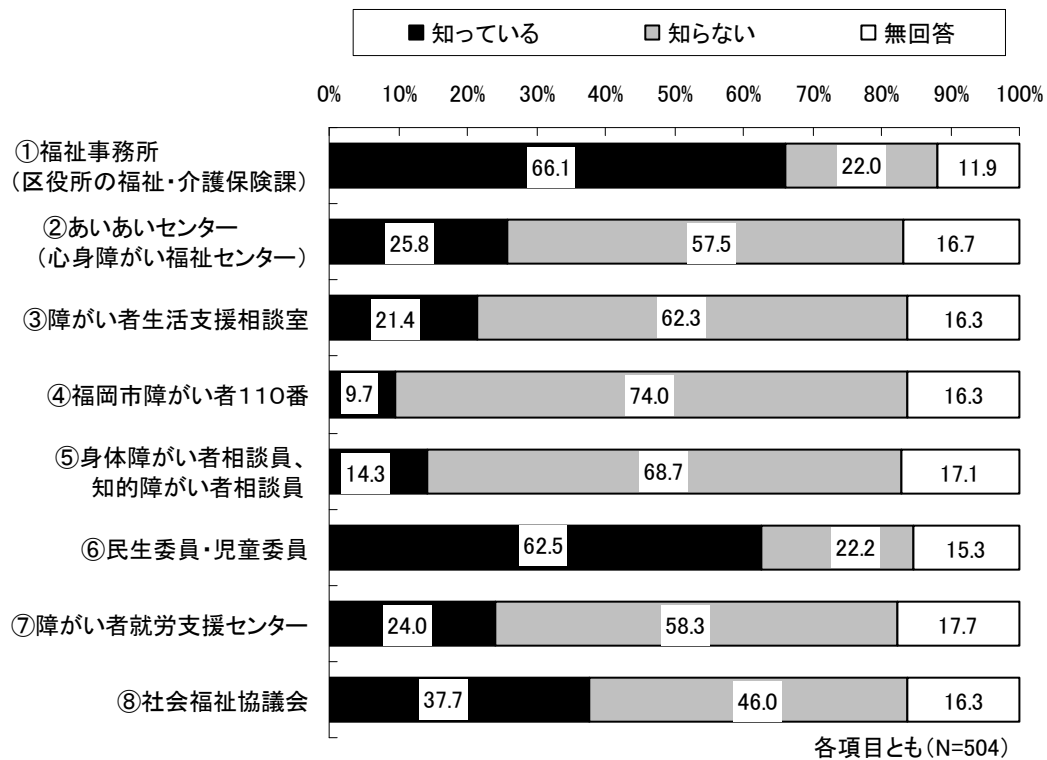
【図表10-102 年齢詳細別 困っていることや心配なこと】(%)

	調査数 (人)	困っていることや心配なこと								
		老後や将来のこと	健康や障がいのこと	経済的なこと	仕事のこと	家庭のこと	障がい者福祉施策のこと	その他	特にない	無回答
全 体	504	40.1	37.3	33.1	13.1	10.5	4.2	2.2	28.4	5.4
年齢詳細	17歳以下	2	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-
	18～29歳	23	43.5	43.5	21.7	56.5	-	4.3	4.3	21.7
	30歳代	45	26.7	31.1	35.6	33.3	8.9	2.2	-	33.3
	40歳代	65	29.2	32.3	35.4	24.6	7.7	-	4.6	35.4
	50歳代	72	47.2	31.9	41.7	19.4	13.9	-	2.8	26.4
	60～64歳	63	38.1	39.7	31.7	4.8	12.7	3.2	-	31.7
	65～74歳	113	49.6	43.4	34.5	0.9	13.3	8.0	3.5	23.0
	75歳以上	104	36.5	37.5	26.0	1.9	10.6	3.8	1.0	29.8
	無回答	17	47.1	29.4	35.3	11.8	-	23.5	-	23.5

(2) 相談機関の認知度

問 4 4 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所（機関）があります。あなたは、これらの相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。①～⑧の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-103 相談機関の認知度】

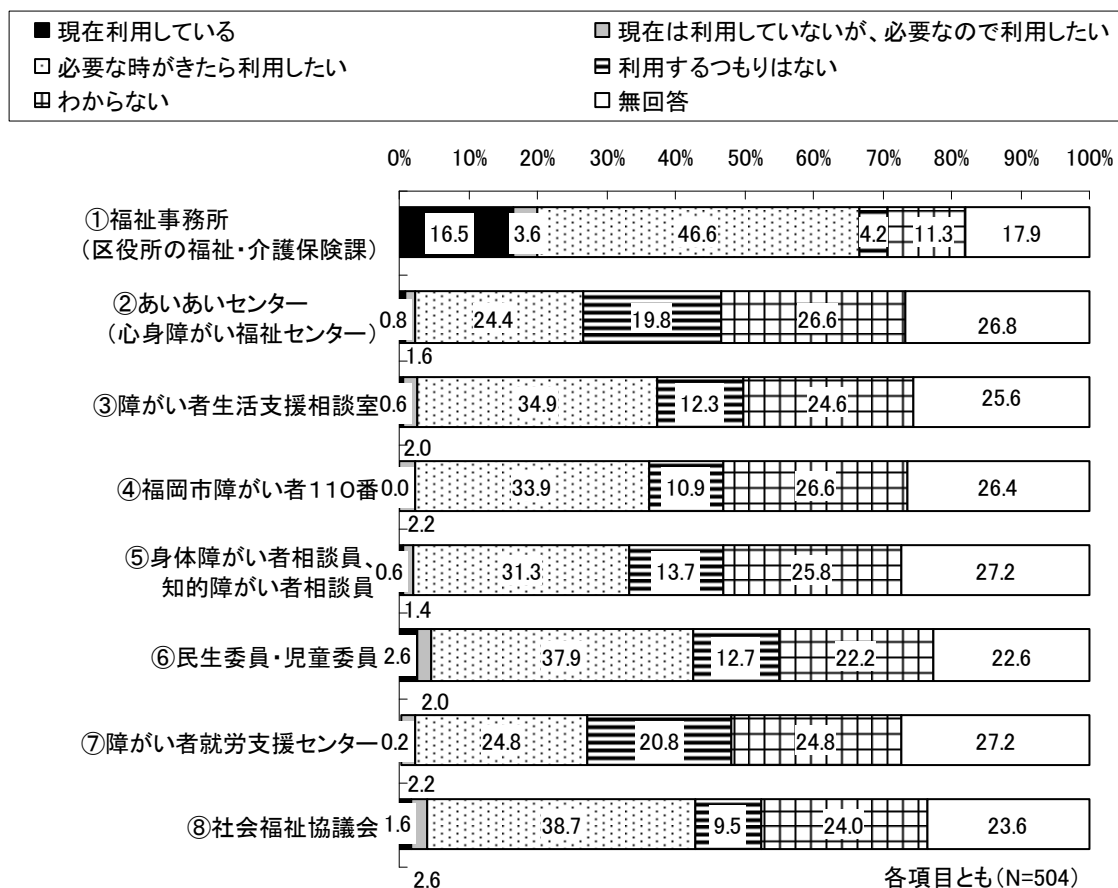


相談機関の認知度（「知っている」の割合）は、「①福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）」（66.1％）で6割を超えて最も高く、次いで「⑥民生委員・児童委員」（62.5％）、「⑧社会福祉協議会」（37.7％）となっている。

(3) 相談機関の利用状況・利用意向

問44 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場として、次のような場所（機関）があります。あなたは、これらの相談場所（機関）があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、今後利用したいと思いますか。①～⑧の項目ごとに、認知度と利用状況・利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表10-104 相談機関の利用状況・利用意向】



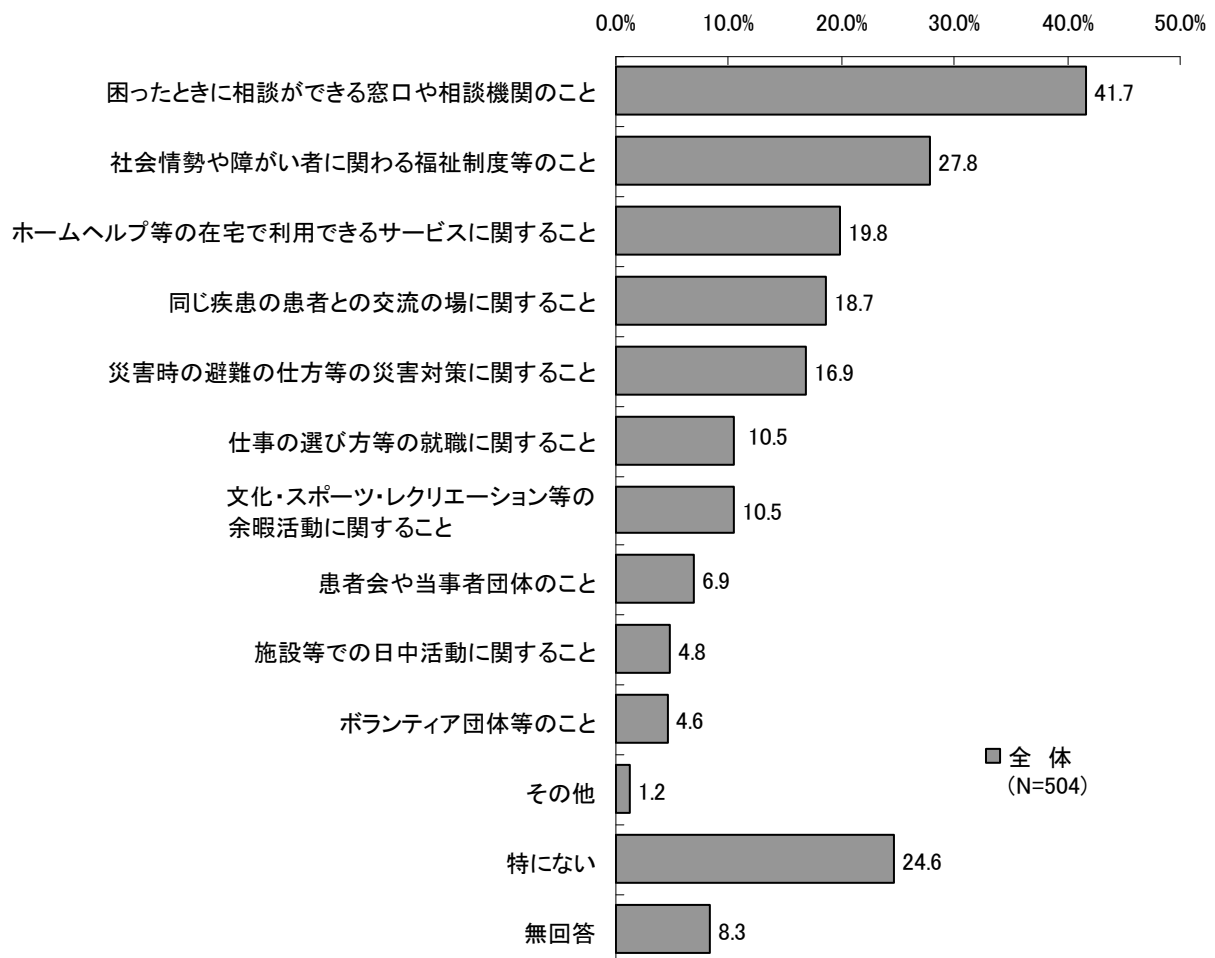
相談機関の利用状況・利用意向についてみると、利用状況は「①福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）」（16.5％）で1割を超えているほかは、いずれも5％未満である。

「現在利用している」と「現在利用していないが、必要なので利用したい」の合計を『利用意向』として整理すると、「①福祉事務所区役所の福祉・介護保険課」（20.1％）が最も高く、次いで「⑥民生委員・児童委員」（4.6％）、「⑧社会福祉協議会」（4.2％）となっている。

(4) 知りたい情報

問 4 5 あなたは、生活に関することで、どのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表10-105 知りたい情報】



「困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと」(41.7%)が最も多く、次いで「社会情勢や障がい者に関わる福祉制度等のこと」(27.8%)、「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」(19.8%)、「同じ疾患の患者との交流の場に関すること」(18.7%)となっている。

年齢別にみると、18～29歳と30歳代では「仕事の選び方等の就職に関すること」の割合が3～4割を占めて高くなっている。また、65歳以上の高齢者では「ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービスに関すること」等の割合が高い。

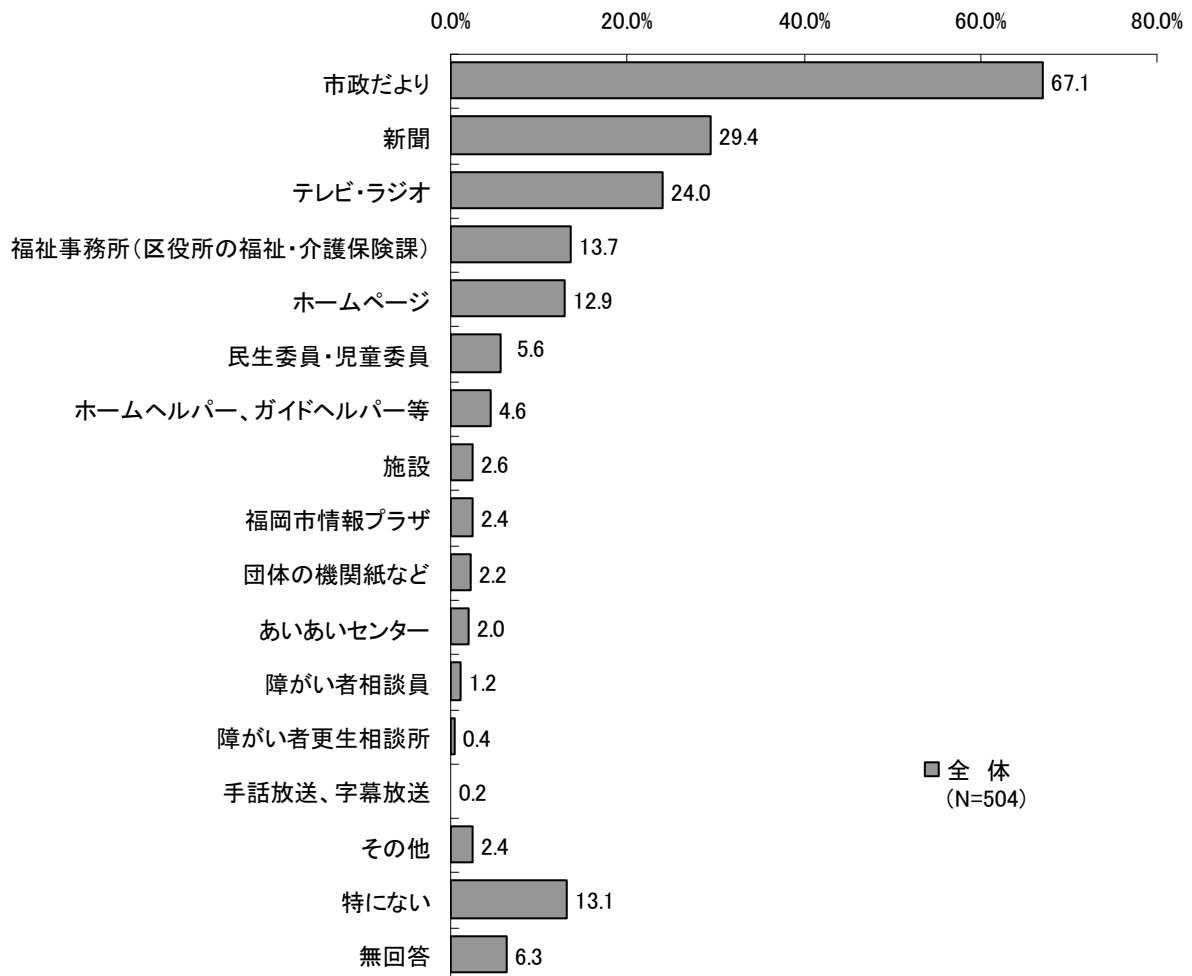
【図表10-106 年齢詳細別 知りたい情報】(%)

		調査数（人）	知りたい情報																	
			きこる窓口に相談機関のこと	困ったときに相談がでること	と関わる福祉制度等のこと	社会情勢や障がい者に関すること	ホームヘルプ等の在宅で利用できるサービス	流の場に関すること	同じ疾患の患者との交流	の災害対策に関すること	災害時の避難の仕方等	仕事に関すること	活動に関すること	文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇	患者会や当事者団体のこと	施設等での日中活動に関すること	ボランティア団体等のこと	その他	特にな	無回答
全 体		504	41.7	27.8	19.8	18.7	16.9	10.5	10.5	6.9	4.8	4.6	1.2	24.6	8.3					
年齢詳細	17歳以下	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
	18～29歳	23	39.1	21.7	8.7	21.7	8.7	43.5	—	4.3	4.3	—	—	—	—	—	—	34.8	—	
	30歳代	45	35.6	31.1	11.1	24.4	8.9	33.3	11.1	4.4	—	2.2	2.2	31.1	—	—	—	—	—	
	40歳代	65	41.5	33.8	6.2	21.5	21.5	15.4	12.3	10.8	3.1	4.6	1.5	21.5	4.6	—	—	—	—	
	50歳代	72	44.4	22.2	18.1	26.4	9.7	11.1	8.3	8.3	2.8	6.9	—	20.8	2.8	—	—	—	—	
	60～64歳	63	46.0	38.1	22.2	20.6	17.5	6.3	12.7	6.3	6.3	1.6	1.6	25.4	7.9	—	—	—	—	
	65～74歳	113	47.8	31.9	27.4	14.2	24.8	2.7	15.0	7.1	9.7	8.8	—	18.6	13.3	—	—	—	—	
	75歳以上	104	32.7	13.5	26.9	10.6	13.5	—	5.8	3.8	1.9	1.9	2.9	32.7	14.4	—	—	—	—	
無回答	17	47.1	52.9	17.6	29.4	29.4	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9	—	11.8	5.9	—	—	—	—		

(5) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問46 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-107 福岡市の福祉施策情報の入手先】



回答者全体では「市政だより」(67.1%)が7割弱を占めて最も多く、次いで「新聞」(29.4%)、「テレビ・ラジオ」(24.0%)、「福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(13.7%)、「ホームページ」(12.9%)となっており、「特にない」も13.1%いる。その他はいずれも1割未満となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「市政だより」の割合が最も高いが、50歳代以上では7割前後と特に高くなっている。また、18～29歳と30～40歳代では「ホームページ」の割合が高く3割前後を占めている。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「福祉事務所（区役所の福祉・介護保険課）」（20.8％）の割合が高い一方、認定されていない人では「ホームページ」（18.2％）の割合が高くなっている。

【図表10-108 年齢詳細別、重症患者認定別 福岡市の福祉施策情報の入手先】（％）

		調 査 数 （ 人 ）	福岡市の福祉施策情報の入手先								
			市 政 だ よ り	新 聞	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	所 の 福 祉 事 務 所 （ 区 役 所 ・ 介 護 保 険 課 ）	ホ ー ム ペ ー ジ	員 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	ガ イ ド ヘ ル パ ー 等 、	施 設	福 岡 市 情 報 プ ラ ザ
全 体		504	67.1	29.4	24.0	13.7	12.9	5.6	4.6	2.6	2.4
年 齢 詳 細	17歳以下	2	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—
	18～29歳	23	47.8	4.3	30.4	—	34.8	4.3	4.3	—	—
	30歳代	45	57.8	15.6	11.1	6.7	31.1	—	2.2	2.2	2.2
	40歳代	65	61.5	24.6	18.5	9.2	26.2	1.5	3.1	—	1.5
	50歳代	72	72.2	26.4	15.3	6.9	11.1	—	2.8	—	5.6
	60～64歳	63	71.4	42.9	27.0	14.3	9.5	4.8	3.2	1.6	3.2
	65～74歳	113	74.3	34.5	28.3	20.4	5.3	8.8	3.5	3.5	0.9
	75歳以上	104	69.2	32.7	29.8	19.2	2.9	8.7	10.6	5.8	2.9
無回答		17	47.1	29.4	29.4	17.6	17.6	23.5	—	5.9	—
全 体		504	67.1	29.4	24.0	13.7	12.9	5.6	4.6	2.6	2.4
認 定 患 者	重 認定されている	183	63.9	27.3	26.2	20.8	5.5	5.5	8.2	4.4	2.7
	重 認定されていない	236	70.3	30.5	22.5	9.3	18.2	5.1	2.5	1.3	3.0
	重 重症患者認定のない疾患である	52	69.2	34.6	21.2	9.6	15.4	—	1.9	—	—
	重 無回答	33	57.6	24.2	27.3	12.1	12.1	18.2	3.0	6.1	—

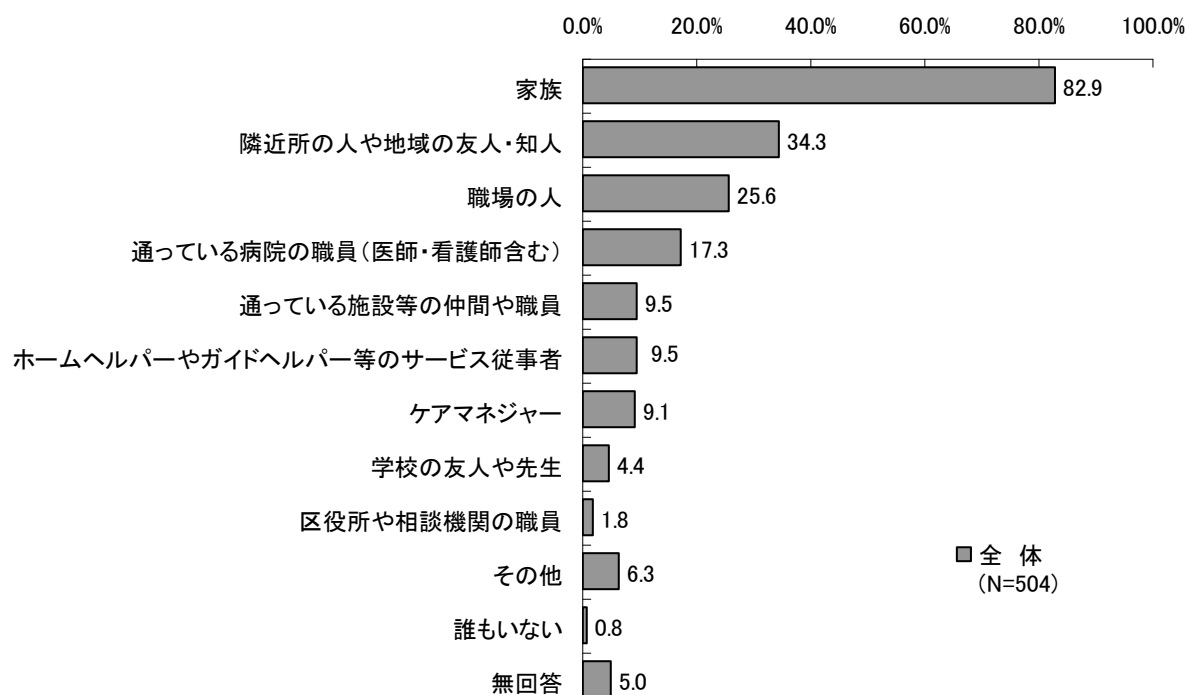
	調査数（人）	福岡市の福祉施策情報の入手先							
		団体の機関紙など	あいあいセンター	障がい者相談員	障がい者更生相談	送話放送、字幕放送	その他	特にない	無回答
全 体	504	2.2	2.0	1.2	0.4	0.2	2.4	13.1	6.3
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	-	-	-	-	50.0
	18～29歳	23	-	-	-	-	4.3	26.1	4.3
	30歳代	45	2.2	-	-	-	-	28.9	-
	40歳代	65	3.1	3.1	1.5	-	3.1	13.8	3.1
	50歳代	72	-	-	-	-	4.2	19.4	1.4
	60～64歳	63	-	-	1.6	-	-	11.1	7.9
	65～74歳	113	1.8	4.4	2.7	0.9	1.8	4.4	7.1
	75歳以上	104	3.8	1.0	1.0	-	3.8	8.7	12.5
	無回答	17	11.8	11.8	-	5.9	-	17.6	5.9
全 体	504	2.2	2.0	1.2	0.4	0.2	2.4	13.1	6.3
重 症 患 者 認 定 患 者	認定されている	183	3.8	3.8	2.7	0.5	-	2.2	9.8
	認定されていない	236	0.8	-	-	-	0.4	3.0	16.1
	重症患者認定のない疾患である	52	-	-	1.9	-	-	1.9	11.5
	無回答	33	6.1	9.1	-	3.0	-	-	12.1

9. 地域とのかかわり・福祉施策全般について

(1) 一緒に過ごしたり会話をする人

問47 あなたは、ふだんどのような人と一緒にすごしたり、会話をする人が多いですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表10-109 一緒に過ごしたり会話をする人】



回答者全体では「家族」(82.9%)が8割強を占めて最も多く、次いで「隣近所の人や地域の友人・知人」(34.3%)、「職場の人」(25.6%)、「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(17.3%)となっている。

年齢2区分別にみると、64歳以下は65歳以上に比べて「職場の人」(41.1%)の割合が高い一方、65歳以上では「通っている病院の職員(医師・看護師含む)」(23.5%)や「通っている施設等の仲間や職員」(18.0%)の割合が高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「ホームヘルパーやガイドヘルパー等のサービス従事者」(16.4%)や「ケアマネジャー」(15.3%)、「通っている施設等の仲間や職員」(14.8%)の割合が高い。一方、認定されていない人では、「家族」(90.3%)や「職場の人」(36.0%)の割合が高くなっている。

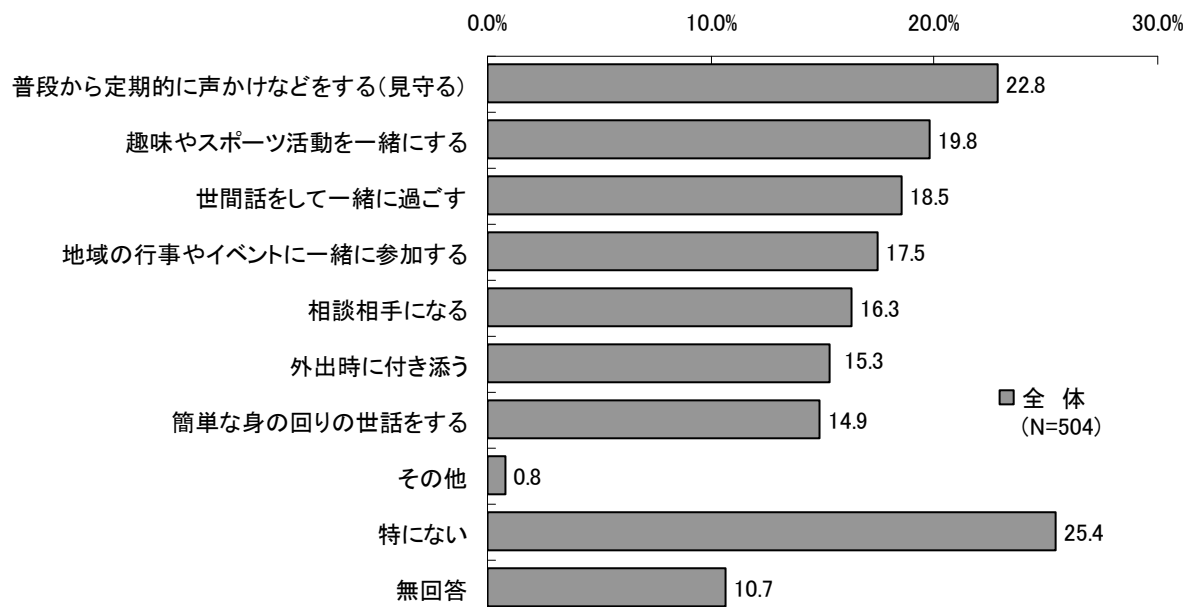
【図表10-110 年齢2区分別、重症患者認定別 一緒にすごしたり会話をする人】(%)

		調査数（人）	一緒に過ごしたり会話をする人												
			家族	隣近所の人・知人・地域	職場の人	通っている病院の職員（医師・看護師含む）	通っている施設等の仲間や職員	ホームヘルパーやガイドヘルプ従事者等	ケアマネジャー	学校の友人や先生	区役所や相談機関の職員	その他	誰もいない	無回答	
全 体		504	82.9	34.3	25.6	17.3	9.5	9.5	9.1	4.4	1.8	6.3	0.8	5.0	
区 分	年 齢	64歳以下	270	88.9	34.8	41.1	11.1	1.9	3.7	1.5	7.0	0.4	5.9	1.1	2.2
	2	65歳以上	217	77.0	34.6	6.0	23.5	18.0	15.7	18.4	1.4	2.8	6.9	0.5	7.8
		無回答	17	64.7	23.5	29.4	35.3	23.5	23.5	11.8	－	11.8	5.9	－	11.8
全 体		504	82.9	34.3	25.6	17.3	9.5	9.5	9.1	4.4	1.8	6.3	0.8	5.0	
認 定	重 要 患 者	認定されている	183	75.4	32.2	11.5	19.7	14.8	16.4	15.3	3.3	2.2	6.0	1.6	8.2
		認定されていない	236	90.3	36.4	36.0	14.4	5.5	4.2	5.1	1.3	6.4	0.4	1.7	
		重症患者認定のない疾患である	52	78.8	32.7	28.8	17.3	3.8	7.7	5.8	5.8	－	9.6	－	5.8
		無回答	33	78.8	33.3	24.2	24.2	18.2	12.1	9.1	3.0	6.1	3.0	－	9.1

(2) 地域から受けたい支援・交流の内容

問48 あなたは、地域の方が何かボランティア活動をしたいと思っている場合、どのような支援・交流があったらいいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-111 地域から受けたい支援・交流の内容】



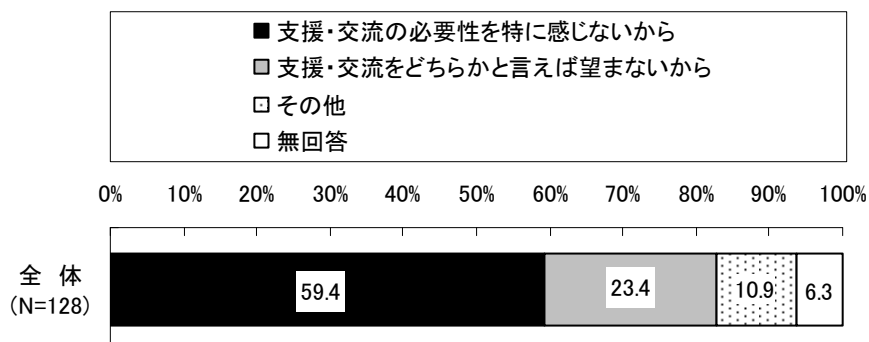
「普段から定期的に声かけなどをする(見守る)」(22.8%)が2割強を占めて最も多く、次いで「趣味やスポーツ活動と一緒にする」(19.8%)、「世間話をして一緒に過ごす」(18.5%)、「地域の行事やイベントと一緒に参加する」(17.5%)となっている。また、「特にない」(25.4%)が2割を超えている。

(3) 地域からの支援・交流を望まない理由

[問48で「9」を選ばれた方におたずねします]

問48-1 それはなぜですか。(〇は1つだけ)

【図表10-112 地域からの支援・交流を望まない理由】

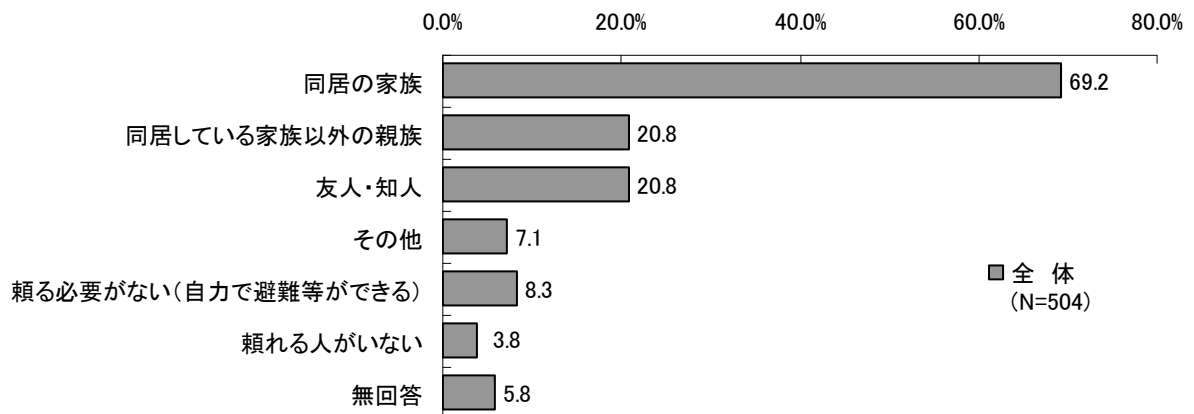


「支援・交流の必要性を特に感じないから」(59.4%)が6割、「支援・交流をどちらかと言えば望まないから」(23.4%)が2割強となっている。

(4) 災害時に頼れる人

問49 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-113 災害時に頼れる人】



回答者全体では「同居の家族」(69.2%)が7割を占めて最も多く、次いで「同居している家族以外の親族」と「友人・知人」(それぞれ20.8%)となっている。

世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「頼れる人がいない」(18.8%)の割合が高く、2割弱を占めている。

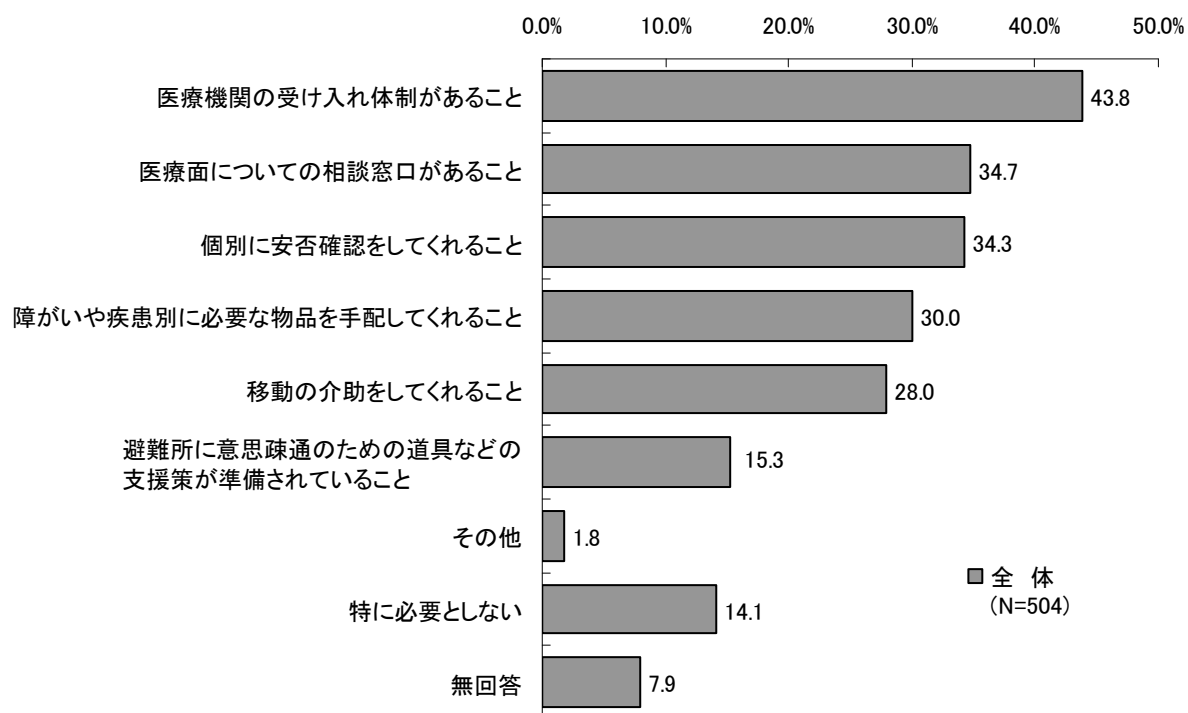
【図表10-114 世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

	調査数(人)	災害時に頼れる人						
		同居の家族	以同居している家族以外の親族	友人・知人	その他	で(頼る必要がない)自力で避難等ができる	頼れる人がいない	無回答
全 体	504	69.2	20.8	20.8	7.1	8.3	3.8	5.8
世帯状況	一人暮らし	64	—	10.9	29.7	18.8	21.9	18.8
	夫婦のみ	155	82.6	29.0	21.3	1.9	5.2	0.6
	二世帯同居(親と本人)	57	68.4	19.3	8.8	7.0	15.8	5.3
	二世帯同居(子と本人)	185	87.0	19.5	20.5	3.2	4.3	0.5
	三世帯同居	10	90.0	20.0	50.0	—	—	10.0
	その他	18	61.1	5.6	22.2	16.7	11.1	5.6
	グループホーム・ケアホーム	9	—	22.2	11.1	77.8	—	—
	無回答	6	16.7	16.7	—	16.7	16.7	—

(5) 災害時に必要な支援

問50 あなたは、災害時には行政や地域などからどのような支援を必要としますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表10-115 災害時に必要な支援】



「医療機関の受け入れ体制があること」(43.8%)が4割強を占めて最も多く、これに「医療面についての相談窓口があること」(34.7%)、「個別に安否確認をしてくれること」(34.3%)、「障がいや疾患別に必要な物品を手配してくれること」(30.0%)が3割台で続いている。

年齢別にみると、「個別に安否確認をしてくれること」や「移動の介助をしてくれること」の割合は、概ね年代が上がるにつれて高くなっている。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「移動の介助をしてくれること」(43.2%)の割合が高い。

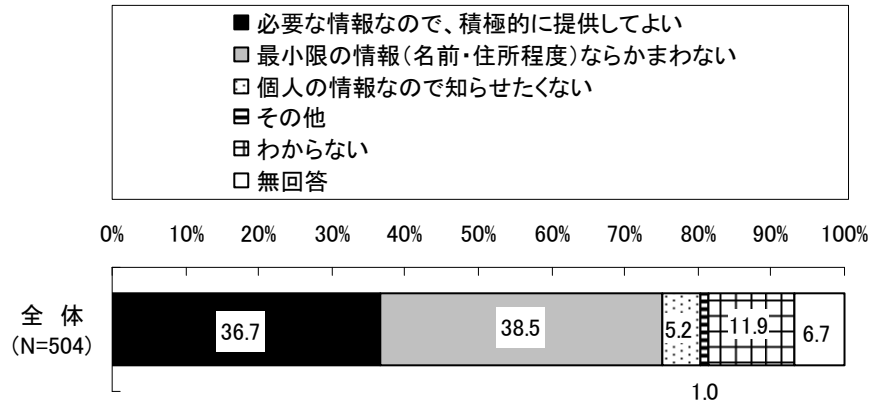
【図表10-116 年齢詳細別、重症患者認定別 災害時に必要な支援】(%)

		調 査 数 （ 人 ）	災害時に必要な支援								
			制 医 療 機 関 の 受 け 入 れ 体 制 が あ る こ と	窓 口 が あ る こ と	医 療 面 に つ い て の 相 談	個 別 に 安 否 確 認 を し て く れ る こ と	障 が い や 疾 患 別 に 必 要 な 物 品 を 手 配 し て く れ る こ と	移 動 の 介 助 を し て く れ る こ と	め め 難 所 に 意 思 疎 通 の た が 準 備 さ れ て い る こ と	そ の 他	特 に 必 要 と し な い
全 体		504	43.8	34.7	34.3	30.0	28.0	15.3	1.8	14.1	7.9
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	18～29歳	23	26.1	43.5	13.0	34.8	8.7	13.0	4.3	26.1	-
	30歳代	45	53.3	37.8	24.4	33.3	11.1	13.3	2.2	20.0	-
	40歳代	65	52.3	38.5	35.4	32.3	18.5	4.6	1.5	18.5	3.1
	50歳代	72	45.8	30.6	31.9	30.6	18.1	19.4	1.4	22.2	2.8
	60～64歳	63	28.6	30.2	30.2	33.3	20.6	14.3	3.2	14.3	12.7
	65～74歳	113	45.1	37.2	37.2	27.4	37.2	18.6	0.9	9.7	9.7
	75歳以上	104	45.2	30.8	41.3	25.0	48.1	17.3	1.9	5.8	15.4
無回答		17	41.2	47.1	52.9	41.2	23.5	17.6	-	5.9	5.9
全 体		504	43.8	34.7	34.3	30.0	28.0	15.3	1.8	14.1	7.9
認 定 患 者	重 認定されている	183	42.1	30.1	38.3	32.2	43.2	16.9	2.2	12.0	12.6
	認定されていない	236	44.9	37.7	30.9	28.4	18.2	13.6	1.3	17.8	3.8
	重症患者認定のない疾患である	52	42.3	38.5	34.6	28.8	26.9	21.2	1.9	9.6	7.7
	無回答	33	48.5	33.3	36.4	30.3	15.2	9.1	3.0	6.1	12.1

(6) 災害時支援のための事前の個人情報提供意向

問5 1 あなたは、災害時に行政や地域などからの支援を受けるため、あらかじめ、個人情報（お名前、住所、世帯の状況、障がいの状況、緊急連絡先等）を福岡市などに提供することについて、どう思いますか。（○は1つだけ）

【図表10-117 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】



「最小限の情報（名前・住所程度）ならかまわないと思う」（38.5%）と「必要の情報なので、積極的に提供してよい」（36.7%）がそれぞれ4割弱を占めており、「個人の情報なので知らせたくない」（5.2%）との回答は1割に満たなかった。

年齢別にみると、29歳以下では「個人の情報なので知らせたくない」の割合がやや高くなっている。

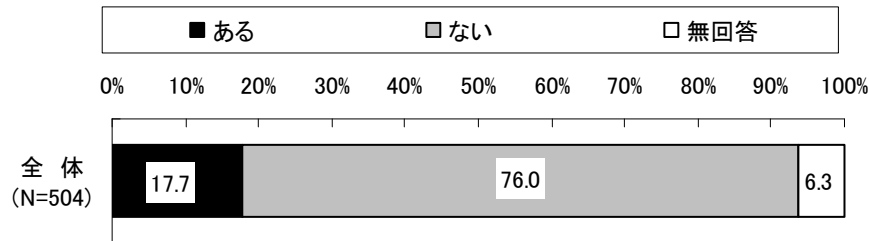
【図表10-118 年齢詳細別 災害時支援のための事前の個人情報提供意向】 (%)

	調査数（人）	災害時支援のための事前の個人情報提供意向					
		極必要の情報提供なので、積極的に提供してよい	最小限の情報(名前・住所程度)ならかまわない	個人の情報なので知らせたくない	その他	わからない	無回答
全 体	504	36.7	38.5	5.2	1.0	11.9	6.7
年齢詳細	17歳以下	2	-	-	50.0	-	50.0
	18～29歳	23	21.7	52.2	13.0	4.3	8.7
	30歳代	45	35.6	44.4	6.7	2.2	11.1
	40歳代	65	38.5	40.0	6.2	3.1	7.7
	50歳代	72	22.2	50.0	6.9	-	18.1
	60～64歳	63	34.9	38.1	3.2	1.6	14.3
	65～74歳	113	41.6	37.2	5.3	-	8.0
	75歳以上	104	43.3	27.9	1.0	-	14.4
無回答	17	52.9	29.4	5.9	-	5.9	5.9

(7) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問52 あなたは、これまでに疾患があるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表10-119 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



回答者全体では「ない」(76.0%)が7割を超えており、「ある」(17.7%)は2割弱となっている。

年齢別に詳細にみると、差別やいやな思いをした経験がある人の割合は30歳代以下で4割を超えて高い。

【図表10-120 年齢詳細別 差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

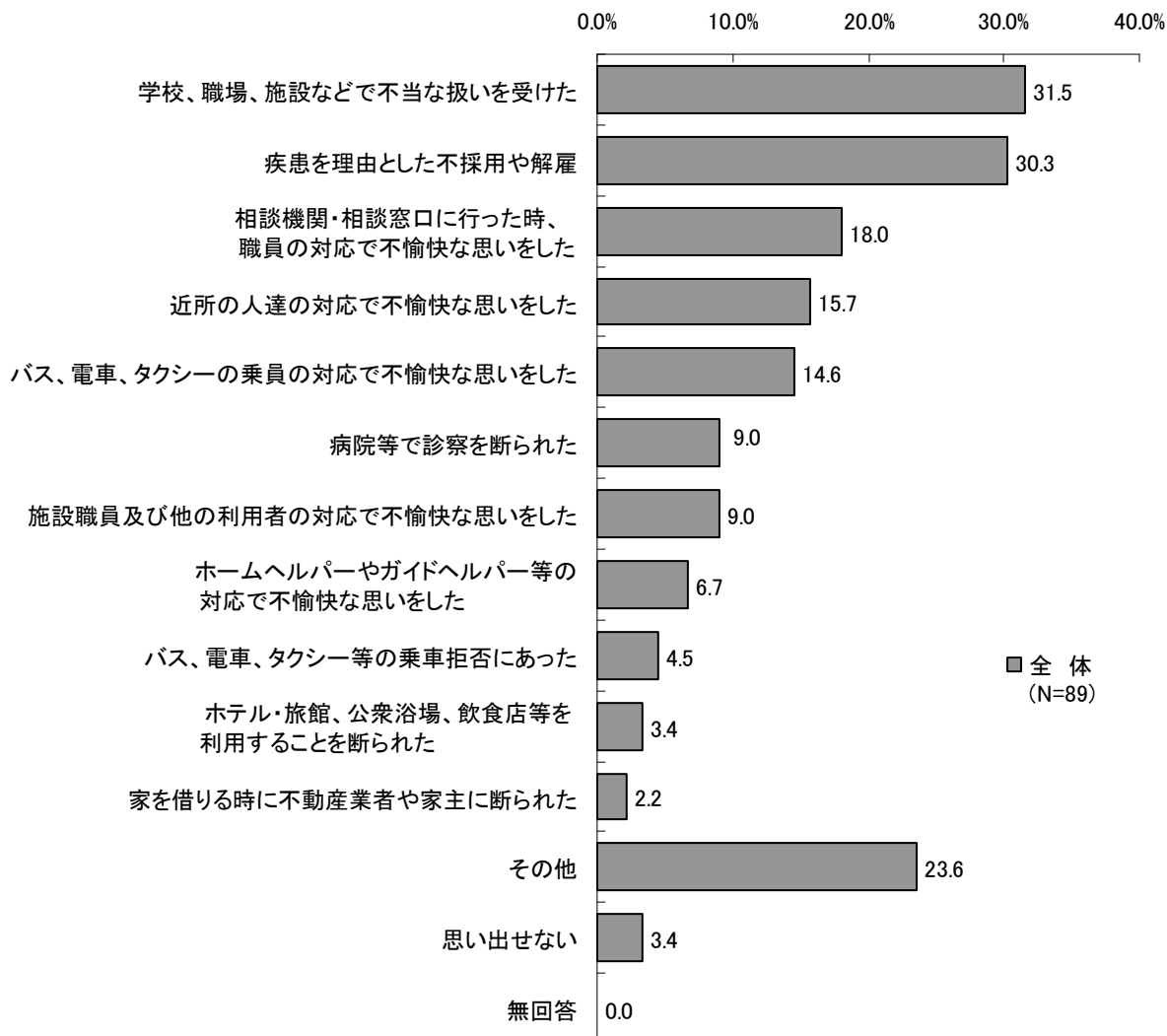
		調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験		
			ある	ない	無回答
全 体		504	17.7	76.0	6.3
年齢詳細	17歳以下	2	50.0	50.0	-
	18～29歳	23	52.2	47.8	-
	30歳代	45	44.4	55.6	-
	40歳代	65	20.0	76.9	3.1
	50歳代	72	12.5	86.1	1.4
	60～64歳	63	15.9	76.2	7.9
	65～74歳	113	8.0	85.8	6.2
	75歳以上	104	7.7	76.9	15.4
無回答		17	41.2	52.9	5.9

(8) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問52で「1」を選ばれた方におたずねします]

問52-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表10-121 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



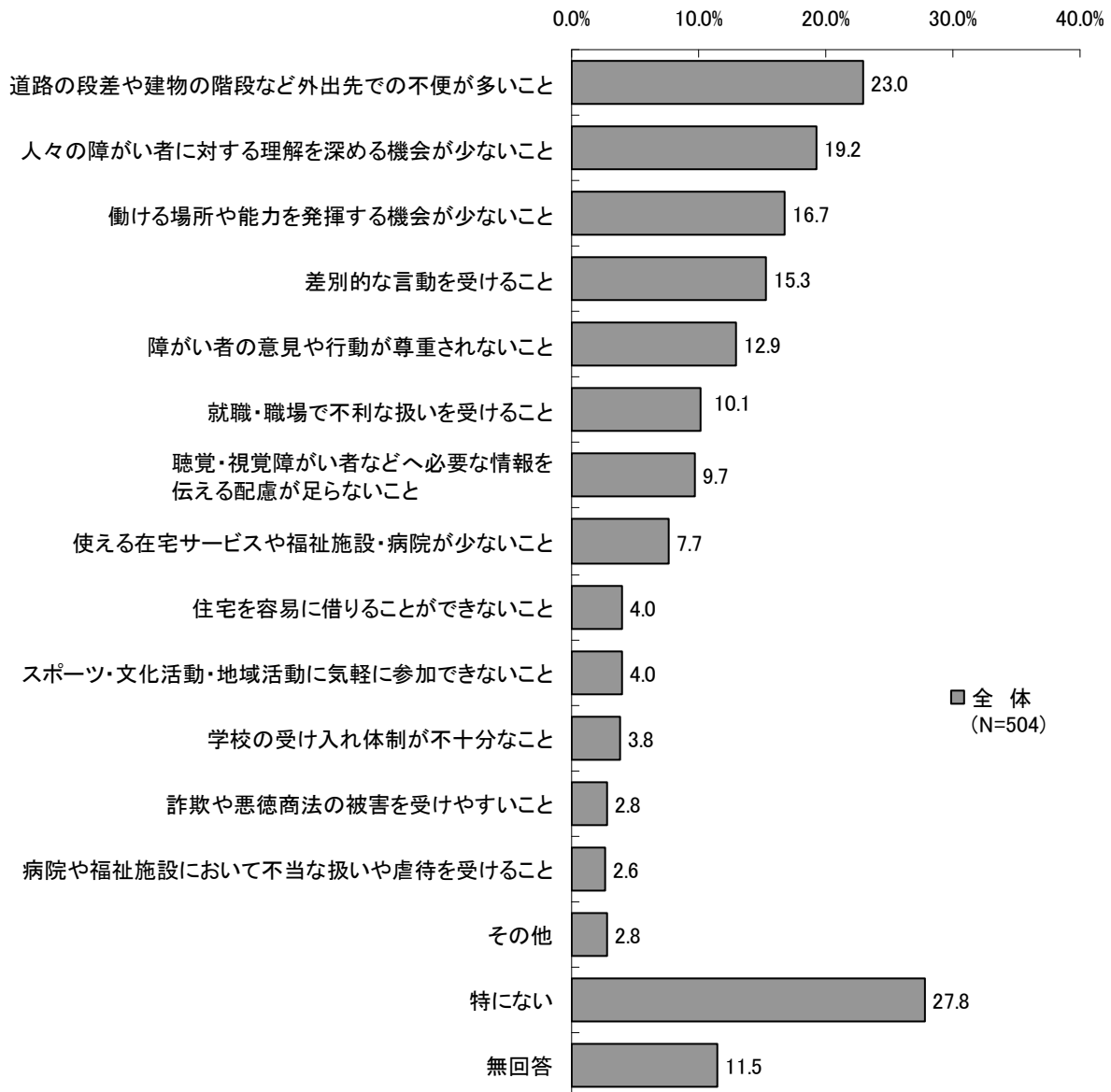
疾患があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがある人に、その内容をたずねたところ、「学校、職場、施設などで不当な扱いを受けた」(31.5%)が最も多く、次いで「疾患を理由とした不採用や解雇」(30.3%)、「相談機関・相談窓口に行った時、職員の対応で不愉快な思いをした」(18.0%)、「近所の人達の対応で不愉快な思いをした」(15.7%)、「バス、電車、タクシーの乗員の対応で不愉快な思いをした」(14.6%)となっている。

なお、「その他」の内容では「周囲の人から奇異な目でみられる」、「内部機能障がいや聴覚障がい等、見た目でわかりにくい障がいのため誤解を受けたり、周囲が配慮してくれない」等の回答が多く見られた。

(9) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問53 難病患者を含め、障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

【図表10-122 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(23.0%)が最も多く、次いで「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(19.2%)、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(16.7%)、「差別的な言動を受けること」(15.3%)となっている。

年齢別にみると、30～40歳代では「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」や「差別的な言動を受けること」等の割合が高く、「差別的な言動を受けること」については18～29歳でも3割を超えて高くなっている。また、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」や「就職・職場で不利な扱いを受けること」の割合は18歳～29歳と30～40歳代で高い。

【図表10-123 年齢詳細別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

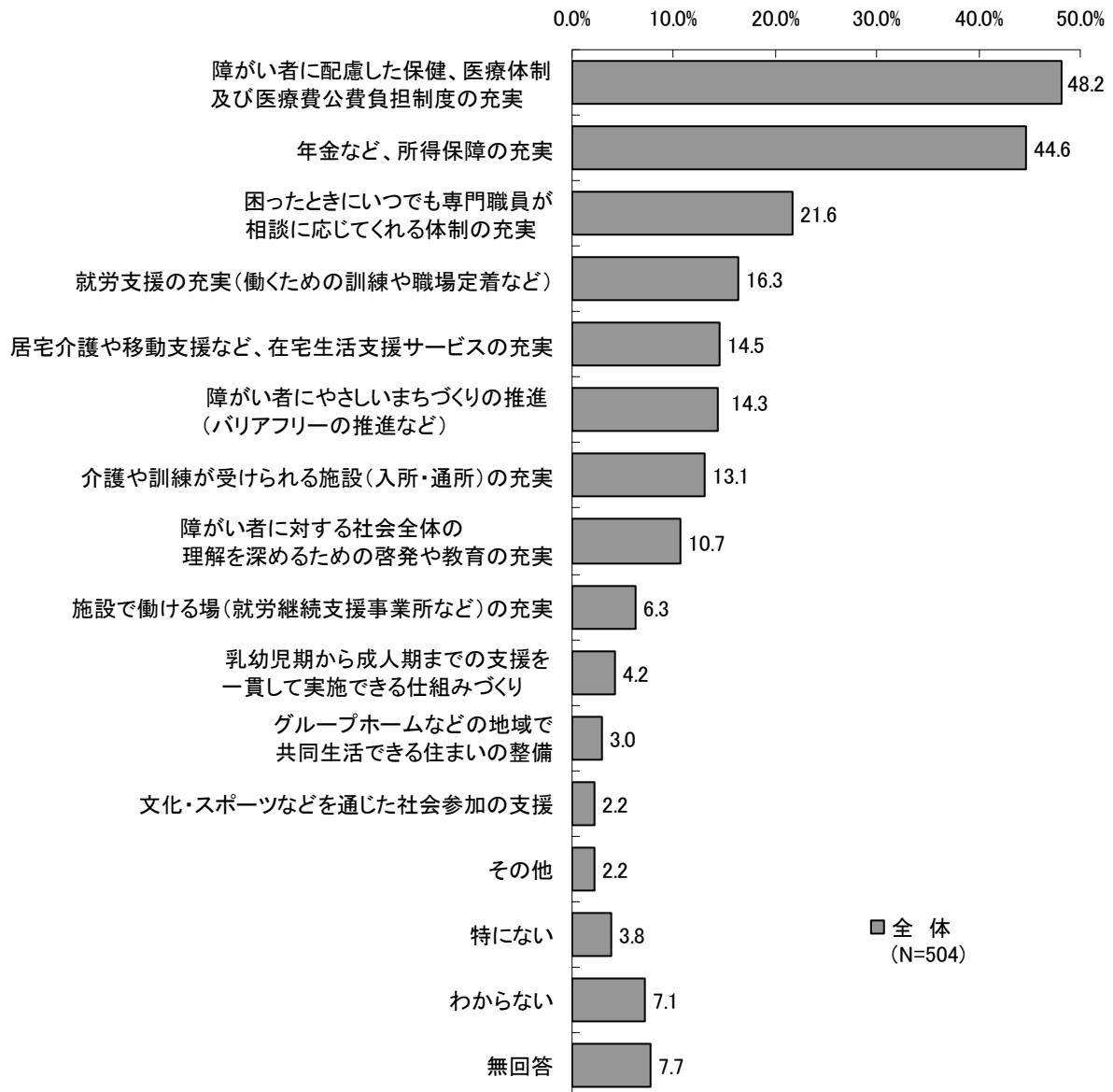
		調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
			が多 いこ と	道 路の 段差 や建 物の 不便	少 な いこ と	人々 の障 がい 者 に 対 す る理 解を 深め る機 会が	と 働 ける 機 会が 少 な いこ と	差 別 的 な 言 動 を 受 け る こ と	障 がい 者 の意 見や 行 動 が 尊 重 さ れ な いこ と	就 職・ 職 場 で 不 利 な 扱 い を 受 け る こ と	聴 覚・ 視 覚 障 がい 者 な どへ 必 要 な 情 報 を 伝 え る 配 慮 が 足 ら な いこ と	使 える 在 宅 サ ー ビ ス な いこ と
全 体		504	23.0	19.2	16.7	15.3	12.9	10.1	9.7	7.7		
年 齢 詳 細	17歳以下	2	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	18～29歳	23	21.7	34.8	34.8	34.8	8.7	30.4	4.3	8.7		
	30歳代	45	22.2	22.2	20.0	22.2	28.9	31.1	8.9	4.4		
	40歳代	65	21.5	24.6	35.4	26.2	20.0	15.4	9.2	3.1		
	50歳代	72	20.8	16.7	20.8	12.5	12.5	13.9	12.5	6.9		
	60～64歳	63	30.2	22.2	12.7	12.7	9.5	4.8	12.7	11.1		
	65～74歳	113	20.4	18.6	10.6	12.4	8.0	—	9.7	8.8		
	75歳以上	104	23.1	9.6	4.8	9.6	9.6	5.8	7.7	6.7		
無回答		17	35.3	29.4	23.5	5.9	17.6	5.9	11.8	23.5		

		調査数（人）	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
			と住 宅を 容 易に 借 り る こ と	地 域 活 動に ・ 気 軽 に 参 加 ・ ス ポ ー ツ ・ 文 化 活 動	不 十 分 な 受 け 入 れ 体 制 が	学 校 の 受 け 入 れ 体 制 が	詐 欺 や 悪 徳 商 法 の 被 害 を 受 け や す い こ と	受 け る こ と 病 院 や 福 祉 施 設 に お い て 不 当 な 扱 い や 虐 待 を い る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全 体		504	4.0	4.0	3.8	2.8	2.6	2.8	27.8	11.5		
年 齢 詳 細	17歳以下	2	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—
	18～29歳	23	—	—	8.7	8.7	8.7	8.7	13.0	—	—	—
	30歳代	45	6.7	—	4.4	—	2.2	2.2	17.8	4.4	—	—
	40歳代	65	6.2	7.7	9.2	3.1	1.5	4.6	13.8	3.1	—	—
	50歳代	72	8.3	4.2	4.2	5.6	2.8	1.4	23.6	12.5	—	—
	60～64歳	63	1.6	—	1.6	1.6	1.6	6.3	25.4	11.1	—	—
	65～74歳	113	1.8	3.5	2.7	2.7	2.7	—	42.5	12.4	—	—
	75歳以上	104	2.9	4.8	1.0	1.9	2.9	2.9	33.7	21.2	—	—
無回答		17	5.9	11.8	—	—	—	—	17.6	11.8	—	—

(10) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問54 難病患者を含め、障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表10-124 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



回答者全体では「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(48.2%)と「年金など、所得保障の充実」(44.6%)が4割を超えて最も多く、次いで、「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じってくれる体制の充実」(21.6%)、「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(16.3%)となっている。

年齢別にみると、18～29歳と30～40歳代では「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」の割合が高く、3割を超えている。また、65歳以上の高齢者では64歳以下に比べて「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」や「介護や訓練が受けられる施設(入所・通所)の充実」の割合が高い。

重症患者認定別にみると、認定者では認定されていない人に比べて「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」(19.7%)等の割合が高い一方、認定されていない人では「就労支援の充実(働くための訓練や職場定着など)」(23.7%)等の割合が高くなっている。

世帯状況別にみると、一人暮らしと夫婦のみでは「困ったときにいつでも専門職員が相談に応じってくれる体制の充実」の割合が3割前後と高い。

【図表10-125 年齢詳細別、重症患者認定別、世帯状況別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

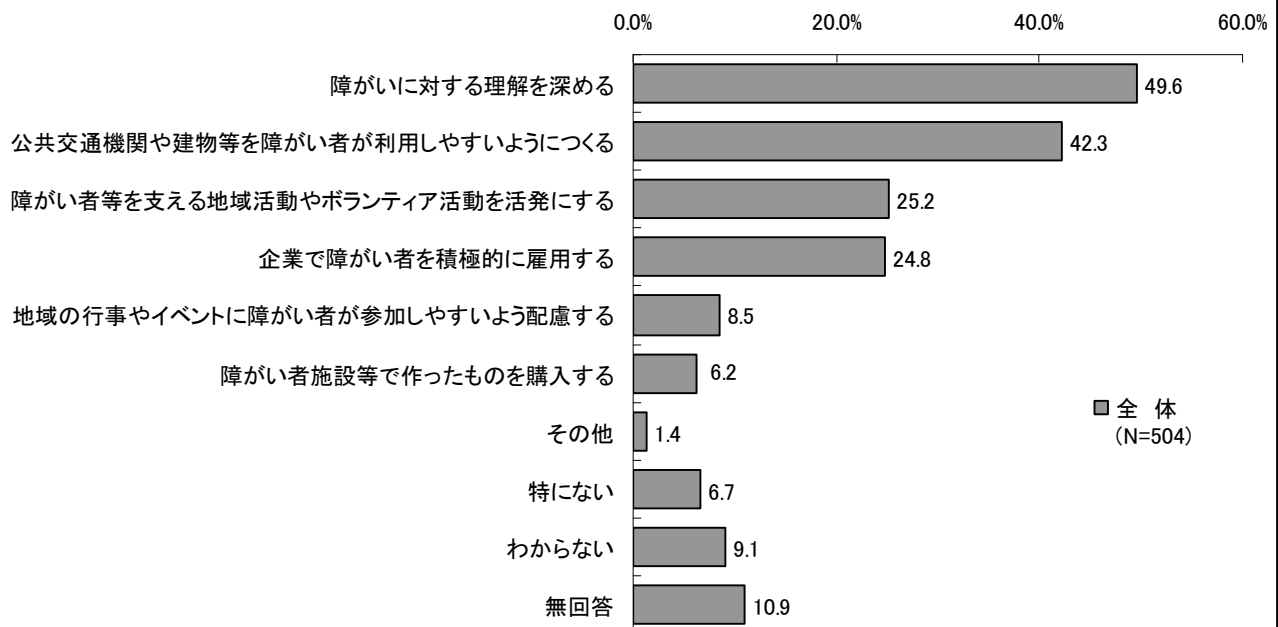
		調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと							
			障がい者に対する配慮の充実 （公費負担制度の充実）	年金など、所得保障の充実	専門職員の体制の充実	困ったときにいつでも相談できる体制の充実	就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）	住宅生活支援サービスの実施	居宅介護や移動支援など、在宅生活の充実	障がい者の推進など（バリアフリーの推進など）
全 体		504	48.2	44.6	21.6	16.3	14.5	14.3	13.1	10.7
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	18～29歳	23	52.2	47.8	4.3	52.2	-	13.0	-	21.7
	30歳代	45	44.4	40.0	11.1	31.1	8.9	24.4	8.9	8.9
	40歳代	65	53.8	52.3	12.3	32.3	10.8	12.3	6.2	13.8
	50歳代	72	43.1	47.2	23.6	20.8	6.9	20.8	8.3	8.3
	60～64歳	63	54.0	46.0	23.8	11.1	11.1	11.1	17.5	14.3
	65～74歳	113	52.2	46.9	27.4	5.3	18.6	13.3	15.9	5.3
	75歳以上	104	38.5	34.6	26.0	2.9	26.9	9.6	20.2	13.5
無回答	17	70.6	58.8	29.4	23.5	5.9	11.8	11.8	5.9	
全 体		504	48.2	44.6	21.6	16.3	14.5	14.3	13.1	10.7
者 重 症 患 者 認 定	認定されている	183	44.8	42.6	23.5	7.1	19.7	12.6	13.1	10.9
	認定されていない	236	49.2	44.9	19.9	23.7	12.3	15.7	14.4	11.4
	重症患者認定のない疾患である	52	46.2	50.0	19.2	13.5	7.7	11.5	7.7	9.6
	無回答	33	63.6	45.5	27.3	18.2	12.1	18.2	12.1	6.1
全 体		504	48.2	44.6	21.6	16.3	14.5	14.3	13.1	10.7
世 帯 状 況	一人暮らし	64	60.9	48.4	34.4	15.6	20.3	17.2	10.9	9.4
	夫婦のみ	155	48.4	44.5	29.0	7.7	15.5	16.8	12.9	11.0
	二世帯同居（親と本人）	57	52.6	49.1	14.0	36.8	5.3	8.8	7.0	12.3
	二世帯同居（子と本人）	185	42.2	40.5	16.8	18.4	15.1	14.6	14.6	9.7
	三世帯同居	10	60.0	40.0	-	30.0	10.0	10.0	-	20.0
	その他	18	50.0	66.7	5.6	11.1	16.7	5.6	11.1	11.1
	グループホーム・ケアホーム	9	55.6	55.6	11.1	-	11.1	11.1	55.6	11.1
	無回答	6	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7

		調査数（人）	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと								
			の継続 充実	施設で 支援 事業所 など	施 で の 支 援 を 一 貫 し て 実 施 す こ と	乳幼児 から 成人 期 ま で の 支 援 を 一 貫 し て 実 施 す こ と	住 ま い の 整 備	地 域 の 共 同 生 活 で き る こ と	グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 支 援	文 化 ・ ス ポ ー ツ な ど の 支 援	そ 他
全 体		504	6.3	4.2	3.0	2.2	2.2	3.8	7.1	7.7	
年 齢 詳 細	17歳以下	2	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	
	18～29歳	23	8.7	8.7	-	-	4.3	-	13.0	-	
	30歳代	45	13.3	6.7	4.4	2.2	6.7	4.4	8.9	4.4	
	40歳代	65	10.8	4.6	1.5	-	3.1	3.1	9.2	3.1	
	50歳代	72	6.9	2.8	1.4	4.2	2.8	2.8	6.9	6.9	
	60～64歳	63	7.9	1.6	1.6	4.8	-	3.2	6.3	7.9	
	65～74歳	113	4.4	5.3	4.4	1.8	1.8	4.4	6.2	8.0	
	75歳以上	104	1.0	2.9	4.8	1.0	-	3.8	6.7	14.4	
無回答	17	5.9	5.9	-	-	-	5.9	-	5.9		
全 体		504	6.3	4.2	3.0	2.2	2.2	3.8	7.1	7.7	
者 重 症 患 者 認 定	認定されている	183	4.9	1.1	3.3	2.2	1.1	3.8	7.1	13.1	
	認定されていない	236	7.2	6.4	2.5	2.1	2.5	4.2	6.8	3.8	
	重症患者認定のない疾患である	52	7.7	3.8	5.8	1.9	3.8	3.8	9.6	5.8	
	無回答	33	6.1	6.1	-	3.0	3.0	-	6.1	9.1	
全 体		504	6.3	4.2	3.0	2.2	2.2	3.8	7.1	7.7	
世 帯 状 況	一人暮らし	64	6.3	3.1	6.3	1.6	-	-	3.1	10.9	
	夫婦のみ	155	4.5	3.2	1.9	2.6	1.3	3.9	5.8	9.7	
	二世帯同居（親と本人）	57	14.0	3.5	-	1.8	7.0	-	10.5	5.3	
	二世帯同居（子と本人）	185	6.5	5.9	3.2	2.7	2.7	4.3	9.2	5.9	
	三世帯同居	10	10.0	-	-	-	-	20.0	-	-	
	その他	18	-	-	5.6	-	-	11.1	-	5.6	
	グループホーム・ケアホーム	9	-	-	11.1	-	-	-	11.1	-	
	無回答	6	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	33.3	

(11) 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと

問55 難病患者を含め、障がいがある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【図表10-126 障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】



「障がいに対する理解を深める」(49.6%)と「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」(42.3%)が4割を超えて最も多く、これに「障がい者等を支える地域活動やボランティア活動を活発にする」(25.2%)と「企業で障がい者を積極的に雇用する」(24.8%)が2割台で続いている。

年齢別にみると、18～29歳では「障がいに対する理解を深める」(73.9%)の割合が7割を超えて高くなっている。また、18～29歳と30～40歳代では「企業で障がい者を積極的に雇用する」の割合が4割前後と高い。

重症患者認定別にみると、認識されていない人では「企業で障がい者を積極的に雇用する」(31.4%)等の割合が高い。

【図表10-127 年齢詳細別、重症患者認定別

障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと】(%)

		調査数（人）	障がい者支援として地域社会や企業等に望むこと									
			障がいに対する理解を深める	公共交通機関や建物等を利用しやすいようにつくる	公共活動やボランティアを支援する	障がい者等を支える地域活動やボランティア	企業で雇用する者を積極的に採用する	地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する	障がい者施設等で働くものを購入する	その他	特にない	わからない
全 体		504	49.6	42.3	25.2	24.8	8.5	6.2	1.4	6.7	9.1	10.9
年 齢 詳 細	17歳以下	2	50.0	50.0	50.0	－	－	－	－	50.0	－	－
	18～29歳	23	73.9	39.1	17.4	39.1	8.7	－	－	8.7	4.3	－
	30歳代	45	48.9	42.2	11.1	37.8	－	6.7	8.9	4.4	13.3	4.4
	40歳代	65	53.8	50.8	18.5	43.1	10.8	7.7	3.1	3.1	7.7	3.1
	50歳代	72	55.6	44.4	23.6	27.8	4.2	8.3	－	4.2	8.3	8.3
	60～64歳	63	49.2	42.9	30.2	22.2	11.1	4.8	－	4.8	11.1	6.3
	65～74歳	113	46.0	45.1	34.5	16.8	8.8	5.3	0.9	8.0	8.8	14.2
	75歳以上	104	41.3	28.8	23.1	12.5	11.5	5.8	－	10.6	10.6	21.2
無回答		17	52.9	64.7	35.3	29.4	11.8	11.8	－	5.9	－	17.6
全 体		504	49.6	42.3	25.2	24.8	8.5	6.2	1.4	6.7	9.1	10.9
重 認 定 患 者	認定されている	183	44.8	39.3	29.0	15.3	9.3	4.9	1.1	8.2	8.7	18.6
	認定されていない	236	53.0	43.6	21.6	31.4	6.4	6.4	1.3	6.8	8.9	4.7
	重症患者認定のない疾患である	52	48.1	36.5	23.1	26.9	13.5	7.7	1.9	5.8	13.5	7.7
	無回答	33	54.5	57.6	33.3	27.3	12.1	9.1	3.0	－	6.1	18.2